鴨川市地域公共交通会議 令和８年度第２回会議

次　第

日時：令和８年８月20日（木）午後１時30分から

場所：鴨川市役所　７階　会議室

１　開　　会

２　会長選出

３　議　　事

協議案件１　鴨川市公共交通の再編方針について

協議案件２　鴨川市地域公共交通計画について

４　そ の 他

５　閉　　会

鴨川市地域公共交通会議

委 員 名 簿

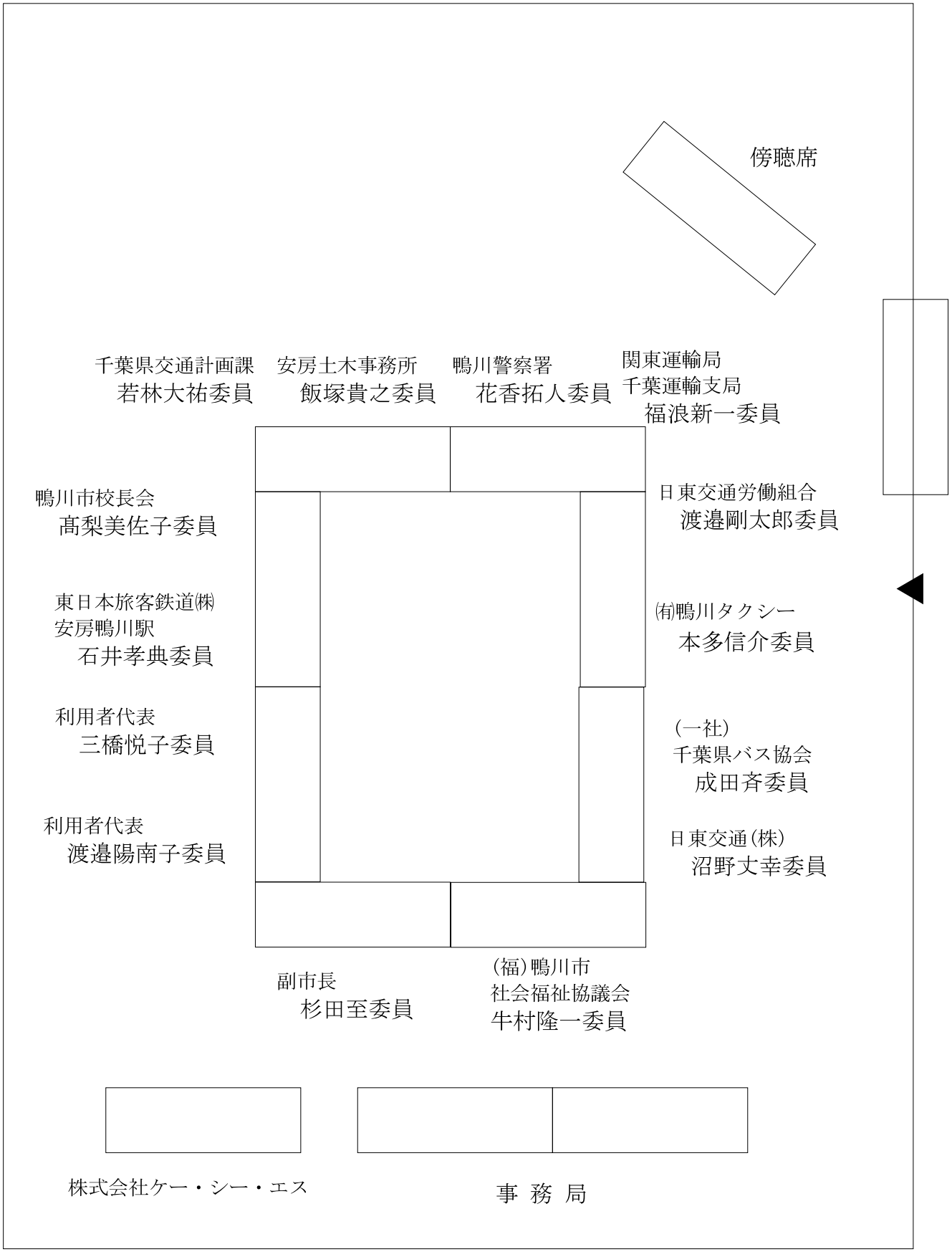
令和８年８月 20 日現在

役職等	所属・職	氏　名	備　　考
	鴨川市 副市長	杉田 至	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局　局長	牛村 隆一	
	日東交通株式会社 運輸部　部長	沼野 丈幸	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 バス部　部長	深山 宏樹	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部　支部長（鴨川担当）	渡邉　剛太郎	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福浪　新一	
	千葉県鴨川警察署 交通課　課長	花香　拓人	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所　所長	飯塚　貴之	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	若林　大祐	
	鴨川市校長会 会長	髙梨　美佐子	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅　駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	
	利用者代表	三橋 悦子	
	利用者代表	渡邉 陽南子	

鴨川市地域公共交通会議 令和８年度第２回会議

席 次 表

日時：令和８年８月 20 日（木）午後１時 30 分から
場所：鴨川市役所７階　会議室



鴨川市地域公共交通会議 令和８年度第２回会議
出席者名簿

日時：令和８年８月 20 日(木)午後１時 30 分から
場所：鴨川市役所　７階 会議室

1　会長及び委員

役職等	所属・職	氏　名	備　　考
	鴨川市 副市長	杉田 至	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局　局長	牛村 隆一	
	日東交通株式会社 運輸部　部長	沼野 丈幸	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部　支部長（鴨川担当）	渡邉 剛太郎	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福浪 新一	
	千葉県鴨川警察署 交通課　課長	花香 拓人	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所　所長	飯塚 貴之	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	若林　大祐	
	鴨川市校長会 会長	髙梨　美佐子	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅　駅長	石井 孝典	
	利用者代表	三橋 悦子	
	利用者代表	渡邉 陽南子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏　名	備　　考
	小湊鐵道株式会社 バス部　部長	深山 宏樹	
	利用者代表	平野 元美	

3　事務局

所属・職	氏　名	備　　考
鴨川市企画政策課 課長	小柴 則明	
鴨川市企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画政策課 住み続けたいまちづくり係長	高梨 泰里	
鴨川市企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

鴨川市公共交通再編について

資料１

１　チョイソコかもがわの現況

■概要

運行主体：千葉トヨタ自動車(株)

運行事業者：㈲鴨川タクシー

運行日：各地域　週４日運行（祝日は運休）

※年末年始（12/29～1/3）は運休

運行時間　8：00　～　16：00

運　賃：地域内 300 円、鴨川地域 700 円

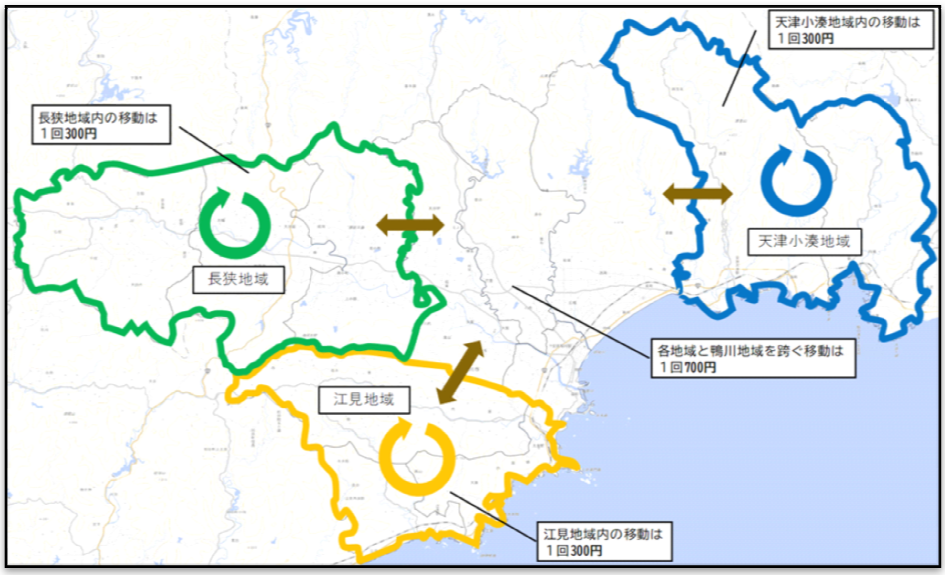
（一部割引制度あり）

乗降場：自宅と共通乗降場所で乗降が可能

共通乗降場所 93 ヶ所

地域別運行曜日

地域	月	火	水	木	金
長狭地域	○	○	○		○
江見地域	○		○	○	○
天津小湊地域	○	○	○	○	



■令和７年度収支

項　目		令和7年度
支出	予約制乗合タクシー運行等	31,364,728
収入	運賃収入	3,374,500
	運賃支出	▲ 817,700
	スポンサー収入	1,894,000
収支（収入－支出）		▲ 26,913,928
市補助金		26,009,051
運行事業者負担額		904,877

※令和８年度市補助金予算額：30,560,190 円

1 運行実績

令和７年度

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
３地域	457	456	492	464	388	432	459	366	385	363	346	410	5,018
長狭	191	200	208	181	145	153	187	153	152	151	116	139	1,976
江見	119	123	122	128	120	123	127	87	100	98	105	119	1,371
天津小湊	147	133	162	155	123	156	145	126	133	114	125	152	1,671

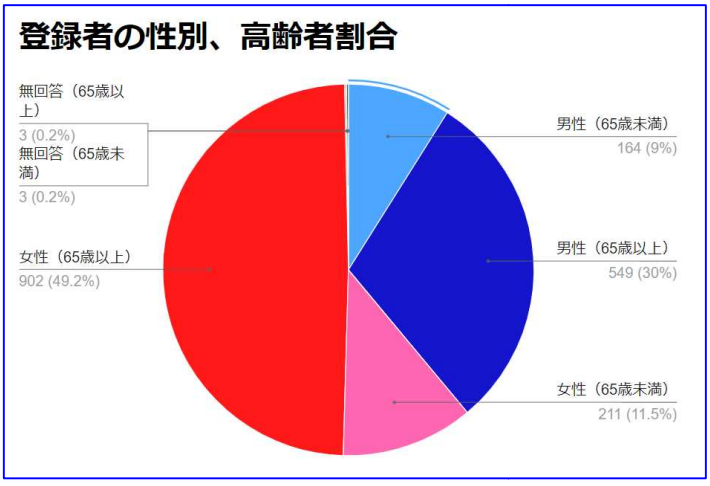
令和８年度

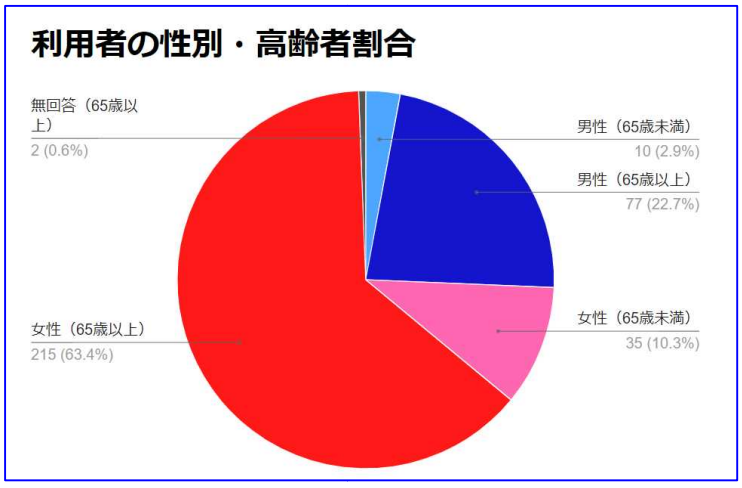
	４月	５月	６月	合計
３地域	433	342	386	1,161
長狭	147	112	136	395
江見	132	129	109	370
天津小湊	154	101	141	396

2 利用者登録

令和8年3月 31 日現在

長狭	江見	天津小湊	合計
963 人	386 人	472 人	1,821 人





2 市コミュニティバスの現況

運行主体：鴨川市

運行日時：365 日運行

運　　賃：一律 300 円（割引制度あり）

対　　象：市民以外も利用可能



■時刻表

○金山ダム発　東回り

停留所名	1	2	3	4
金山ダム	6:50	8:30	11:20	14:45
清水橋	6:50	8:30	11:20	14:45
美野口	6:52	8:32	11:22	14:47
押本	6:53	8:33	11:23	14:48
打墨神社	6:54	8:34	11:24	14:49
峰仲	6:55	8:35	11:25	14:50
大日	6:56	8:36	11:26	14:51
福祉センター	6:56	8:36	11:26	14:51
下八色	6:59	8:39	11:29	14:54
妙満寺入口	7:00	8:40	11:30	14:55
高溝	7:00	8:40	11:30	14:55
鴨川市役所	7:02	8:42	11:32	14:57
大横渚	7:04	8:44	11:34	14:59
鴨川駅西口（着）	7:06	8:46	11:36	15:01
鴨川駅西口（発）		8:51	11:41	15:06
旗掛松		8:53	11:43	15:08
待崎		8:54	11:44	15:09
鴨川自動車教習所		8:54	11:44	15:09
西町		8:55	11:45	15:10
鴨川館前		8:56	11:46	15:11
亀田総合病院		8:57	11:47	15:12
亀田リハビリテーション病院		8:58	11:48	15:13
東町		9:01	11:51	15:16
宝性寺		9:01	11:51	15:16
東町分譲地		9:02	11:52	15:17
仲原		9:02	11:52	15:17
青果市場前		9:03	11:53	15:18
上人塚		9:03	11:53	15:18
東条公民館		9:03	11:53	15:18
和泉		9:04	11:54	15:19
境橋		9:05	11:55	15:20
花房		9:06	11:56	15:21
ふれあいセンター		9:07	11:57	15:22
西条公民館		9:07	11:57	15:22
睦会橋		9:09	11:59	15:24
田原郵便局		9:11	12:01	15:26
大宮坂下		9:12	12:02	15:27
中の台		9:12	12:02	15:27
大里橋		9:13	12:03	15:28
総合運動場		9:13	12:03	15:28
貝渚橋		9:14	12:04	15:29
滑谷		9:15	12:05	15:30
長狭高校東		9:16	12:06	15:31
鴨川駅西口（着）		9:18	12:08	15:33
鴨川駅西口（発）		9:23	12:13	15:38
大横渚		9:28	12:18	15:43
鴨川市役所		9:30	12:20	15:45
高溝		9:32	12:22	15:47
妙満寺入口		9:32	12:22	15:47
下八色		9:33	12:23	15:48
福祉センター		9:35	12:25	15:50

○福祉センター・鴨川駅西口発　西回り

停留所名	1	2	3	4	5
福祉センター		10:00	13:00	16:00	
下八色		10:02	13:02	16:02	
妙満寺入口		10:03	13:03	16:03	
高溝		10:03	13:03	16:03	
鴨川市役所		10:05	13:05	16:05	
大横渚		10:07	13:07	16:07	
鴨川駅西口（着）		10:12	13:12	16:12	
鴨川駅西口（発）		10:17	13:17	16:17	
長狭高校東		10:19	13:19	16:19	
滑谷		10:20	13:20	16:20	
貝渚橋		10:21	13:21	16:21	
総合運動場		10:22	13:22	16:22	
大里橋		10:22	13:22	16:22	
中の台		10:23	13:23	16:23	
大宮坂下		10:23	13:23	16:23	
田原郵便局		10:24	13:24	16:24	
睦会橋		10:26	13:26	16:26	
西条公民館		10:28	13:28	16:28	
ふれあいセンター		10:28	13:28	16:28	
花房		10:29	13:29	16:29	
境橋		10:30	13:30	16:30	
和泉		10:31	13:31	16:31	
東条公民館		10:32	13:32	16:32	
上人塚		10:32	13:32	16:32	
青果市場前		10:32	13:32	16:32	
仲原		10:33	13:33	16:33	
東町分譲地		10:33	13:33	16:33	
宝性寺		10:34	13:34	16:34	
東町		10:34	13:34	16:34	
亀田リハビリテーション病院		10:37	13:37	16:37	
亀田総合病院		10:38	13:38	16:38	
鴨川館前		10:39	13:39	16:39	
西町		10:40	13:40	16:40	
鴨川自動車教習所		10:41	13:41	16:41	
待崎		10:41	13:41	16:41	
旗掛松		10:42	13:42	16:42	
鴨川駅西口（着）		10:44	13:44	16:44	
鴨川駅西口（発）	8:10	10:49	13:49	16:49	18:15
大横渚	8:12	10:51	13:51	16:51	18:17
鴨川市役所	8:14	10:53	13:53	16:53	18:19
高溝	8:16	10:55	13:55	16:55	18:21
妙満寺入口	8:16	10:55	13:55	16:55	18:21
下八色	8:17	10:56	13:56	16:56	18:22
福祉センター	8:20	10:59	13:59	16:59	18:25
大日	8:20	10:59	13:59	16:59	18:25
峰仲	8:21	11:00	14:00	17:00	18:26
打墨神社	8:22	11:01	14:01	17:01	18:27
押本	8:23	11:02	14:02	17:02	18:28
美野口	8:24	11:03	14:03	17:03	18:29
清水橋	8:26	11:05	14:05	17:05	18:31
金山ダム	8:26	11:05	14:05	17:05	18:31

令和７年度収支

千円

運行事業者（委託先）		日東交通㈱
支出	運行費用	21,606
収入	運行収入	2,323
収支（収入－支出）		▲19,283

利用者数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
R７年度	735	641	658	697	678	707	766	715	762	713	799	840	8,711

	４月	５月	６月	合計
R８年度	750	785	746	2,281

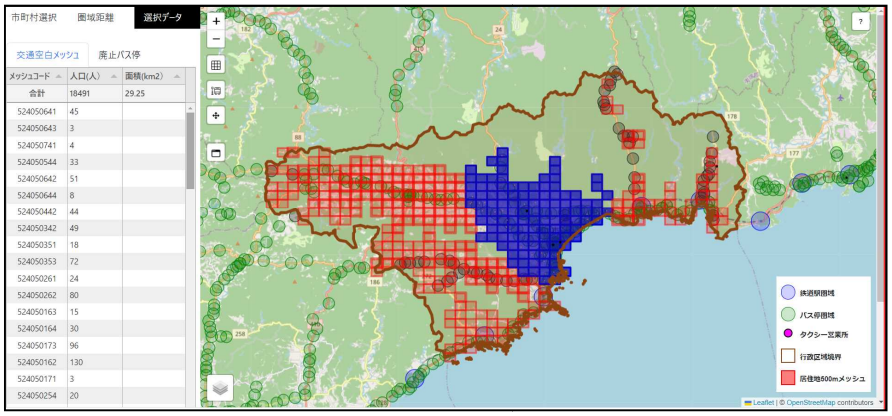
3 市内交通空白地の現況

＜鴨川市における交通空白＞

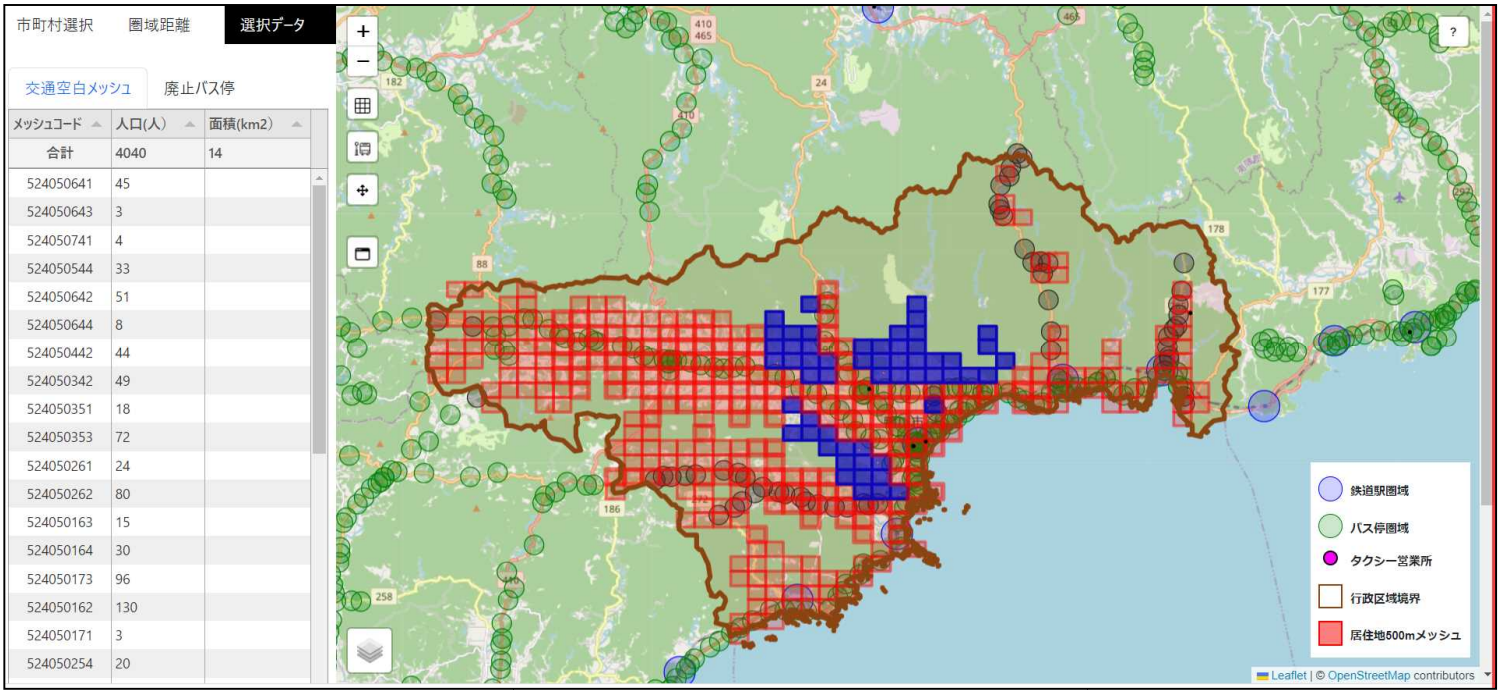
・「鉄道駅から 800m以上、路線バス及びコミュニティバスのバス停留所から 300m離れた地域」としている。（鴨川市地域交通計画に記載）
・チョイソコかもがわが運行している長狭・江見・天津小湊地域を除き、鴨川地域で路線バス、コミュニティバス、駅から遠い地域を表示。
・前回の国勢調査基準・・32,116 人

●仕様ツール：国土交通省リストアップサポートツール（鉄道駅は 500m）
※鴨川市内で表示される全てのメッシュを囲むと人口 32,128 人）

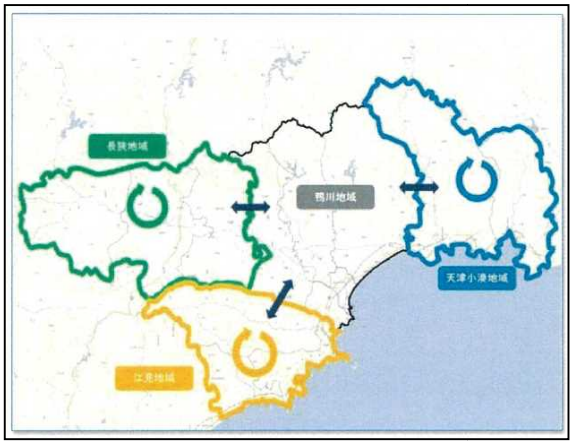
鴨川エリア（青色）　人口　18,491 人（500mメッシュ）

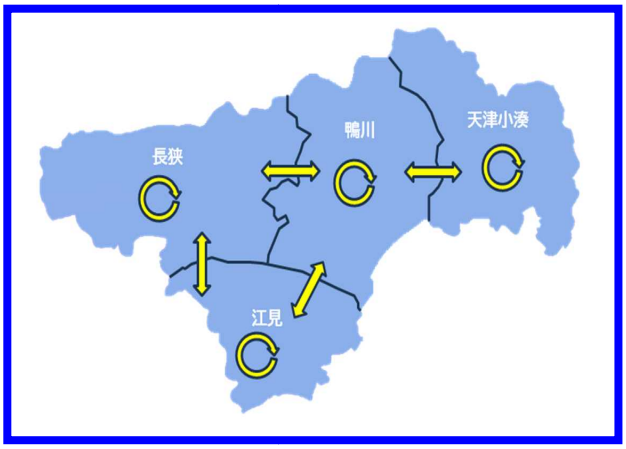


鴨川エリア（青色・・交通空白地）　人口　4,040 人（500mメッシュ）



①チョイソコかもがわの全域化の検討





利用対象者	次の地域に在住する登録者 ・長狭、江見、天津小湊地域
移動範囲 （運賃）	・登録地域内　300 円 ・鴨川地域へ　700 円 （一部割引あり）
配　車	・ハイエース（8人乗）2台
運行曜日	・概要のとおり週 4 日

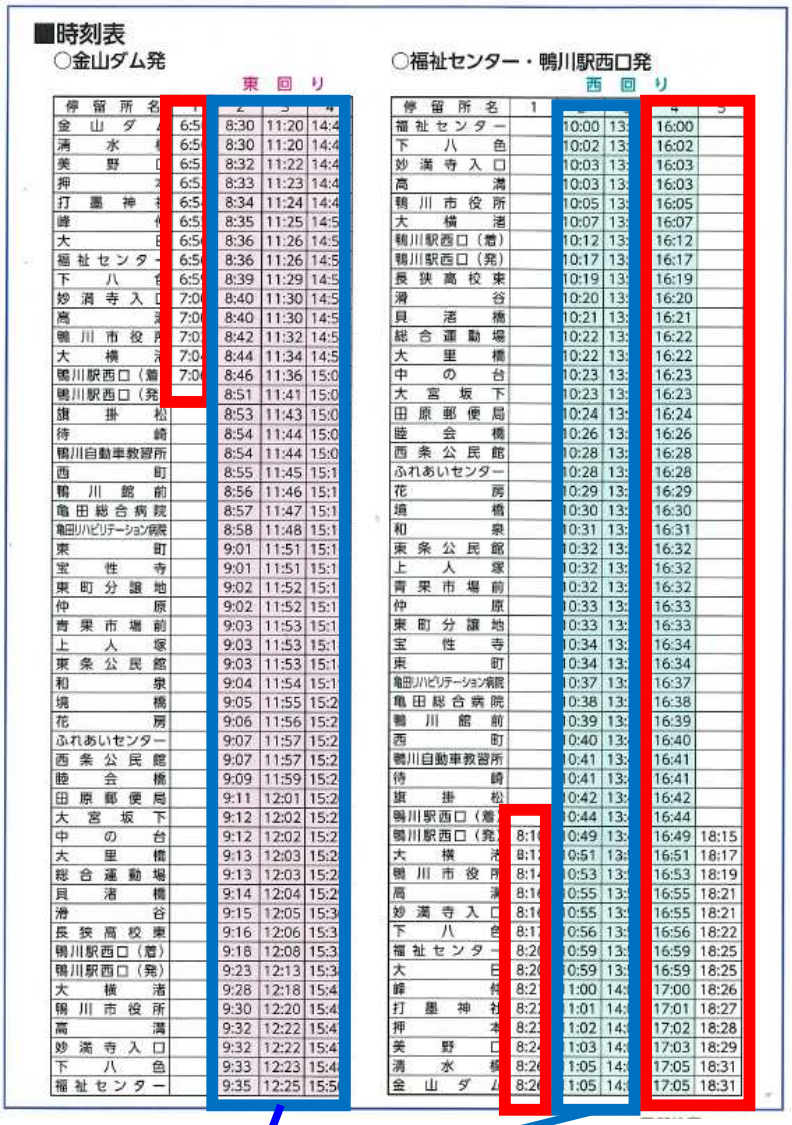
利用対象者	市内に在住する登録者
移動範囲 （運賃）	全域運行 <考えられる料金形態> ①既存金額をベース ・登録地域内　300 円 ・隣接地域へ　700 円 ・2地域　1,400 円 ②全域共通金額 ・例：どこでも 500 円など分かりやすい料金
配　車	・ハイエース（8人乗）2台 ・ミニバン型（5人乗）1台
運行曜日	・平日週5日 ・地域別運行曜日設定の撤廃 ※土日祝検討

■チョイソコかもがわに対する鴨川地域からの住民の声を反映し、全域化を図る。
■曜日を区切らず全域で運行することにより、平等性と効率化を図る。
■台数を1台増加、平日週 5 日にすることにより、鴨川地域の利用を増やすと同時に、現在運行中の3地域の利便性の向上につなげる。

②市コミュニティバスの見直し

・チョイソコの全域化に伴う市コミュニティバスの廃止又は縮減、代替措置の検討





■チョイソコかもがわの運行時間は８:00-16:00

■上記時間はチョイソコかもがわへ転換。

■現在のコミュニティバス利用者を考慮し、【８:00前】や【16:00以降】で同じようなルートでの運行をチョイソコ車両で可能か現在検討中。

■共通事項：チョイソコかもがわの土日祝運行の検討（１台） ※年末年始を除く

パターン0

			日数	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1号車	ハイエース	月ー金 8:00~16:00 (8.0h)	243			デマンド便				休憩	デマンド便					
2号車	ハイエース	月ー金+土日祝 6:50~18:30 (11.6h)	360		定時便	デマンド便				休憩	デマンド便			定時便		
3号車	ノア	月ー金 8:00~16:00 (8.0h) +通学対応	243		通学便	デマンド便			休憩	デマンド便				通学便		
デマンド便 運行数						3台			2台	1台	2台	3台				
コールセンター			360													

パターン①

			日数	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1号車	ハイエース	月ー金 8:00~17:00 (9.0h)	243			デマンド便				休憩	デマンド便					
2号車	ハイエース	月ー金+土日祝 6:50~18:30 (11.6h)	360		定時便	デマンド便				休憩	デマンド便				定時便	
3号車	ノア	月ー金 8:00~16:00 (8.0h) +通学対応	243		通学便	デマンド便			休憩	デマンド便				通学便		
デマンド便 運行数						3台			2台	1台	2台	3台		2台		
コールセンター			360													

パターン②

			日数	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1号車	ハイエース	月ー金 8:00~18:30 (10.5h)	243			デマンド便				休憩	デマンド便					
2号車	ハイエース	月ー金+土日祝 6:50~18:30 (11.6h)	360		定時便	デマンド便				休憩	デマンド便				定時便	
3号車	ノア	月ー金 8:00~16:00 (8.0h) +通学対応	243		通学便	デマンド便			休憩	デマンド便				通学便		
デマンド便 運行数						3台			2台	1台	2台	3台		2台	1台	
コールセンター			360													

運休日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日

資料Ⅰ-2

鴨川市公共交通再編について

1 趣 旨

本市においては、地域公共交通計画に則り、持続可能な公共交通の再編について、路線バスの統廃合やダイヤ改正による効率化、デマンド型乗合タクシーの本格運行や運行区域の拡大、コミュニティバスの路線系統の見直し、といった手法によりこれまで展開してきた。

特に、予約制デマンド型乗合タクシー「チョイソコかもがわ」については、現在、長狭、江見、天津小湊地域で運行しており、自地域内と鴨川地域への移動手段として、ドアツードアの形で運行している。

高齢化の進む本市において必要不可欠な公共交通として需要が高まっており、鴨川地域への運行を望む声も高まってきている。

今回の再編は、チョイソコかもがわの鴨川地域を含めた全域化の運行の検討と同時に、コミュニティバスの見直しを図るもの。

2 再編の方向性

(1)チョイソコかもがわの全域化

・現行の運行区域に鴨川地域を加え、市内全域での運行に再編する。
・地域限定運行の形をなくし、3台体制で全域での移動が可能とする。
・朝夕の時間帯に通退勤の利用者が一定数存在することから、チョイソコ車両での定時定路線の代替運行の検討。

(2)コミュニティバスの見直し

・チョイソコかもがわの全域化に伴い、コミュニティバスの運行の廃止(又は縮減)に向けた再編。

3 再編のスケジュール

・令和9年4月からの運行を目途に各方面の事業者、運輸支局等と調整を図る。
・10 月末の市民懇談会を経て、次回会議(11 月開催予定)で再編内容を決定をしたい。

資料2

鴨川市地域公共交通計画について

１　業務目的

鴨川市では、令和４年３月に公共交通施策の指針となる鴨川市地域公共交通計画（計画期間：令和４年度～令和８年度）を策定し、本市にとって最適な地域公共交通網の形成、誰もが安心・便利に利用できる公共交通サービスの提供、みんなで支える公共交通の実現を基本方針として、各種施策を進めてきました。

そして、今般、現計画が令和８年度をもって計画期間の終了を迎えることから、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を踏まえ、計画に位置づけた施策の進捗状況の把握、現在の鴨川市を取り巻く問題点・課題の整理、路線バス、コミュニティバス、チョイソコかもがわなどの今後の運行に向けた検討、今後必要となる施策等の整理などを行い、令和９年度を初年度とする「次期鴨川市地域公共交通計画」を策定するものです。

２　業務の委託先　　株式会社ケー・シー・エス 千葉事務所

３　業務の委託期間　　令和８年７月16日から令和９年３月25日まで

４　業務目的に対する基本的な考え方

本市の公共交通は、高齢化の進行等によりその重要性が年々増している一方、人口減少や自家用車の普及等により、利用者数の減少傾向が続き、その維持が大きな課題となっています。今後も加速する生産年齢人口の減少や高齢化等を踏まえれば、エリアや時間帯の交通空白地区が発生しないように、移動手段や地域の足をどのように維持・確保していくのかを検討することが重要となります。

国では、令和６年７月に国土交通大臣を本部長とする国土交通省「交通空白」解消本部が設置され、「交通空白」解消に向けた取組方針も示されているところであります。

本市においても交通空白地区の解消を段階的に進めていますが、市内には交通空白地区が残っており、既存の公共交通の再編により、市域全体の交通空白地区の解消に繋げていくことが必要となっています。

５　実施方針

（１）　最適な公共交通ネットワークの仮説を描きながら各種調査を実施

（２）　需要と供給及び市民ニーズのマッチングを図り、最適な公共交通ネットワークを検討

（３）　実現可能性や費用対効果の観点を最適な公共交通ネットワーク検討に加味

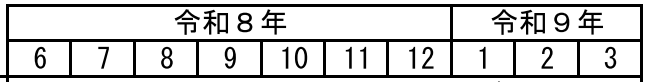
（４）　都市構造及び階層化ネットワーク（マクロの視点）と地区特性（ミクロの視点）に応じた公共交通の再編と拠点性の向上の検討

（５）　計画策定と再編検討を両輪で検討

（６）　まちづくりと交通が連携し、調和のとれた計画とするため、関係各課や関係団体

と横断的に連携し、波及効果につなげる計画策定と再編検討を両輪で検討

６　業務内容



（１） 地域公共交通の利用実態等の整理・分析

①　鴨川市の現状整理
②　上位・関連計画と本計画の位置付けの整理
③　地域公共交通の現状整理
④　現計画の検証

（２） アンケート調査

①市民アンケート
②チョイソコかもがわアンケート ※市民アンケートへの同封形式で実施
調査目的：市民の日常的な移動実態や地域公共交通の利用状況、新たなニーズなどの基礎データを把握するとともに、求められる公共交通のあり方を分析する。
調査対象：住民基本台帳に登録された15歳以上の市民から無作為に抽出した3,000名。
調査方法：郵送による送付及び回収（WEB回収を含む）

（３） 関係者ヒアリング

公共交通に係る市担当部門（上位・関連計画策定担当、教育・福祉の輸送担当等）、バスやタクシー等の運行事業者など、地域公共交通に関わる関係者を対象にヒアリング調査を行い、地域公共交通の現状・問題点等の整理を行う。

（４） 地域公共交通を取り巻く課題の整理

（１）～（３）により整理した地域の現状、問題点等を踏まえ、地域公共交通を取り巻く課題を整理する。

（５） 目指す将来像、基本方針、基本目標等の設定

地域公共交通のあり方、公共交通サービス提供の方針、公共交通とまちづくりとの連携方針、公共交通の運営・運行体制の方針等を定める。
地域公共交通のあり方については、地域公共交通の位置付けを明確にして、広域交通、幹線交通とそれを補完する支線交通、市街地内を運行する交通など、公共交通ネットワークのあり方、方向性を定めるものとする。また、計画の事業効果の評価に資する成果指標（数値目標）を設定する。

（６） 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等の検討

目標を達成する上で必要となる事業内容、実施主体、事業スケジュール等を定める。また、達成状況の評価を行うために進行管理方法や管理体制等を定める。
施策や事業については、国・県などの補助事業の動向に加えて、デマンド交通システム、MaaSなどに対する国・県・他市町村等の動向についても情報収集を行いながら鴨川市に適用できる事業等の位置付けを検討する。

（７） 鴨川市地域公共交通計画（案）のとりまとめ

（１）～（６）の他、パブリックコメントでの意見を踏まえて、計画書（案）及び計画書概要版（案）をとりまとめる。

鴨川市地域公共交通会議	★ 第2回	★ 第3回	★ 第4回	★ 第5回			

資料3

鴨川市地域公共交通計画
（現況と課題編）

鴨　川　市

令 和 ８ 年 ８ 月

［ 目　　次 ］

1 計画の概要 ・・・

1 計画の概要

1-1 計画策定の目的及び背景

全国では、人口減少や少子高齢化、マイカー依存、ライフスタイルや移動ニーズの多様化等により、鉄道や路線バスをはじめとする地域公共交通の利用者は減少傾向にあります。また、近年、地域公共交通を担う運転者不足が深刻化しており、大幅な減便が行われるなど公共交通サービスが低下傾向にあることや、高齢運転者による交通事故の社会問題化などもあり、住民の移動手段として、誰もが利用しやすい地域公共交通サービスの確保が切実な課題となっています。

このような中、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」が令和5年7月に施行され、地域の関係者の連携・協働（共創）を通じ、利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通ネットワークへの「リ・デザイン」（再構築）を進める重要性が示されました。

本市の地域公共交通は、市内と市外をつなぐ広域交通の役割を担う公共交通は、JR 安房鴨川駅が終着駅となり千葉駅と結ぶ JR 外房線と JR 内房線が運行されており、市内の鉄道駅が５駅（安房小湊駅、安房天津駅、安房鴨川駅、太海駅、江見駅）が整備されています。また、東京及び千葉市方面へのアクセス手段である高速バス（３ 路線：東京鴨川線、千葉鴨川線、東京小湊御宿線）、近隣自治体との間を結ぶ広域路線バス（２路線：木更津鴨川線、館山鴨川線）が運行されています。市内の移動を支える公共交通は、路線バス（２路線：長狭線、鴨川市内線）とコミュニティバス循環線が運行されています。また、新たな地域公共交通として、デマンド交通「チョイソコかもがわ」が３地域（長狭地域、江見地域、天津小湊地域）で運行されており、実証運行を踏まえて、令和７年４月より本格運行に移行しています。

今後、本市でも高齢者人口の増加が見込まれている中、公共交通の重要性は増していくことが想定されますが、乗務員の不足や燃料費の高騰など、交通事業者を取り巻く環境は厳しい状況であり、その維持が大きな課題となっています。路線バスやコミュニティバスの乗務員不足等による路線廃止の代替交通の確保及びバス停や目的地までの移動距離が遠い空白地域への対応として、チョイソコかもがわの導入区域を拡大してきました。今後もチョイソコかもがわを含めて、エリアや時間帯の交通空白地域が発生しないように、どのように移動手段を確保していくのかを検討することが必要となっています。

こうした状況の中、令和３年度に策定した「鴨川市地域公共交通計画」が令和８年度をもって目標年次を迎えることから、交通に関わる様々な主体が相互に協力して、本市にとって持続可能な地域公共交通網を形成し、公共交通サービスの更なる充実、維持確保を図ることを目的として、新たな地域公共交通のマスタープランとなる「鴨川市地域公共交通計画」を策定します。

1-2 計画の位置付け

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第５条第１項に規定する地域公共交通計画として策定します。

市の上位計画である「第３次鴨川市総合計画」や関連計画である「第３期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「鴨川市都市計画マスタープラン」などとの整合を図り、本市の地域公共交通のマスタープランとして位置づけます。

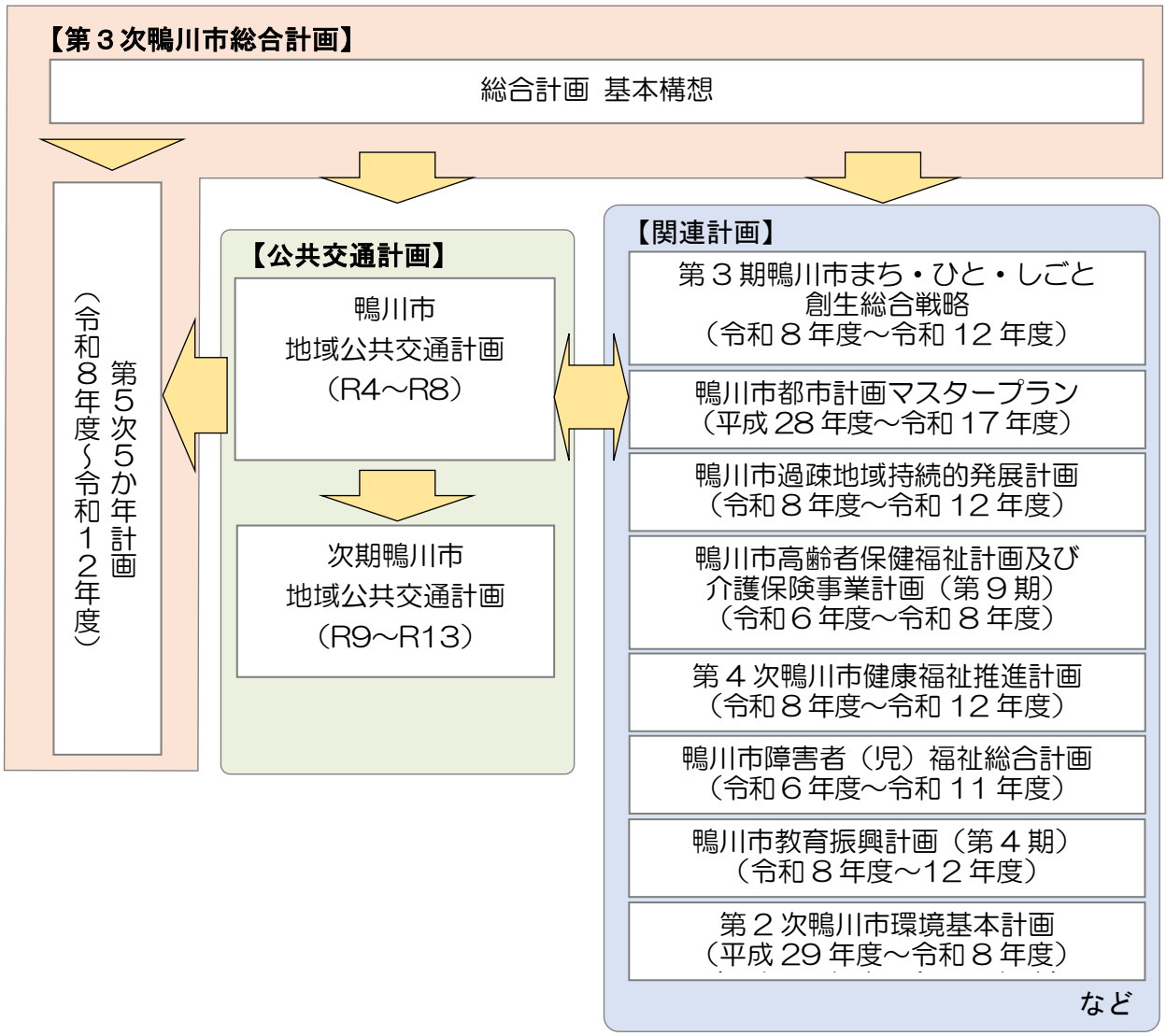


図　計画の位置づけ

1-3 計画対象

本計画の区域は、鴨川市全域とします。なお、近隣市町を結ぶ広域交通については、関係自治体や交通事業者と連携を図ります。

1-4 計画期間

計画期間は令和９年度～令和 13 年度の５年間とします。ただし、社会情勢やまちづくりに大きな変化が生じた場合は、適宜、改定を行います。

2 地域公共交通を取り巻く現状

2-1 地域特性

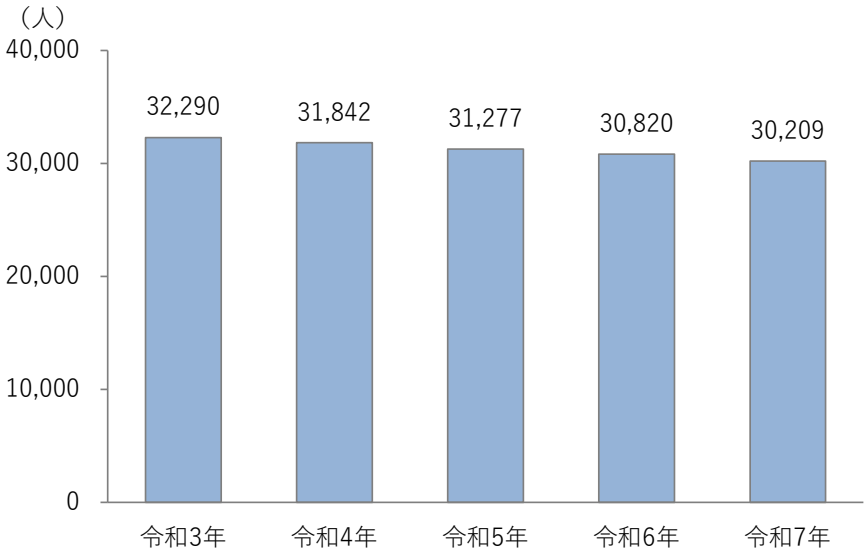
2-1-1 人口動態

（1）人口推移

本市の人口は、令和７年４月１日現在で約 30,200 人となっており、５年前の令和３年に比べて、約 2,000 人減少しています。

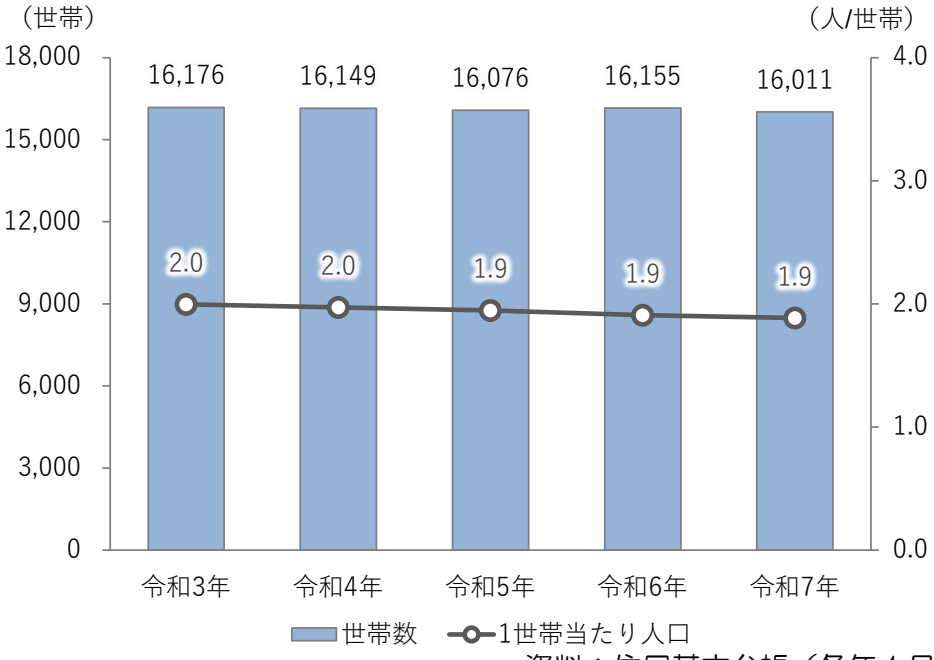
本市の世帯数は、令和７年４月１日現在で約 16,000 世帯となっています。５年前の令和３年に比べて、約 100 世帯減少しており、令和７年の１世帯当たり人口は 1.9 人です。

■人口の推移



資料：住民基本台帳（各年１月１日現在）

■世帯数及び１世帯当たり人口の推移



資料：住民基本台帳（各年１月１日現在）

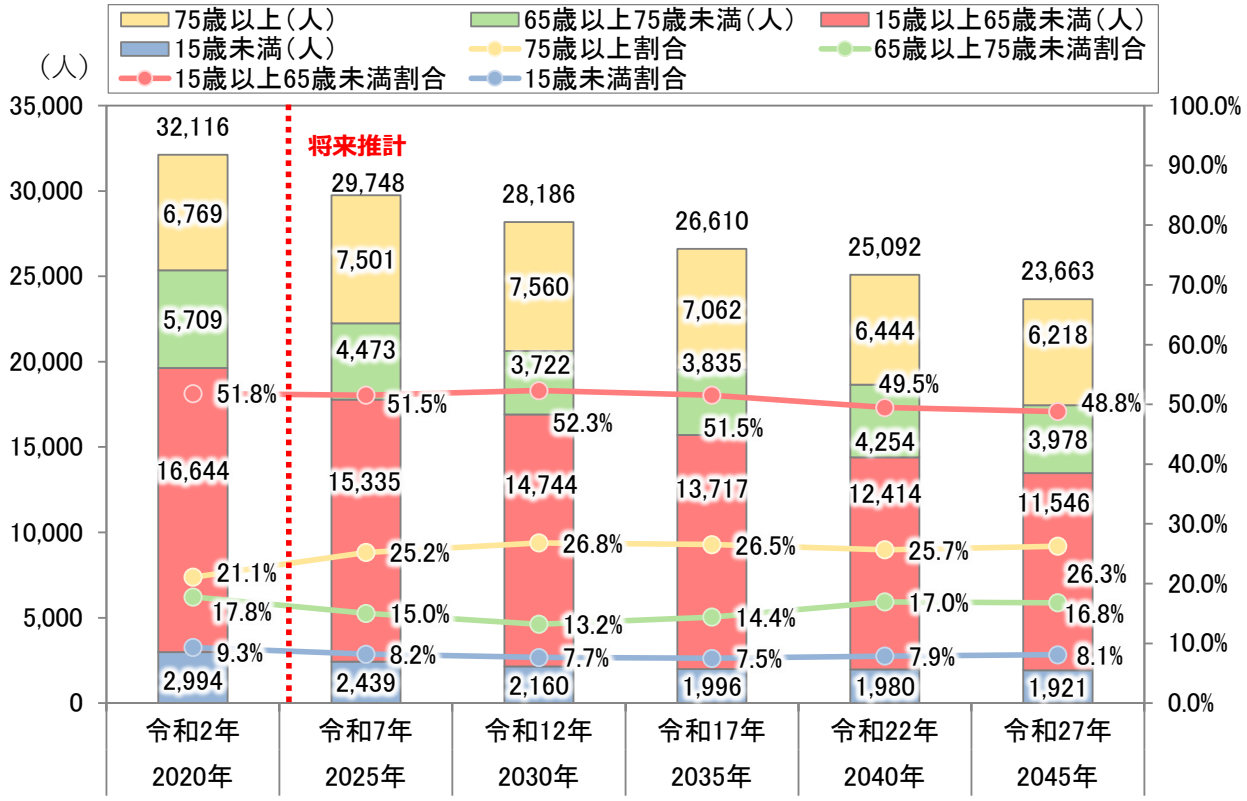
（2）将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、本市の人口は、令和２年の約32,000 人から令和 27 年には約 23,600 人にまで減少することが見込まれています。

15 歳未満の年少人口割合は、令和２年の 9.3%から令和 27 年の 8.1%に減少、15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口割合は、51.8%から 48.8%にまで減少、65 歳以上の老年人口割合は、38.9%から 43.1%に増加する見込みとなっています。

■人口の推計（目標人口）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
15歳未満（人）	2,994	2,439	2,160	1,996	1,980	1,921
15歳以上65歳未満（人）	16,644	15,335	14,744	13,717	12,414	11,546
65歳以上（人）	12,478	11,974	11,282	10,897	10,698	10,196
65歳以上75歳未満（人）	5,709	4,473	3,722	3,835	4,254	3,978
75歳以上（人）	6,769	7,501	7,560	7,062	6,444	6,218
総人口（人）	32,116	29,748	28,186	26,610	25,092	23,663
15歳未満割合	9.3%	8.2%	7.7%	7.5%	7.9%	8.1%
15歳以上65歳未満割合	51.8%	51.5%	52.3%	51.5%	49.5%	48.8%
65歳以上割合	38.9%	40.3%	40.0%	41.0%	42.6%	43.1%
65歳以上75歳未満割合	17.8%	15.0%	13.2%	14.4%	17.0%	16.8%
75歳以上割合	21.1%	25.2%	26.8%	26.5%	25.7%	26.3%

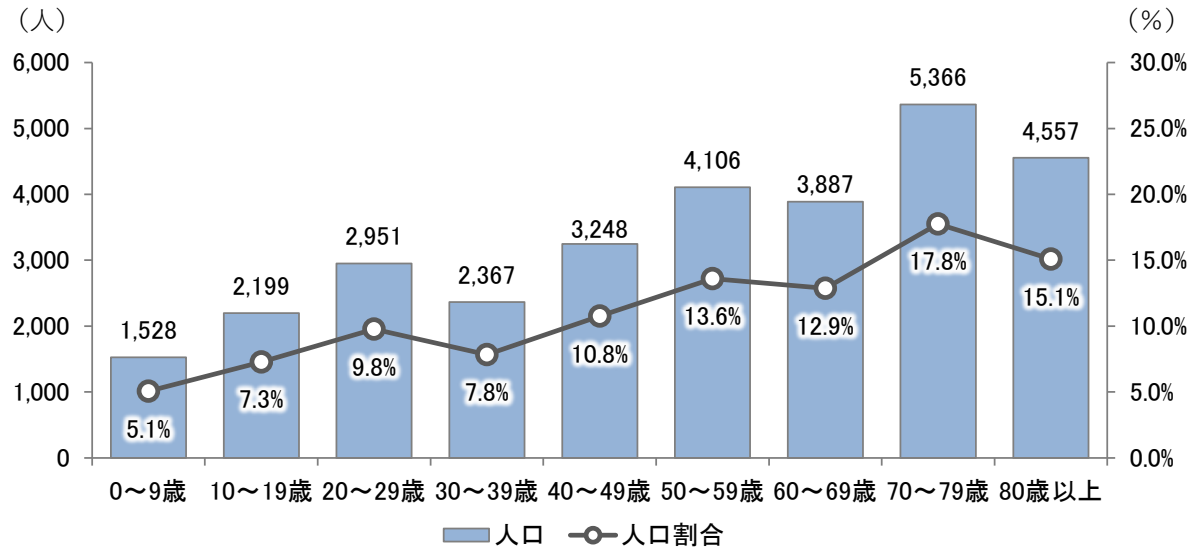


資料：令和２年国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所（各年 10 月１日現在）

（３）年齢別人口

令和７年１月１日現在の年齢別人口を見ると 70 歳代が約 5,300 人、80 歳以上が約 4,500 人と多くなっています。60 歳以上の人口は、全人口の 45.7%となっています。

■年齢別人口



資料：住民基本台帳（令和７年１月１日現在）

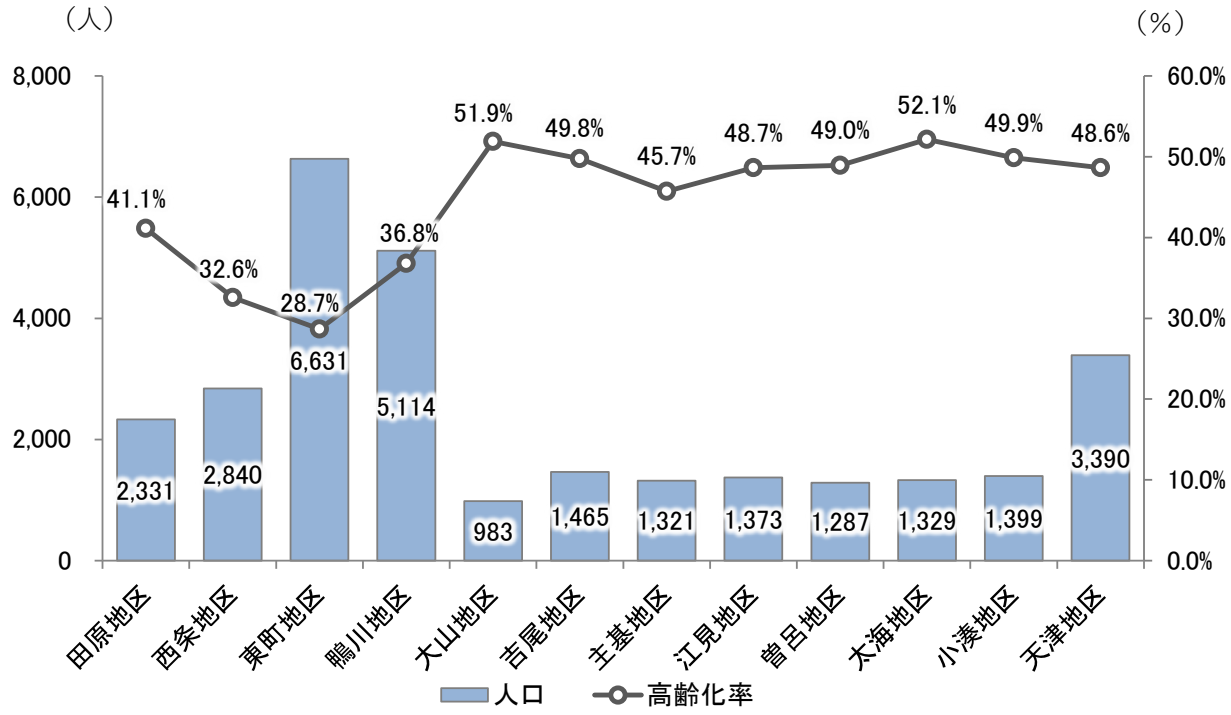
（4）地区別人口および高齢化率

令和８年４月１日現在の地区別人口を見ると、東条地区が約 6,600 人と最も多く、次いで、鴨川地区が約 5,100 人、天津地区が約 3,400 人となっています。

高齢化率をみると、太海地区が 52.1%と最も高く、次いで大山地区が 51.9%と続いています。

■地区別人口および高齢化率

令和3年	田原地区	西条地区	東条地区	鴨川地区	大山地区	吉尾地区	主基地区	江見地区	曽呂地区	太海地区	小湊地区	天津地区
0～14歳	177	308	667	391	57	99	107	101	72	56	63	212
15～64歳	1,195	1,607	4,062	2,842	416	637	610	604	585	580	638	1,529
65歳以上	959	925	1,902	1,881	510	729	604	668	630	693	698	1,649
人口	2,331	2,840	6,631	5,114	983	1,465	1,321	1,373	1,287	1,329	1,399	3,390
高齢化率	41.1%	32.6%	28.7%	36.8%	51.9%	49.8%	45.7%	48.7%	49.0%	52.1%	49.9%	48.6%

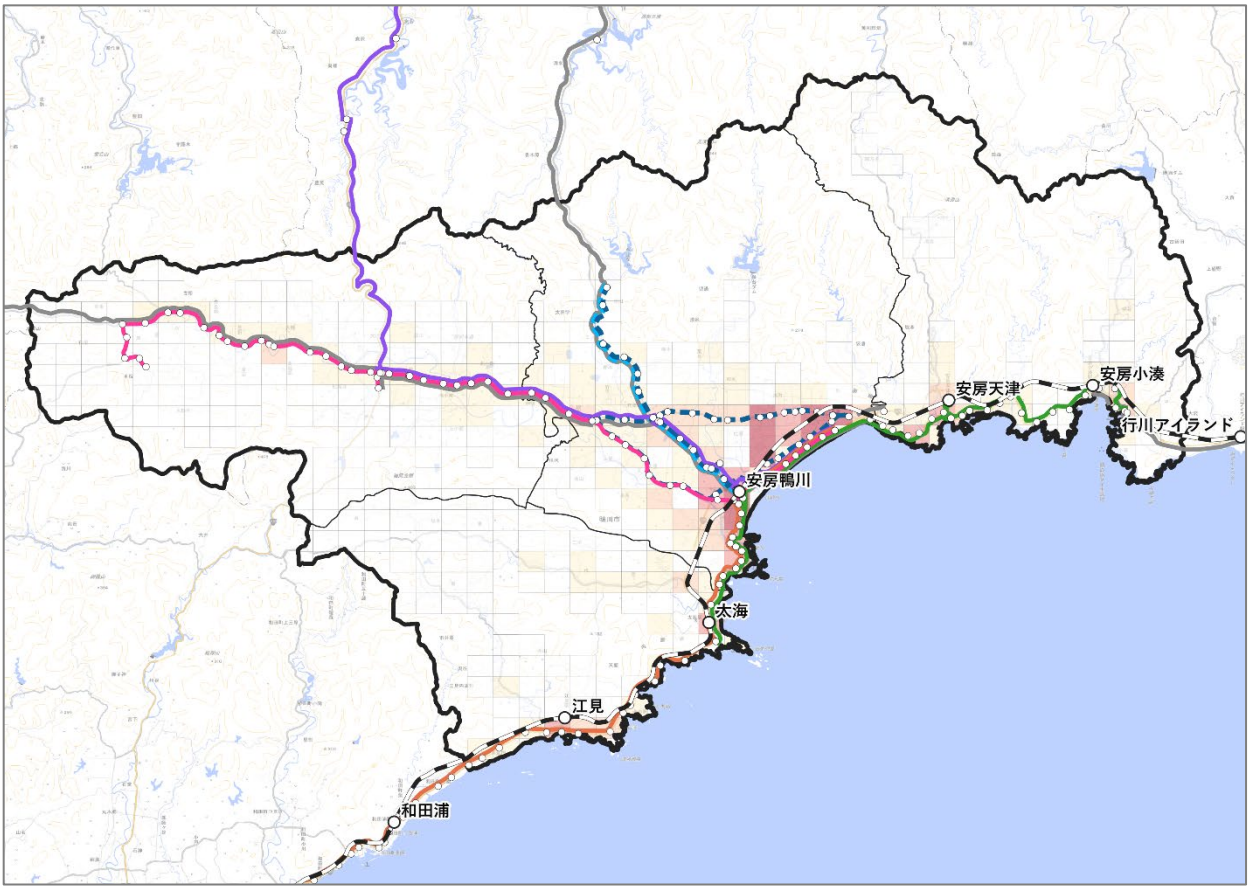


資料：千葉県年齢別・町丁字別人口調査（令和８年４月１日現在）

■地域区分図



■人口分布状況



鉄道駅
鉄道路線
バス停
路線バス
鴨川市内線
館山鴨川線
木更津鴨川線
長狭線
コミュニティバス
循環系統
短縮系統
高速バス
市域
地域境界線
人口メッシュ（500m）
50人未満
50人以上200人未満
200人以上400人未満
400人以上600人未満
600人以上

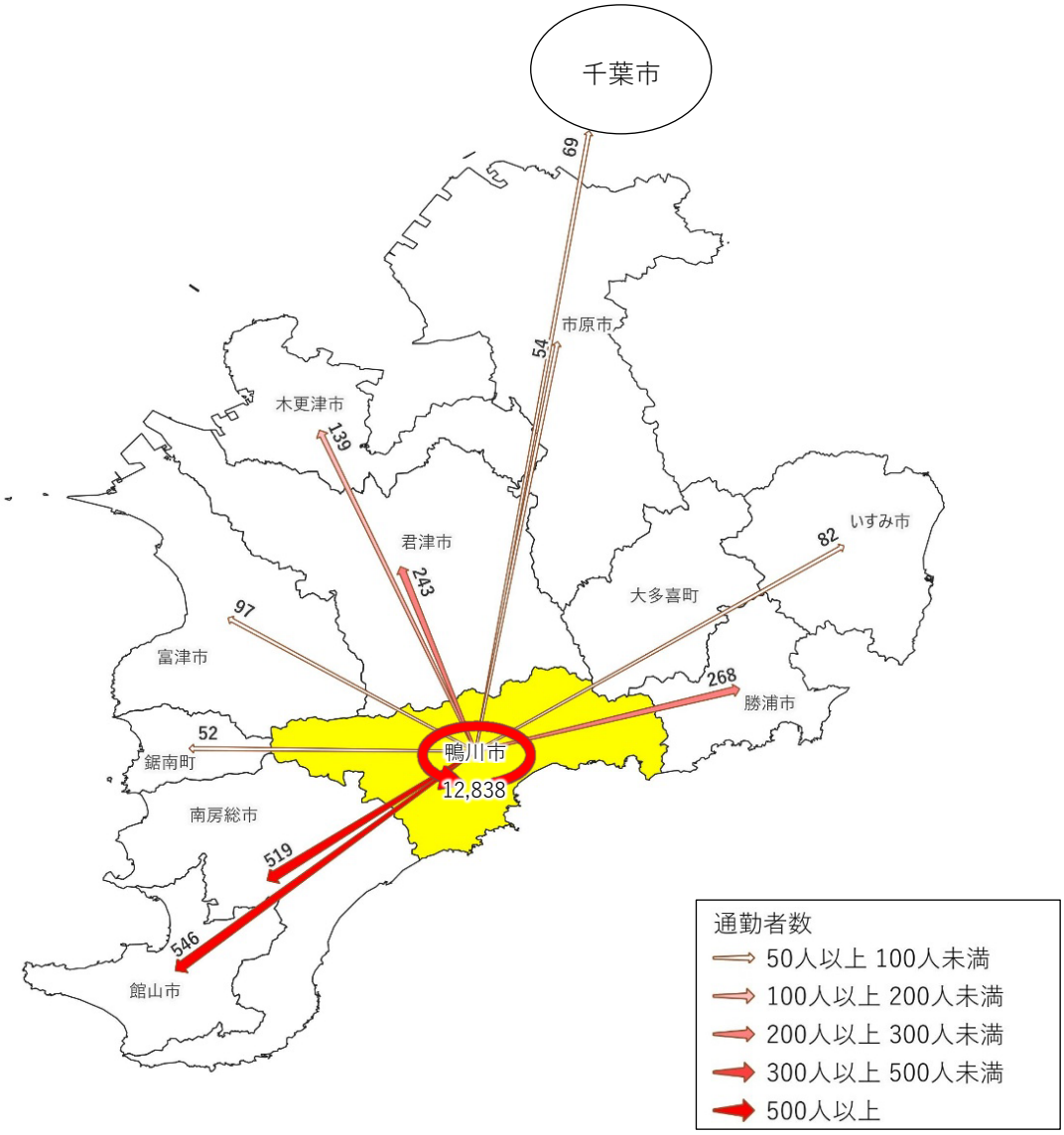
2-1-2 通勤及び通学における流入出

（1）通勤流動（流出）

鴨川市内に住んでいる就業者数 15,620 人のうち、市内に通勤している人が最も多く 12,838 人となっています。

市外への通勤を見ると、館山市（546 人）、南房総市（519 人）が多くなっています。

■鴨川市から他市町への通勤流動図



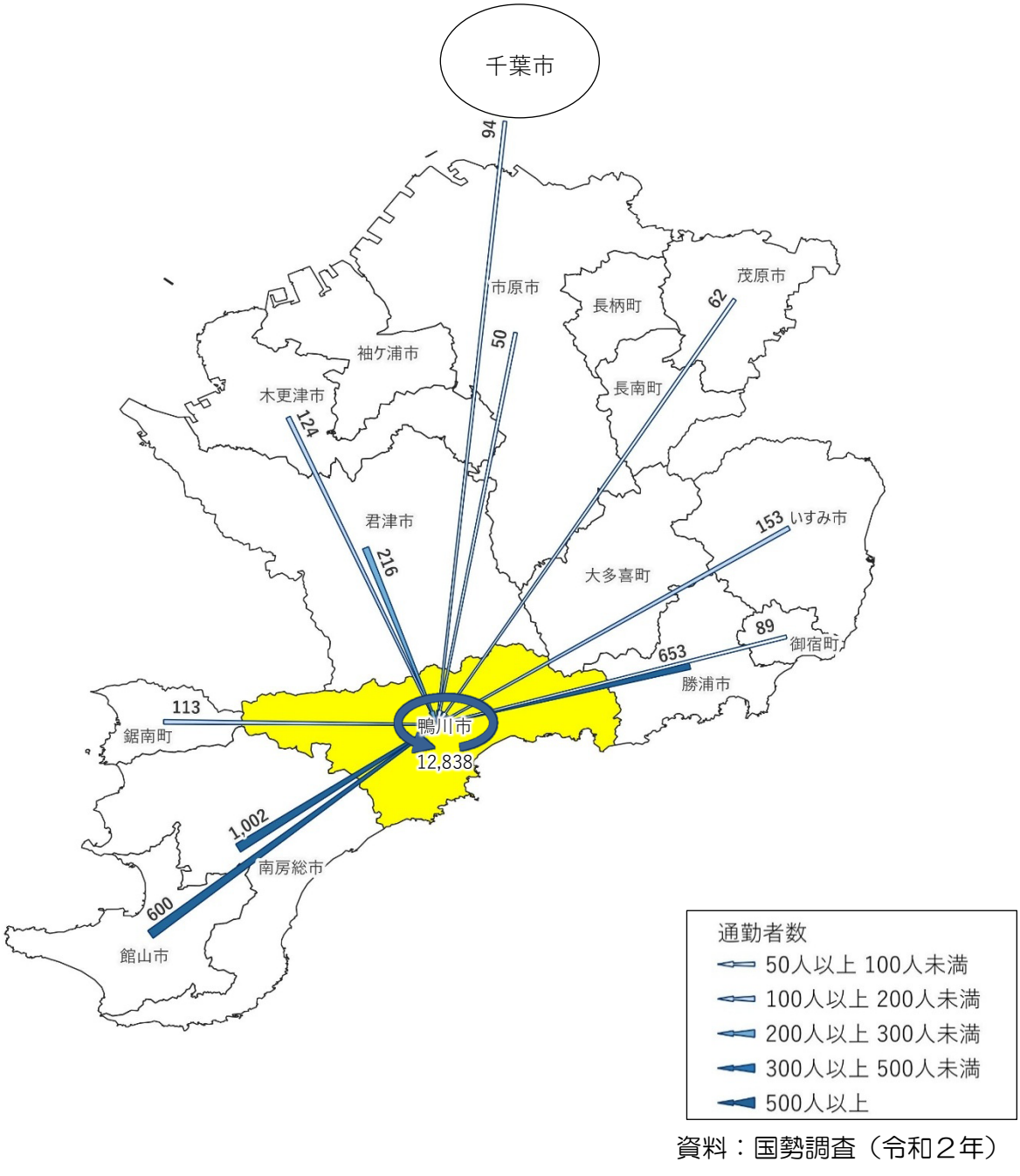
資料：国勢調査（令和２年）

（2）通勤流動（流入）

鴨川市内に通う就業者数 16,865 人のうち、市内に通勤している人が最も多く人となっています。

市外からの通勤を見ると、南房総市（1,002 人）、館山市（600 人）が多くなっています。

■他市町から鴨川市への通勤流動図



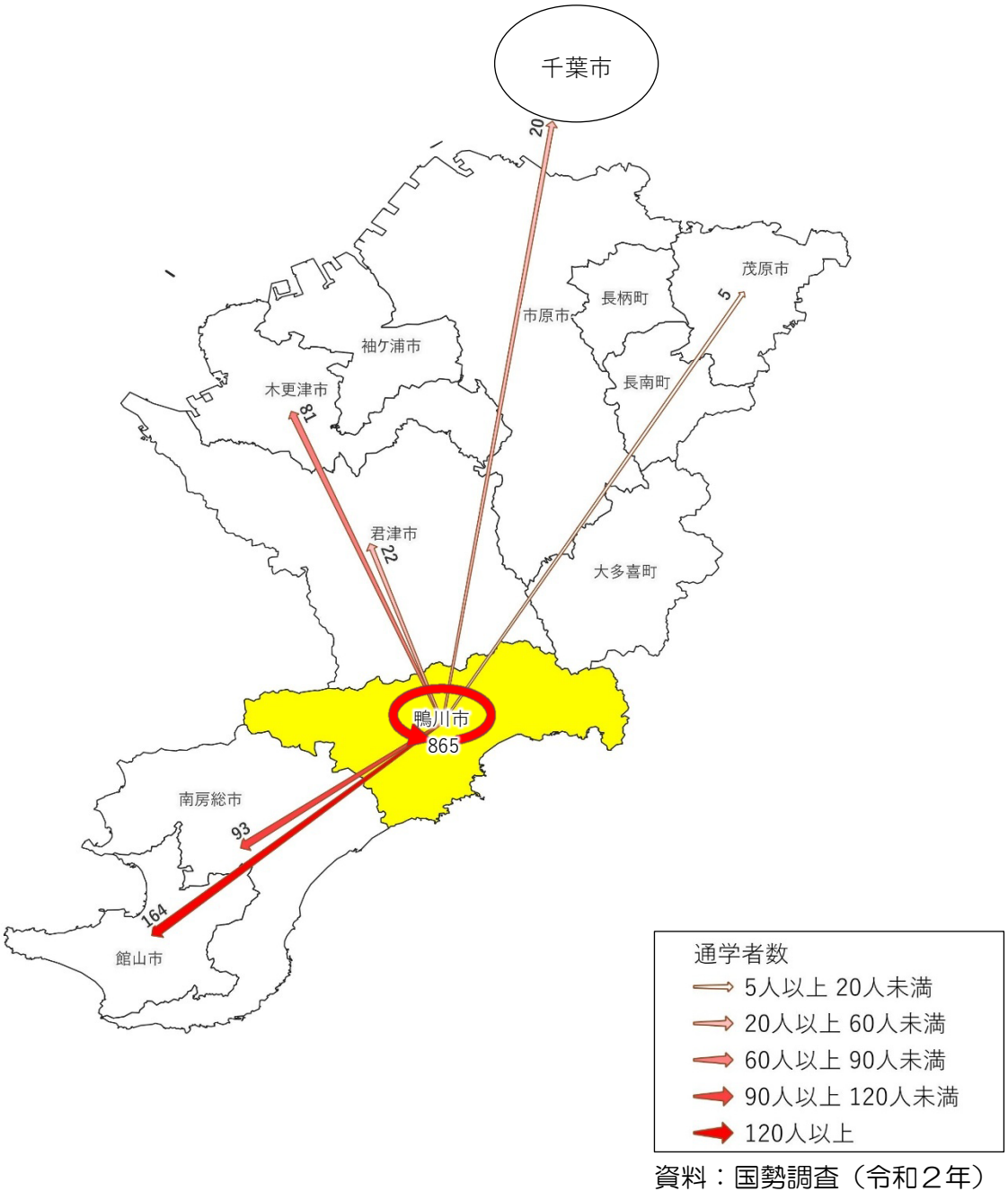
資料：国勢調査（令和２年）

（3）通学流動（流出）

鴨川市内に住んでいる通学者数 1,349 人のうち、市内に通学している人が最も多く 865 人となっています。

市外への通学を見ると、館山市（164 人）、南房総市（93 人）が多くなっています。

■鴨川市から他市町への通学流動図



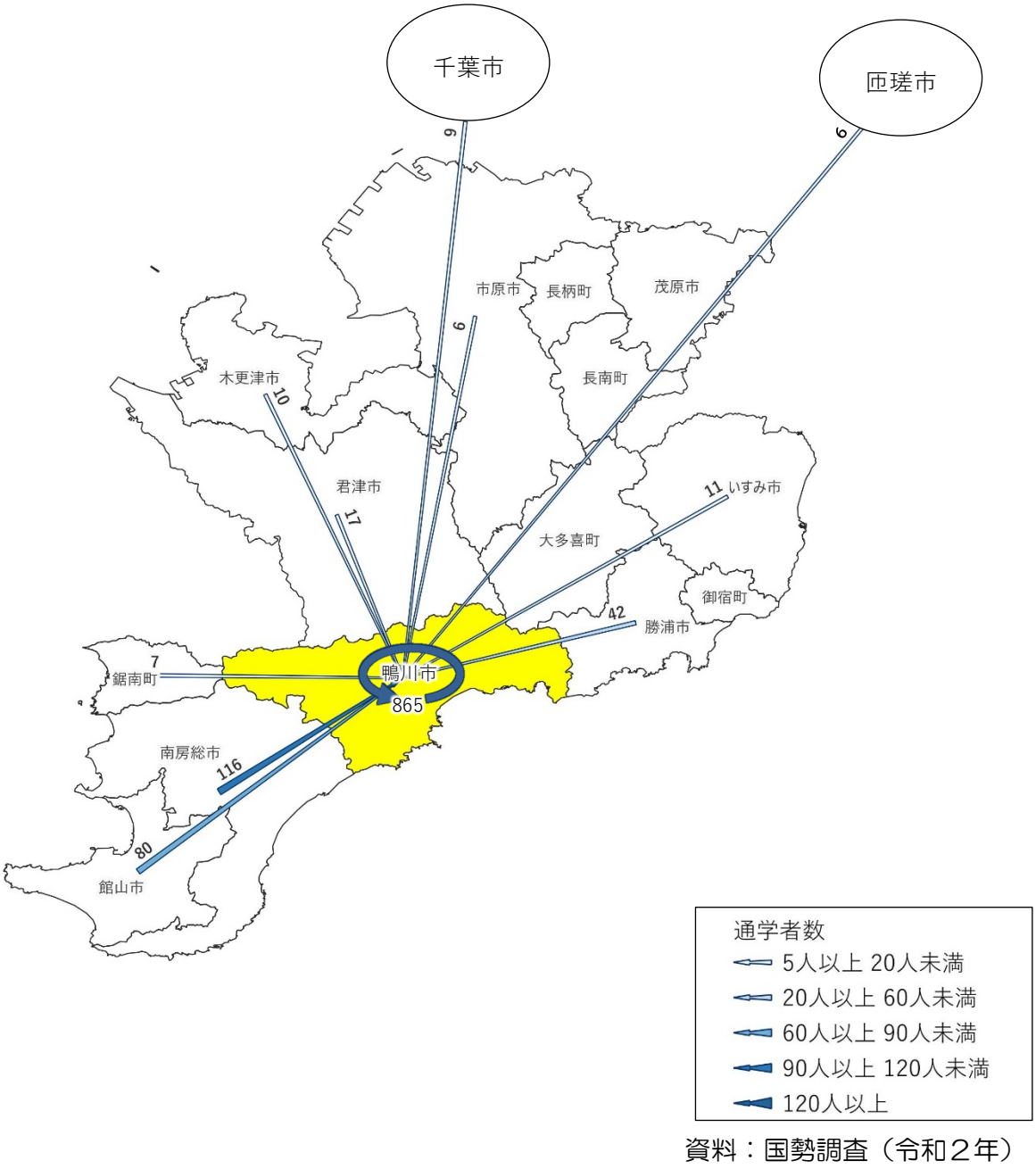
資料：国勢調査（令和２年）

（4）通学流動（流入）

鴨川市内に通う通学者数 1,287 人のうち、市内に通勤している人が最も多く 865 人となっています。

市外からの通学を見ると、南房総市（116 人）、館山市（80 人）が多くなっています。

■他市町から鴨川市への通学流動図

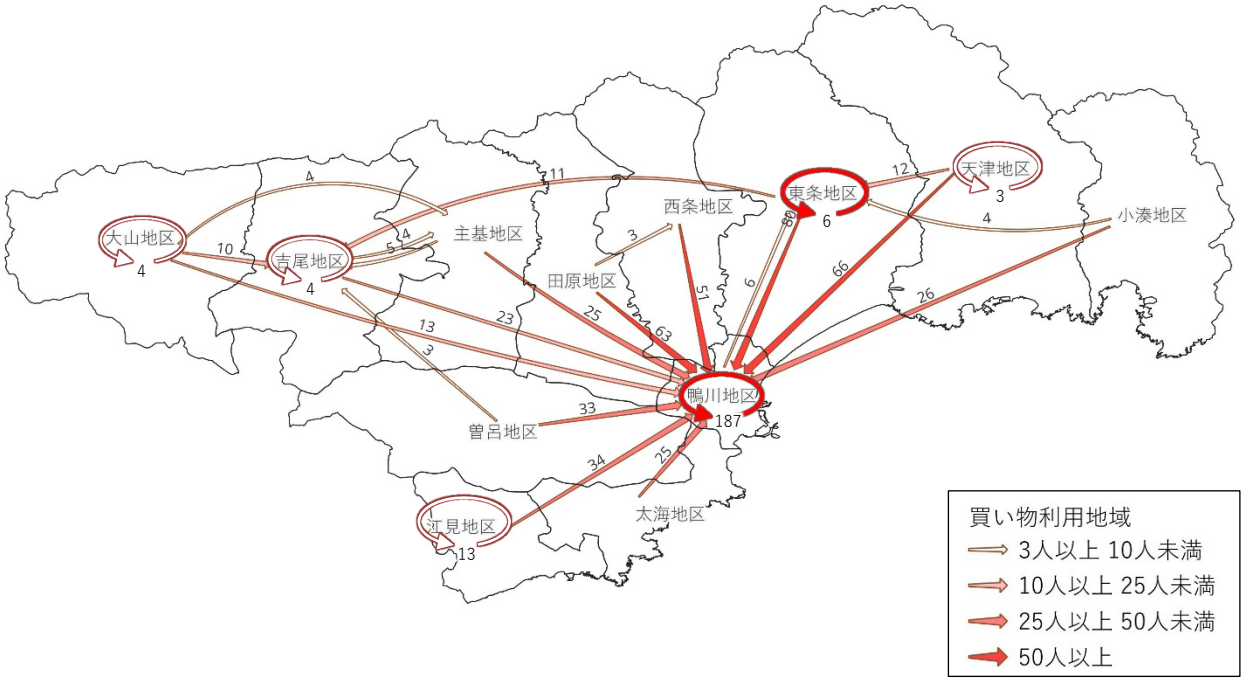


資料：国勢調査（令和２年）

2-1-3 買い物および通院における流入出

（1） 買い物流動

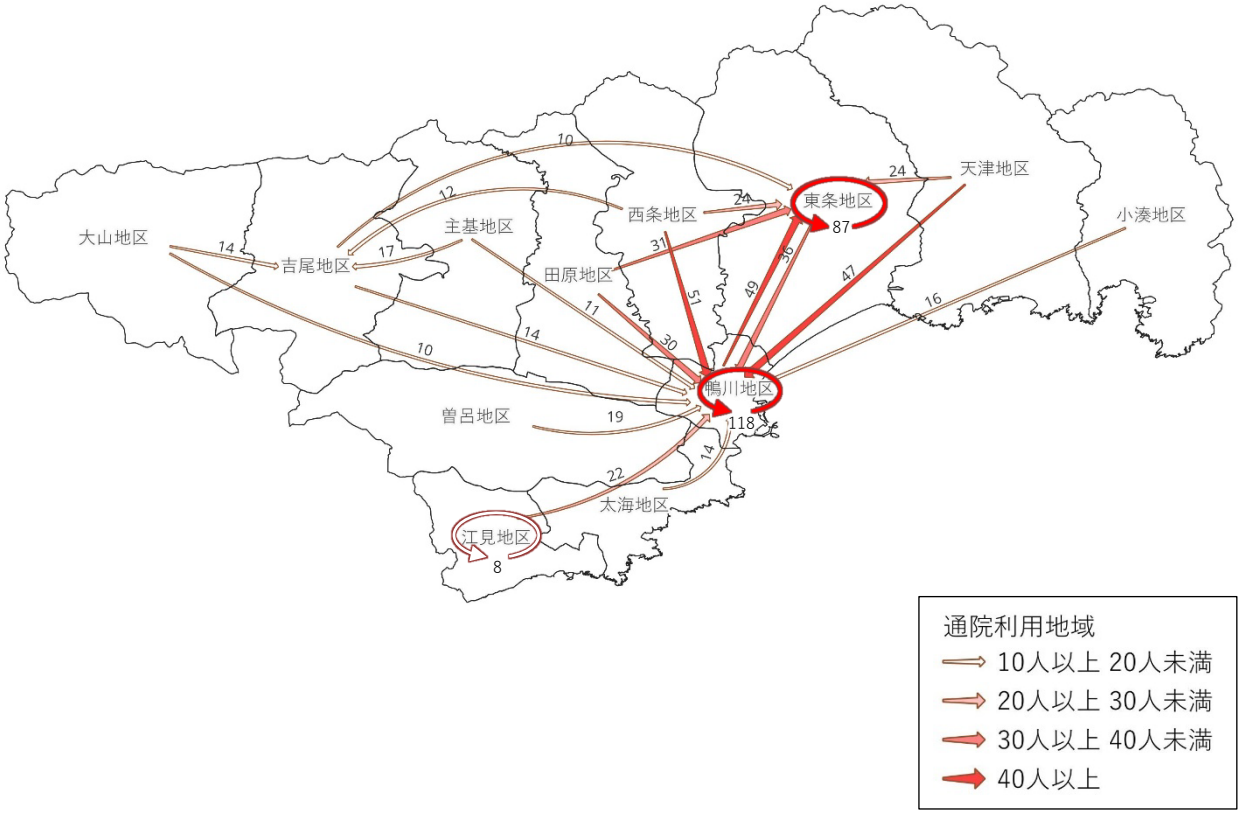
買い物の利用地域を見ると、鴨川地区内の移動（187 人）、東条地区内の移動（69 人）が多くなっています。



資料：日常の外出や公共交通に関するアンケート調査実施報告書（速報版）

（2）通院流動

通院の利用地域を見ると、鴨川地区内の移動（118 人）、東条地区内の移動（87 人）が多くなっています。



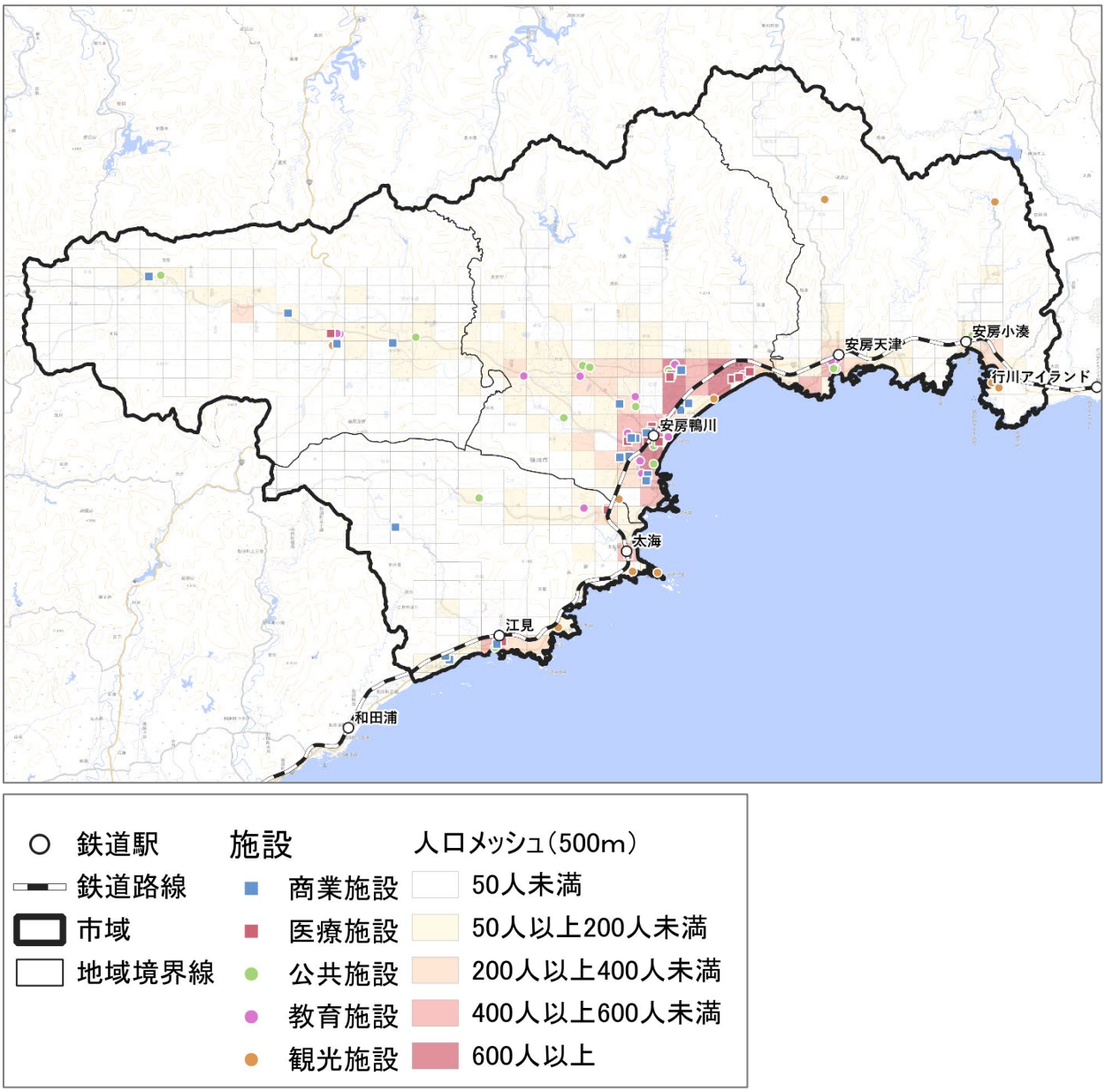
資料：日常の外出や公共交通に関するアンケート調査実施報告書（速報版）

2-1-4 主要施設の立地状況

主要施設の立地状況を見ると、中心市街地である鴨川地域に施設の立地が多くなっています。

一方で、江見・長狭・天津小湊地域には施設がほとんどない状態です。

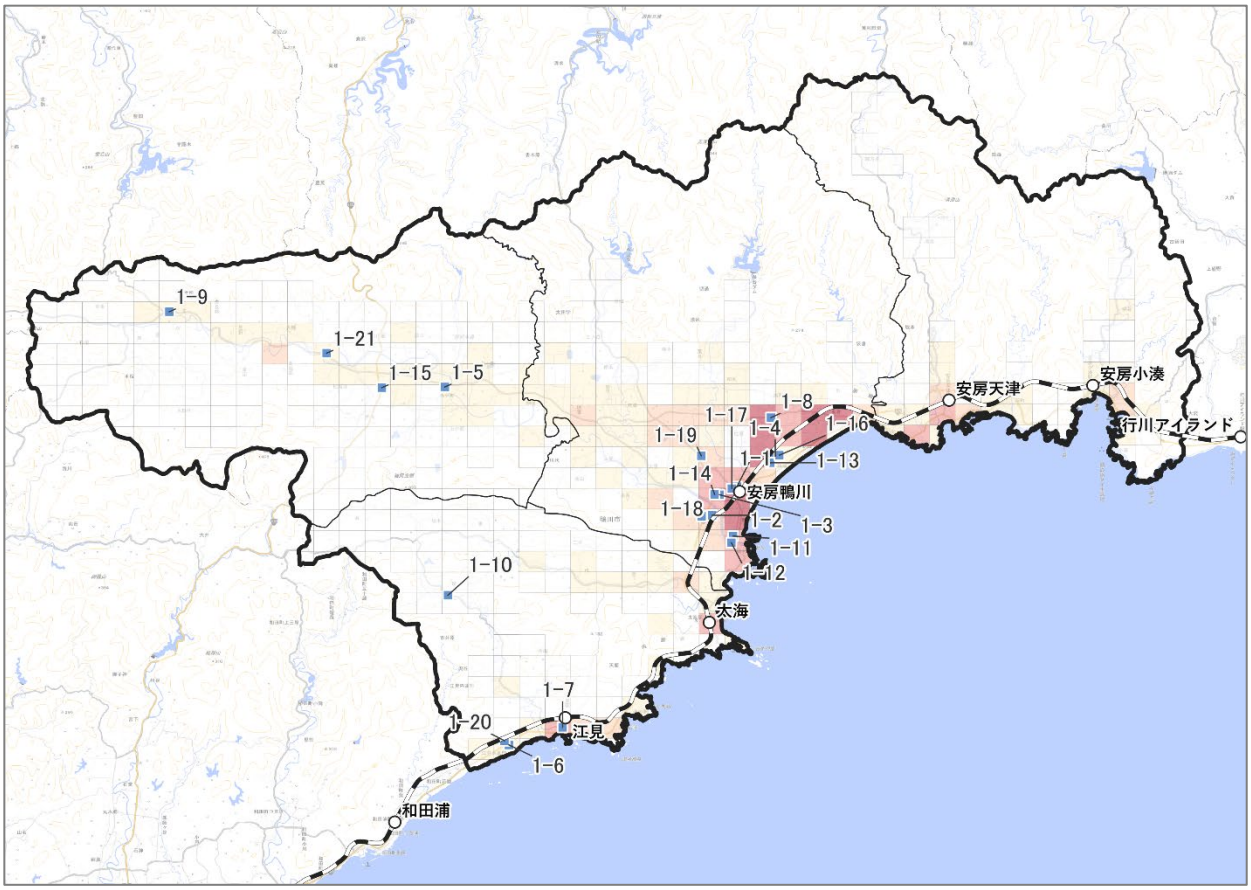
■施設等の立地状況



（1）主な商業施設

商業施設は、JR 安房鴨川駅から国道 128 号線沿いが特に多い状況にあります。

■商業施設の立地状況



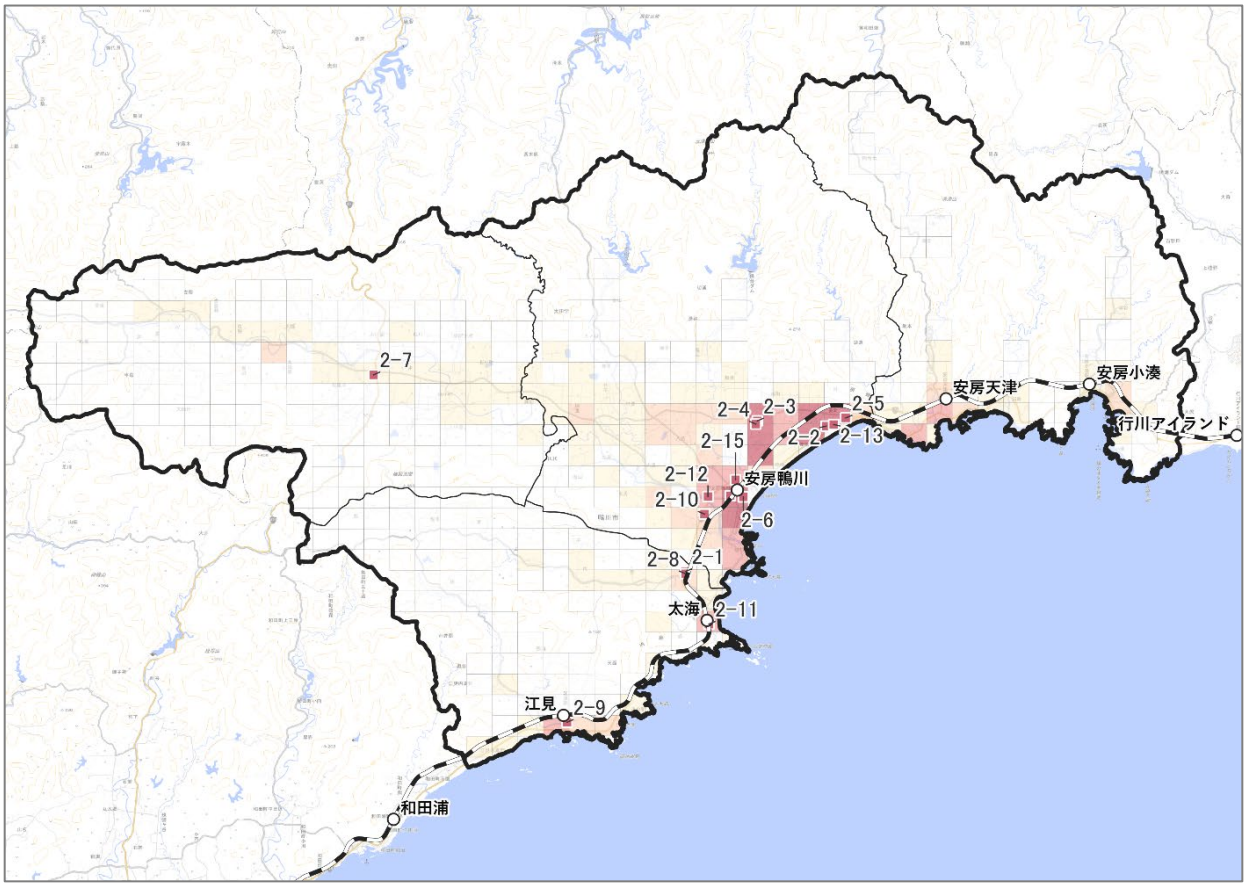
種類	No.	店舗名
ショッピングセンター	1-1	イオン鴨川店
スーパー	1-2	ベイシア鴨川店
	1-3	おどや鴨川店
	1-4	おどや広場店
	1-5	おどや長狭店
	1-6	おどや江見店
	1-7	三原屋商店
	1-8	むらかみストアー
	1-9	寿しや
	1-10	石井商店
	1-11	(有) 山田青果店
	1-12	庄司食品店
ドラッグストア	1-13	クスリのアオキ広場店
	1-14	ヤックスドラッグ鴨川店
	1-15	ヤックスドラッグ鴨川長狭店
	1-16	ウエルシア鴨川広場店
	1-17	ドラッグストア マツモトキヨシ 鴨川店
	1-18	ドラッグストア マツモトキヨシ 鴨川貝渚店
ホームセンター	1-19	カインズ鴨川店
	1-20	コメリハード＆グリーン鴨川江見店
	1-21	コメリハード＆グリーン鴨川長狭店

資料：全国大型小売店総覧（2025年版）、i タウンページ

（2）主な医療施設

医療施設は、JR 安房鴨川駅周辺が特に多いほか、長狭街道に沿って分布が見られます。

■医療施設の立地状況



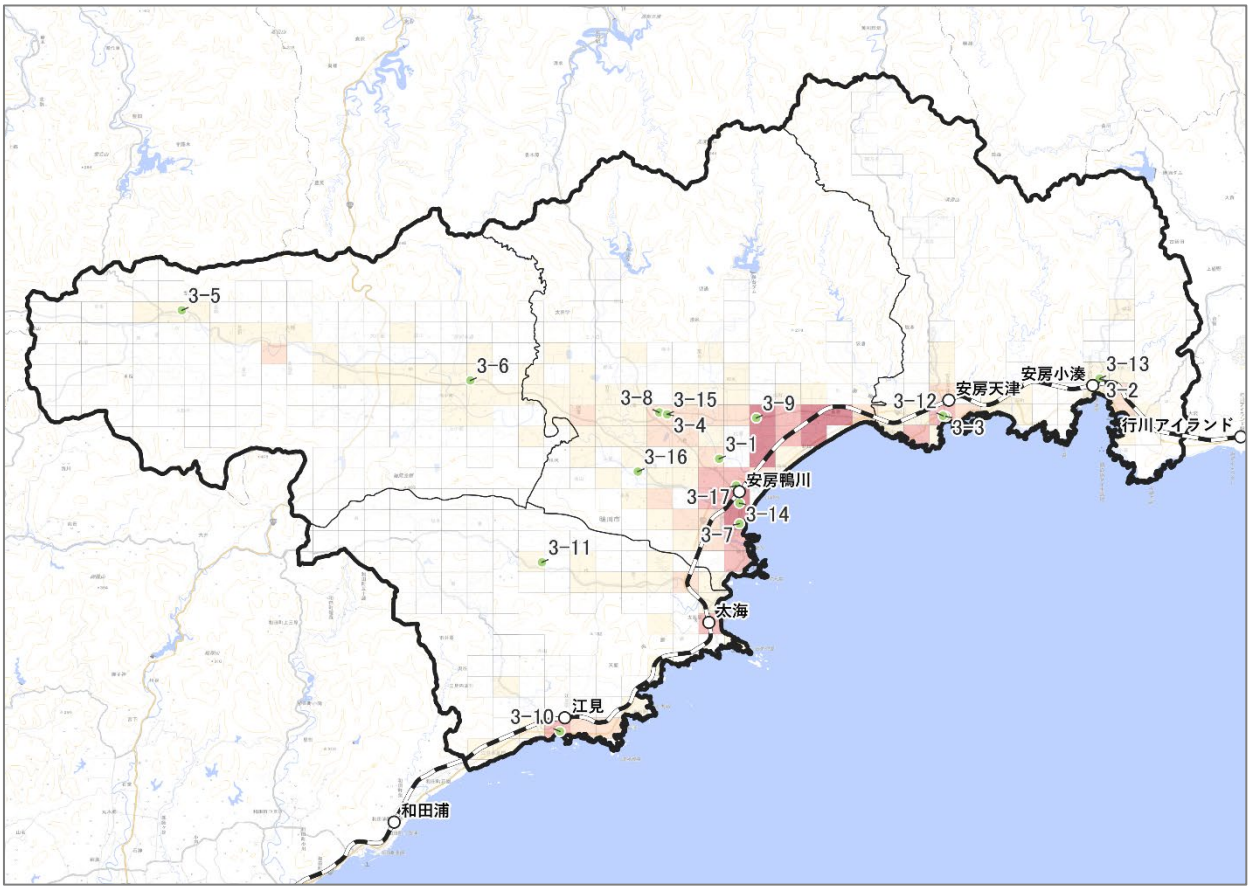
種類	No.	名称
病院	2-1	医療法人社団宏和会　エビハラ病院
	2-2	医療法人鉄蕉会　亀田総合病院
	2-3	医療法人明星会　東条病院
	2-4	医療法人明星会　東条メンタルホスピタル
	2-5	医療法人鉄蕉会　亀田リハビリテーション病院
	2-6	医療法人三紫会　小田病院
	2-7	鴨川市立国保病院
一般診療所	2-8	医療法人社団宏和会 嶺岡クリニック
	2-9	真木クリニック
	2-10	医療法人社団 前川小児科クリニック
	2-11	長谷川医院
	2-12	川邉整形外科クリニック
	2-13	医療法人鉄蕉会 亀田クリニック
	2-14	医療法人社団恒仁会 伊藤胃腸科クリニック
	2-15	医療法人社団房悠会 石川外科内科クリニック

資料：国土数値情報

（3）主な公共施設

公共施設は、一定の人口分布が見られる地域を中心に点在しています。

■公共施設の立地状況



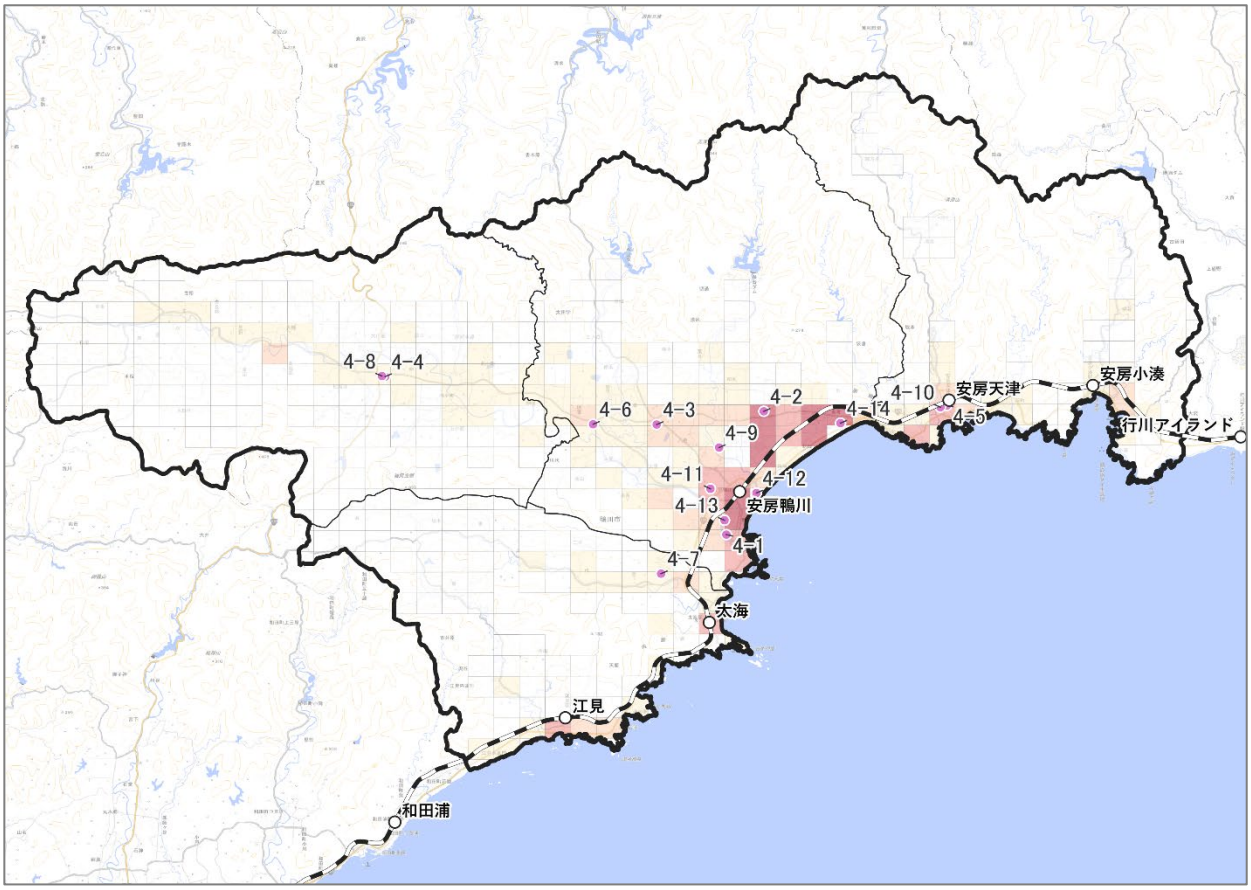
種類	No.	名称
市役所	3-1	鴨川市役所
支所	3-2	小湊出張所
	3-3	天津小湊支所
交流施設	3-4	ふれあいセンター市民サービスコーナー
	3-5	長狭地区公民館
	3-6	長狭地区公民館主基分館
	3-7	鴨川地区公民館
	3-8	鴨川地区公民館西条分館
	3-9	鴨川地区公民館東条分館
	3-10	江見地区公民館
	3-11	江見地区公民館曽呂分館
	3-12	天津小湊地区公民館
	3-13	コミュニティセンター小湊
	3-14	鴨川市民ギャラリー
	3-15	鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）
	3-16	鴨川市総合運動施設 文化体育館
	3-17	鴨川駅西口市民サービスセンター

資料：国土数値情報

（4）主な教育施設

教育施設は、鴨川地域を中心に分布が見られます。

■教育施設の立地状況



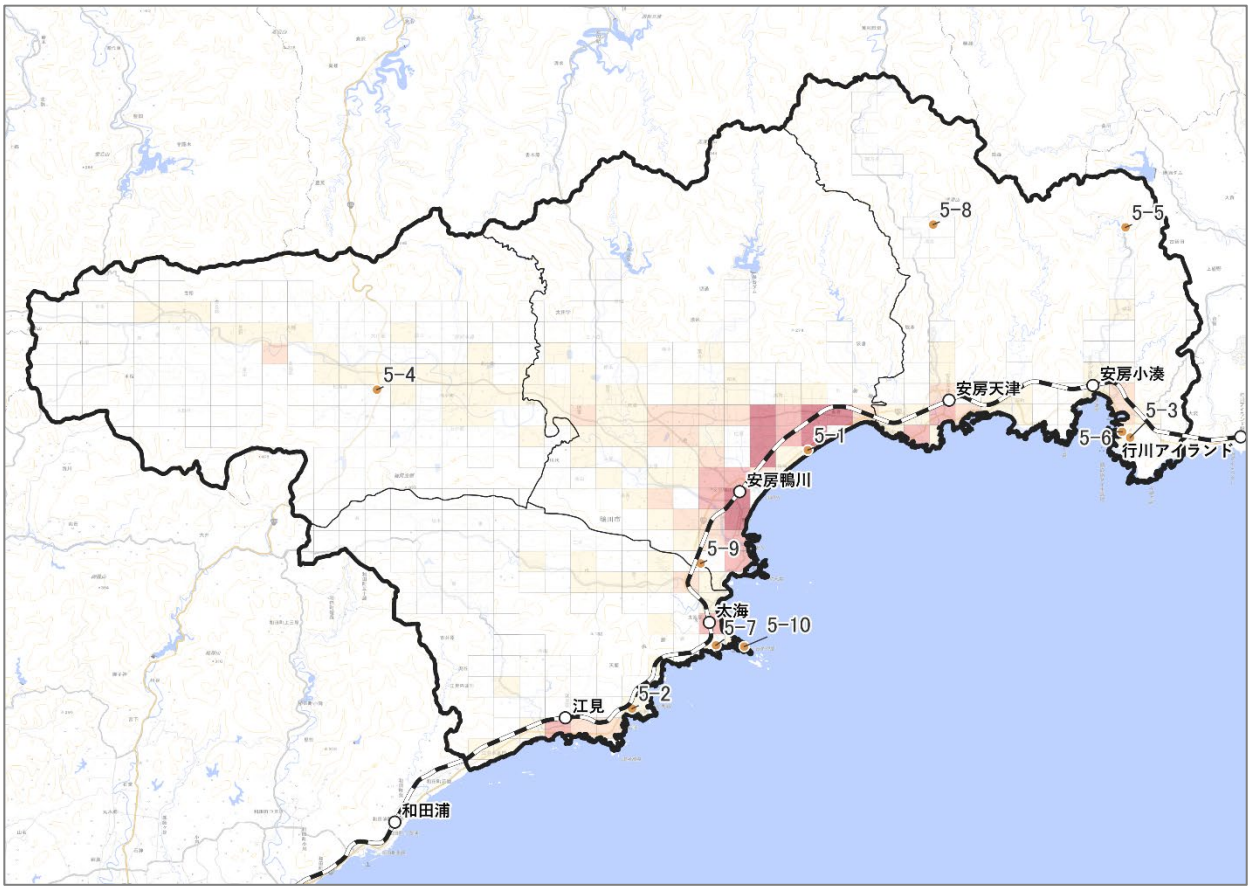
種類	No.	名称
小学校	4-1	鴨川市立鴨川小学校
	4-2	鴨川市立東条小学校
	4-3	鴨川市立西条小学校
	4-4	鴨川市立長狭小学校
	4-5	鴨川市立天津小湊小学校
	4-6	鴨川市立田原小学校
	4-7	鴨川市立江見小学校
中学校	4-8	鴨川市立長狭中学校
	4-9	鴨川市立鴨川中学校
	4-10	鴨川市立安房東中学校
高等学校	4-11	千葉県立長狭高等学校
	4-12	鴨川令徳高等学校
大学	4-13	亀田医療大学
専門学校	4-14	亀田医療技術専門学校

資料：国土数値情報

（5）主な観光施設

観光施設は、市南東部の海岸沿いを中心に立地しています。

■観光施設の立地状況



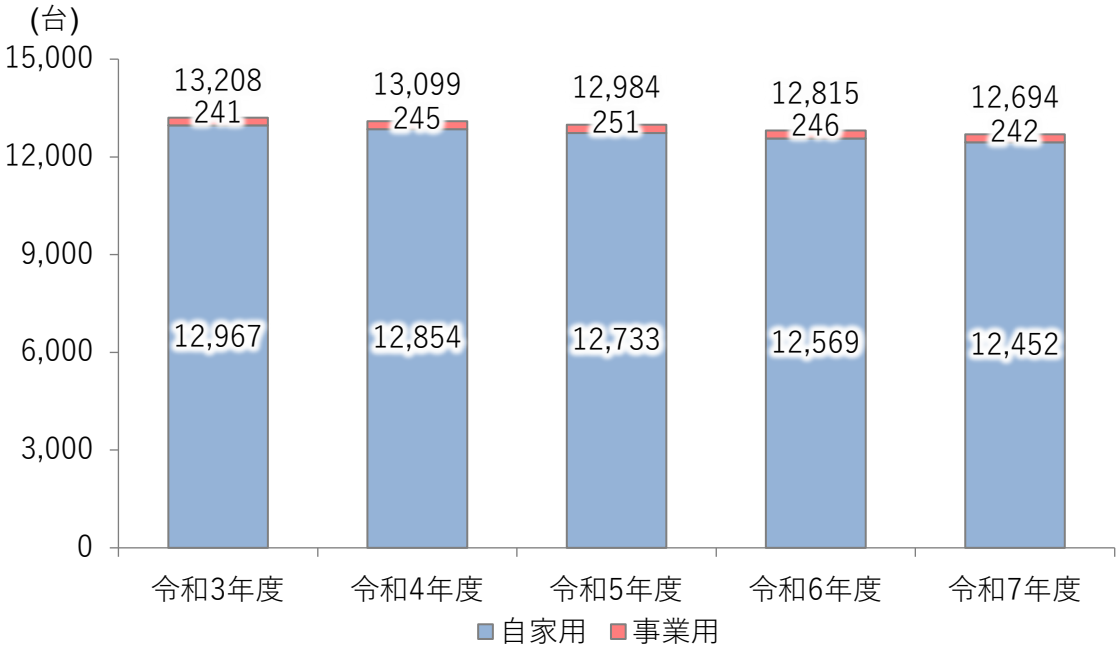
No.	名称
5-1	鴨川シーワールド
5-2	「道の駅」鴨川オーシャンパーク
5-3	大本山 小湊 誕生寺
5-4	鴨川市総合交流ターミナル「里のMUJIみんなみの里」
5-5	内浦山県民の森
5-6	鯛の浦遊覧船
5-7	太海フラワー磯釣りセンター
5-8	千光山清澄寺
5-9	魚見塚一戦場公園
5-10	仁右衛門島

資料：令和６年千葉観光入込調査報告書

2-1-5 自動車保有状況

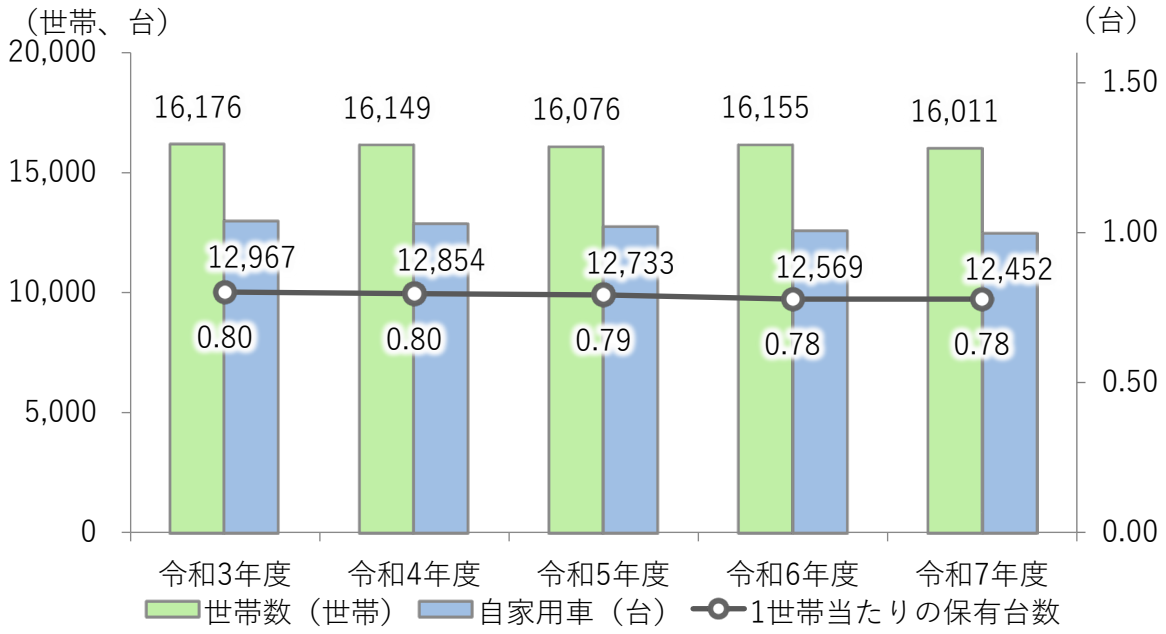
自家用車の保有台数は、令和７年３月末現在で約 12,700 台となっています。
１世帯当たりの自家用車保有台数は、令和７年３月末現在で 0.78 台となっています。

■自動車保有状況の推移



資料：関東運輸局統計情報（各年度末現在）

■１世帯当たりの自家用車保有台数の推移



資料：関東運輸局統計情報（各年度末現在）

2-1-6 高齢者の免許保有および事故件数

（1）高齢者の運転免許保有状況

データ収集中
（26.8 時点）

■（参考）千葉県の高齢者（65 歳以上）の免許保有状況の推移

データ収集中
（26.8 時点）

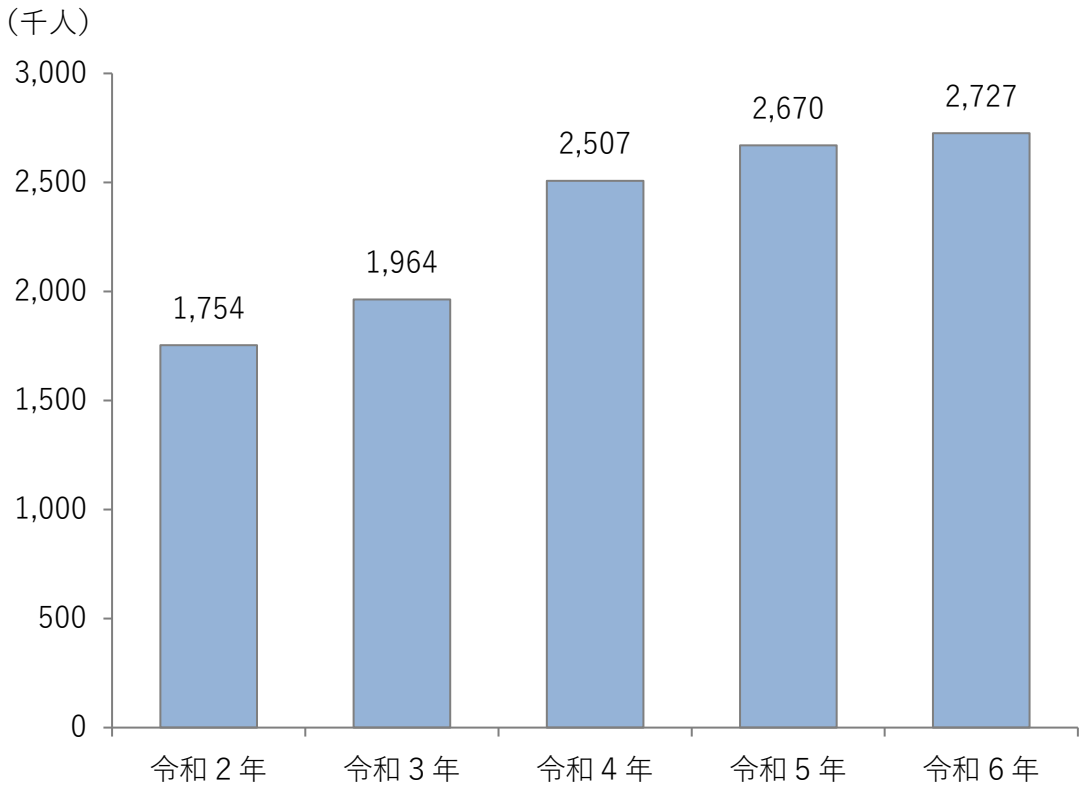
（2）高齢者の事故件数

データ収集中
（26.8 時点）

2-1-7 観光来訪者

観光入込客数は、令和２年から令和６年にかけて増加傾向にあり、令和６年時点では、約272万人となっています。

■観光入込客数の推移

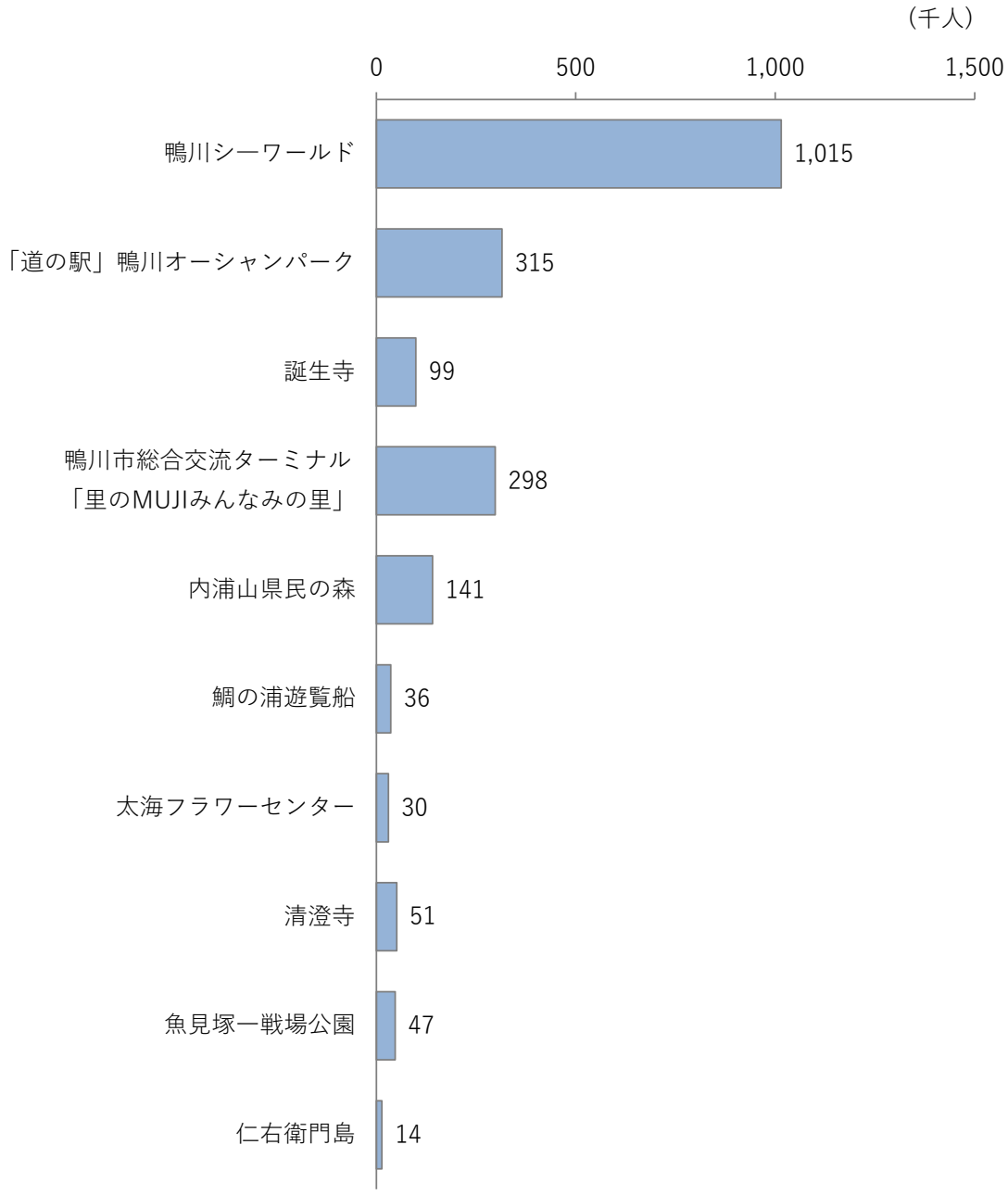


資料：千葉県観光入込調査報告書

■施設別観光入込客数

令和６年の施設別観光入込客数を見ると、「鴨川シーワールド（約 101.5 万人）」「「道の駅」鴨川オーシャンパーク（約 31.5 万人）」が特に多くなっています。

その他、「鴨川市総合交流ターミナル「里の MUJI みんなみの里」」「内浦山県民の森」「誕生寺」にも一定程度の来場が見られます。



資料：鴨川市統計書（令和７年版）

2-2 地域公共交通の現状

2-2-1 地域公共交通ネットワーク

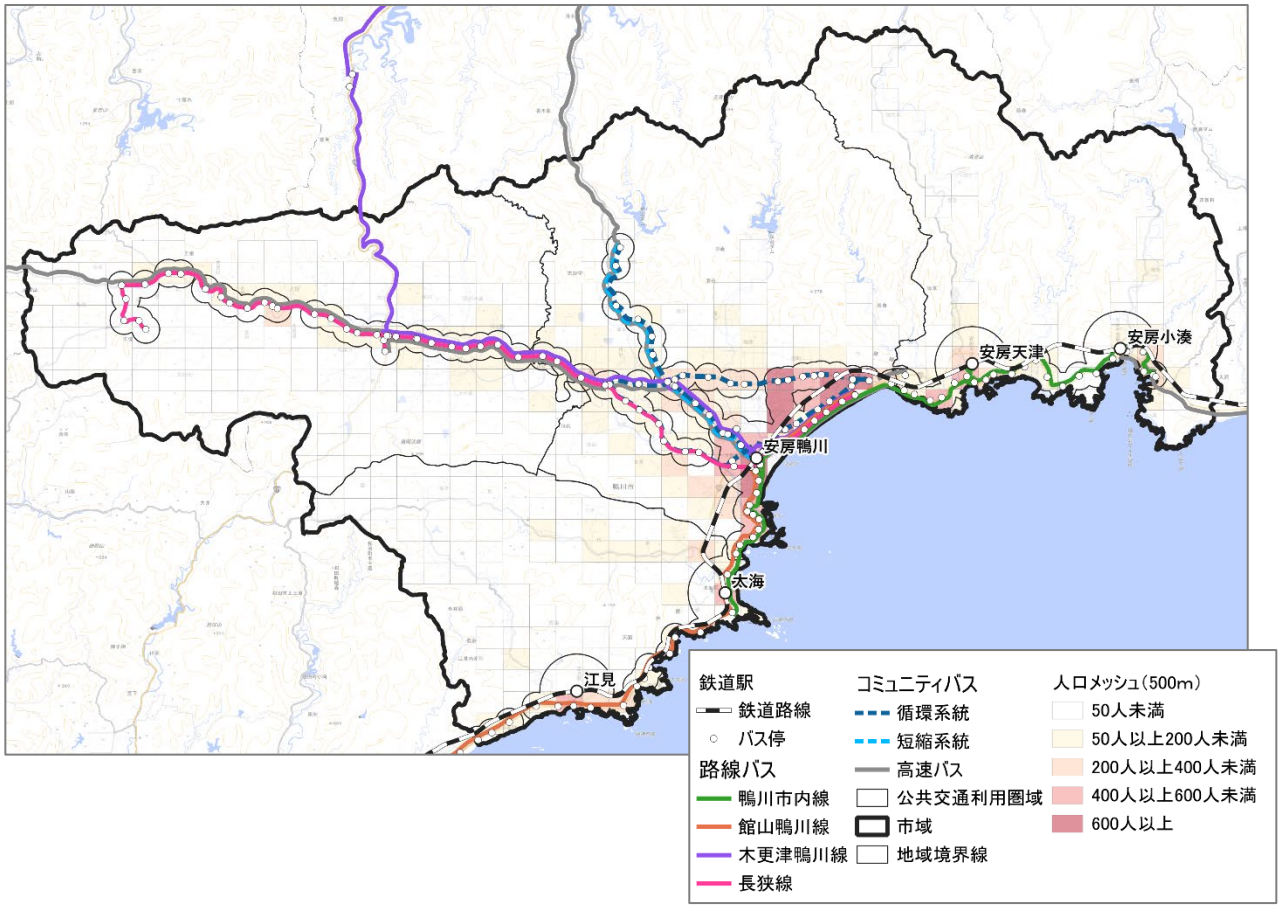
本市の公共交通は、JR 外房線と内房線の結節点でもある安房鴨川駅を中心として放射状に形成されており、広域の地域間の移動を担う公共交通としては、JR 外房線と内房線が海岸沿いを国道 128 号とほぼ並行して運行しているほか、東京都及び千葉市方面へのアクセス手段である高速バスが運行しています。

周辺市町との地域間移動を担う公共交通としては、路線バスでは鴨川市内を運行する路線の他に木更津市や館山市など周辺市町を接続する形で計４路線が運行しており、コミュニティバスでは２路線が鴨川地域を循環する形で運行しています。

また、市内ではタクシー事業者が２社運行しているほか、デマンド型送迎サービスの「チョイソコかもがわ」が長狭地域・江見地域・天津小湊地域の住民を対象として、令和７年４月から本格運行を開始しています。

鉄道及びバス交通が利用可能な人口は約 19,300 人であり、全人口の約 63.1%となっています。（総務省統計局の令和２年国勢調査地域メッシュデータを利用して、鉄道・バス交通のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域を鉄道については駅から徒歩 800m以内、バスについては停留所から徒歩 300m 以内としました。）

■鴨川市内の地域公共交通網



■鴨川市内の地域公共交通の運行状況

交通モード		実施主体	運行エリア	運行本数 （平日上下便数）
鉄道	JR 外房線	JR 東日本	路線区間； 千葉駅～安房鴨川駅 特急「わかしお」： 東京駅～安房鴨川駅 普通列車： 千葉駅～安房鴨川駅	特急わかしお：上り６本、下り５本 普通列車：上り 19 本、下り 21 本
	JR 内房線	JR 東日本	千葉駅～安房鴨川駅	上り 16 本 下り 17 本
路線バス	鴨川市内線	日東交通	仁右衛門島入口～ 安房鴨川駅～誕生寺入口	上下各 12 本
	木更津鴨川線		イオンモール木更津～ 安房鴨川駅～亀田病院	上下各５本
	館山鴨川線		館山駅～ 安房鴨川駅～亀田病院	上下各６本
	長狭線		平塚本郷～ 安房鴨川駅～亀田病院	上下各８本
コミュニティバス	循環系統	日東交通	金山ダム～福祉センター～鴨川駅西口	６便
	短縮系統			３便
高速バス	鴨川東京線	日東交通・ 京成バス千葉セントラル	東京タワー～パークウェルステイト鴨川	上下各 20 本
	鴨川千葉線	日東交通・ 京成バス千葉イースト	亀田病院～JR 千葉駅	上下各９本
	勝浦東京線	日東交通・ 京成バス千葉セントラル・ 小湊鉄道	バスターミナル東京八重洲～安房小湊駅	上下各６本
チョイソコかもがわ	デマンド型 送迎サービス	千葉トヨタ自動車	長狭地域～鴨川地域 （田原地区・西条地区・東条地区・鴨川地区） 江見地域～鴨川地域 天津小湊地域～鴨川地域	週４日
タクシー	鴨川タクシー・きょうほタクシー			
その他	移動販売車サービス（千葉薬品ヤックス移動販売スーパーらくちん便、セブンイレブン大里店のセブンイレブン安心お届け便、イオン鴨川店移動販売）			

2-2-2 鉄道

（1）運行概要

JR 外房線・内房線が、海岸を沿って運行しており、安房鴨川駅は市内交通との結節点として重要な位置にあります。また、市内には安房小湊駅、安房天津駅、太海駅、江見駅が設置されており、地域住民の通勤・通学や観光客の移動を支える交通手段となっています。

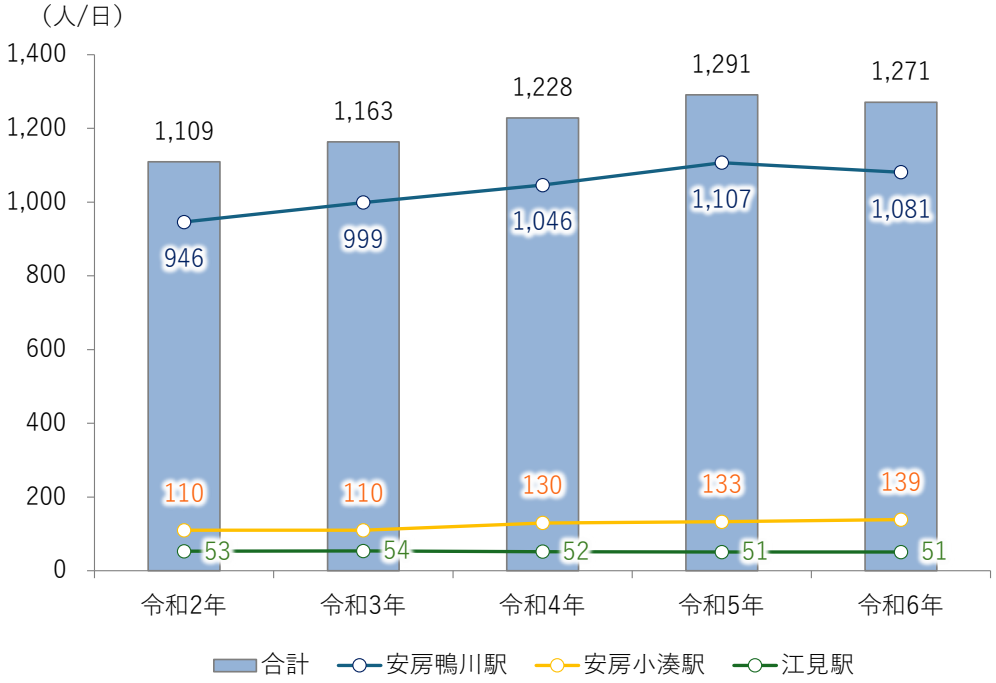
県内外への広域交通として、安房鴨川駅からは JR 外房線特急「わかしお」が運行されており、千葉市や東京方面へのアクセスを担っています。

市内の鉄道駅では、安房天津駅および安房小湊駅、太海駅は無人駅となっており、地域交通の維持・確保が課題となっています。

（2）利用状況

令和６年度の市内の駅の１日平均乗車人員は、1,271 人となっています。中でも「安房鴨川駅」が最も多く 1,081 人、「安房小湊駅」が 139 人と続いています。

■１日平均乗車人員



※安房天津駅・太海駅はデータなし

資料：東日本旅客鉄道（株）

2-2-3 路線バス

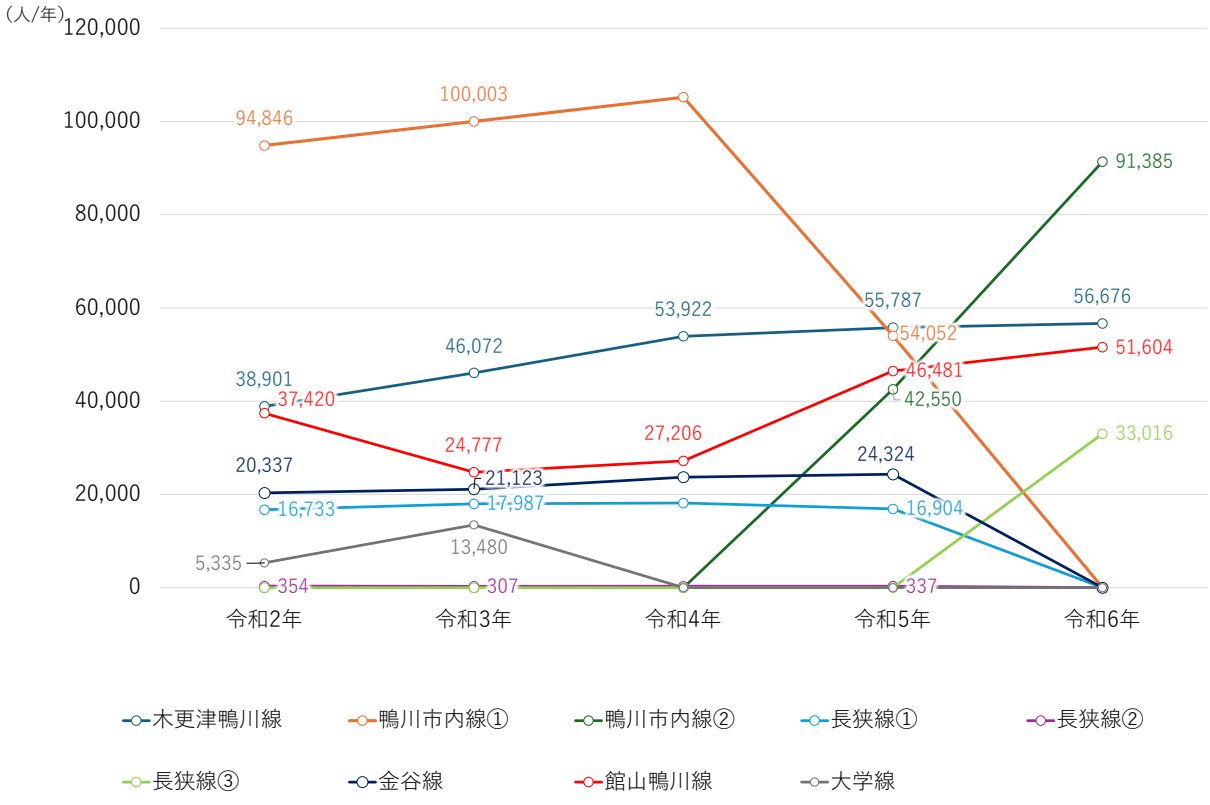
（1）運行概要

路線バスは、周辺市町との地域間移動を担う公共交通として、４路線（鴨川市内線・木更津鴨川線・館山鴨川線・長狭線）が、周辺市町へ接続しています。

（2）利用状況

年度別輸送人員を見ると、木更津鴨川線および館山鴨川線は増加傾向にあり、特に館山鴨川線は令和４年度と比較して約 24,000 人増加しています。また、金谷線は令和５年度まで微増したものの令和５年度に廃止され長狭線に振り替えられました。大学線は現在運行を休止しています。

■路線別・年度別輸送人員



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
木更津鴨川線	38,901	46,072	53,922	55,787	56,676
鴨川市内線①（仁右衛門島入口～誕生寺入口）	94,846	100,003	105,216	54,052	-
鴨川市内線②（仁右衛門島入口～誕生寺入口、鴨川駅～誕生寺入口）	-	-	-	42,550	91,385
長狭線①（亀田病院～平塚本郷）	16,733	17,987	18,157	16,904	-
長狭線②（鴨川駅～平塚本郷）	354	307	317	337	-
長狭線③（鴨川駅～平塚本郷）	-	-	-	-	33,016
金谷線	20,337	21,123	23,719	24,324	-
館山鴨川線	37,420	24,777	27,206	46,481	51,604
大学線	5,335	13,480	-	-	-

資料:鴨川市統計書

2-2-4 高速バス

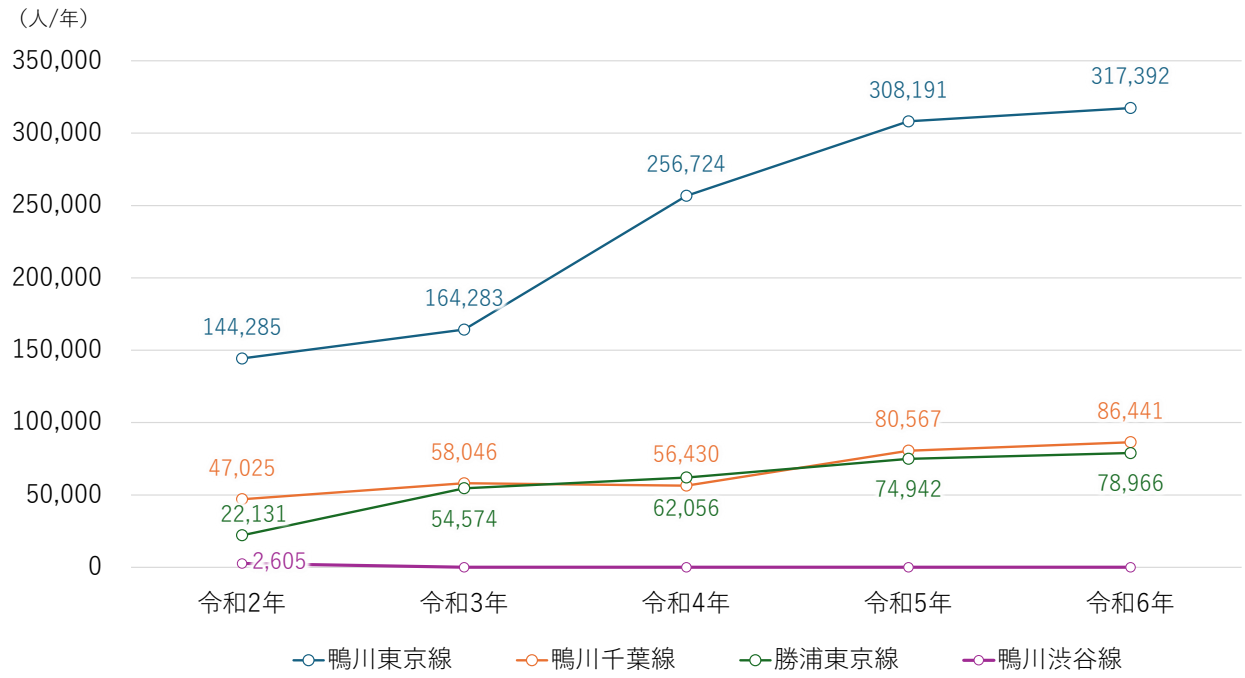
（1）運行概要

高速バスは、首都圏及び近隣都市との広域的な移動を担う公共交通として、４路線（鴨川東京線・鴨川千葉線・勝浦東京線・鴨川渋谷線）が運行されており、東京都心部や千葉市方面への交通手段を確保しています。

（2）利用状況

年度別輸送人員を見ると、高速バス路線は鴨川渋谷線を除き、令和２年度から令和６年度にかけて利用者数が増加しています。特に鴨川東京線は約 170,000 人増加しており、最も多くの利用者数を維持しています。また、鴨川千葉線は約 39,000 人、勝浦東京線は約 57,000 人増加するなど、各路線とも利用が回復・拡大しています。

■路線別・年度別輸送人員



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
鴨川東京線	144,285	164,283	256,724	308,191	317,392
鴨川千葉線	47,025	58,046	56,430	80,567	86,441
勝浦東京線	22,131	54,574	62,056	74,942	78,966
鴨川渋谷線	2,605	-	-	-	-

資料:鴨川市統計書

2-2-5 コミュニティバス

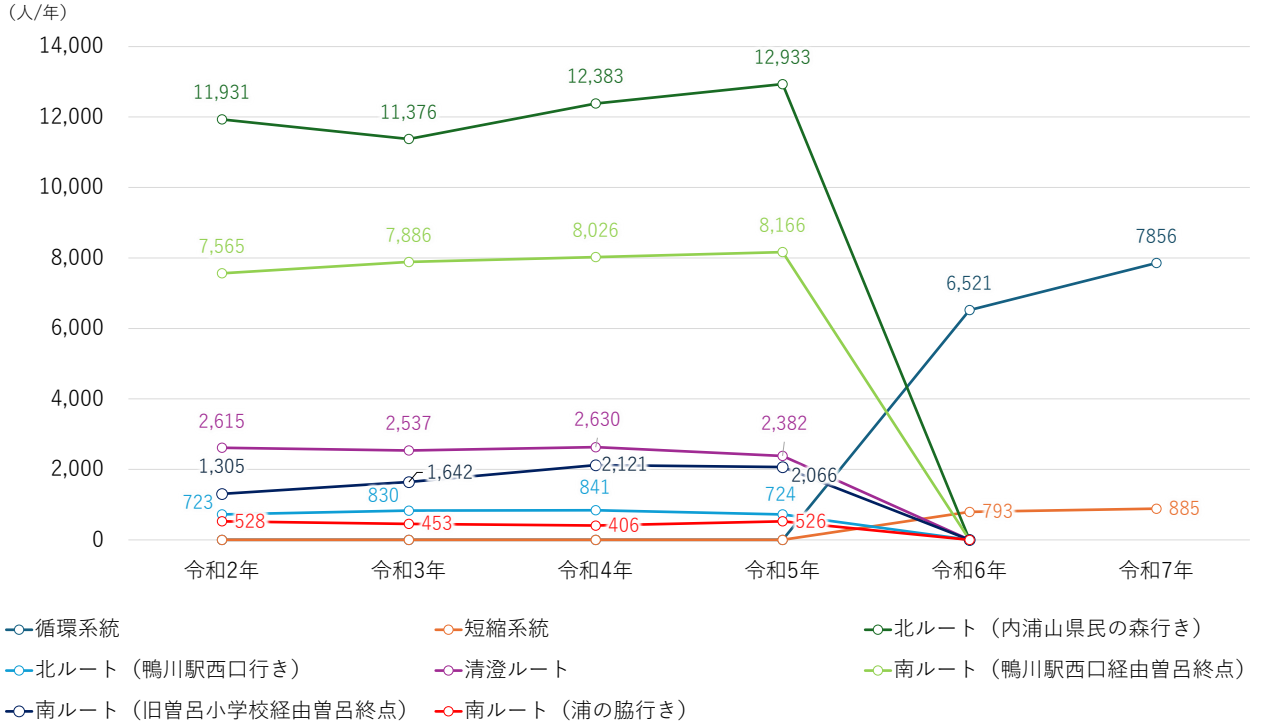
（1）運行概要

コミュニティバスは、令和６年４月１日より一部区間を循環線に再編し、それ以外の区間は廃止となりました。現在は「循環系統」と「短縮系統」の２路線で運行しており、市役所や鴨川駅西口、医療機関、公民館など市内の主要施設を結び、市民の移動手段として利用されています。

（2）利用状況

令和６年度は路線再編に伴い、循環系統の利用者数は約 6,500 人、短縮系統は約 790 人となりました。従来の複数路線を集約したことで運行形態が大きく変更されましたが、引き続き市民の身近な移動手段として利用されています。

■路線別・年度別利用者数



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
循環系統	-	-	-	-	6,521	7,856
短縮系統	-	-	-	-	793	885
北ルート（内浦山県民の森行き）	11,931	11,376	12,383	12,933	-	-
北ルート（鴨川駅西口行き）	723	830	841	724	-	-
清澄ルート	2,615	2,537	2,630	2,382	-	-
南ルート（鴨川駅西口経由曽呂終点）	7,565	7,886	8,026	8,166	-	-
南ルート（旧曽呂小学校経由曽呂終点）	1,305	1,642	2,121	2,066	-	-
南ルート（浦の脇行き）	528	453	406	526	-	-

資料：鴨川市統計書

2-2-6 デマンド交通

（1）運行概要

定時定路線型で運行する既存の公共交通で対応できない区域における移動手段の確保を目的として、長狭・江見・天津小湊の各地域にて週４日間の運行が行われています。

令和３年４月より、長狭地域で実証運行を開始し、令和６年４月より、長狭地域に加え、江見地域、天津小湊地域にエリアを拡大して実証運行を継続しています。令和７年４月より、本格運行に移行しています。

■鴨川市内デマンドタクシーの運行サービス

路線名	運行エリア	運行形態	共通乗降場所数	運賃	運行時間帯
チョイソコかもがわ	・長狭地域～鴨川地域 ・江見地域～鴨川地域 ・天津小湊地域～鴨川地域 ※鴨川地域の共通乗降場所間の移動はできない	デマンド型送迎サービス	91 か所	各地域内300 円 各地域～鴨川地域700 円	8：00～16：00

〇運行事業者：鴨川タクシー　〇使用車両：ハイエース２台（乗客定員：８人）

（2）利用状況

長狭地域は令和７年度は令和６年度比べて利用者が減少しており、１日あたり 10 人前後で推移しています。江見地域は令和７年度は令和６年度比べて利用者が減少しており、１日あたり７人弱で推移しています。天津小湊地域は令和７年度は令和６年度比べて利用者が増加傾向にあり、１日あたり 10 人弱で推移しています。

表　年度ごとの利用者実績　　単位：人

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
長狭地域	1,075	2,456	3,003	2,235	1,976
江見地域	-	-	-	1,199	1,371
天津小湊地域	-	-	-	1,463	1,671

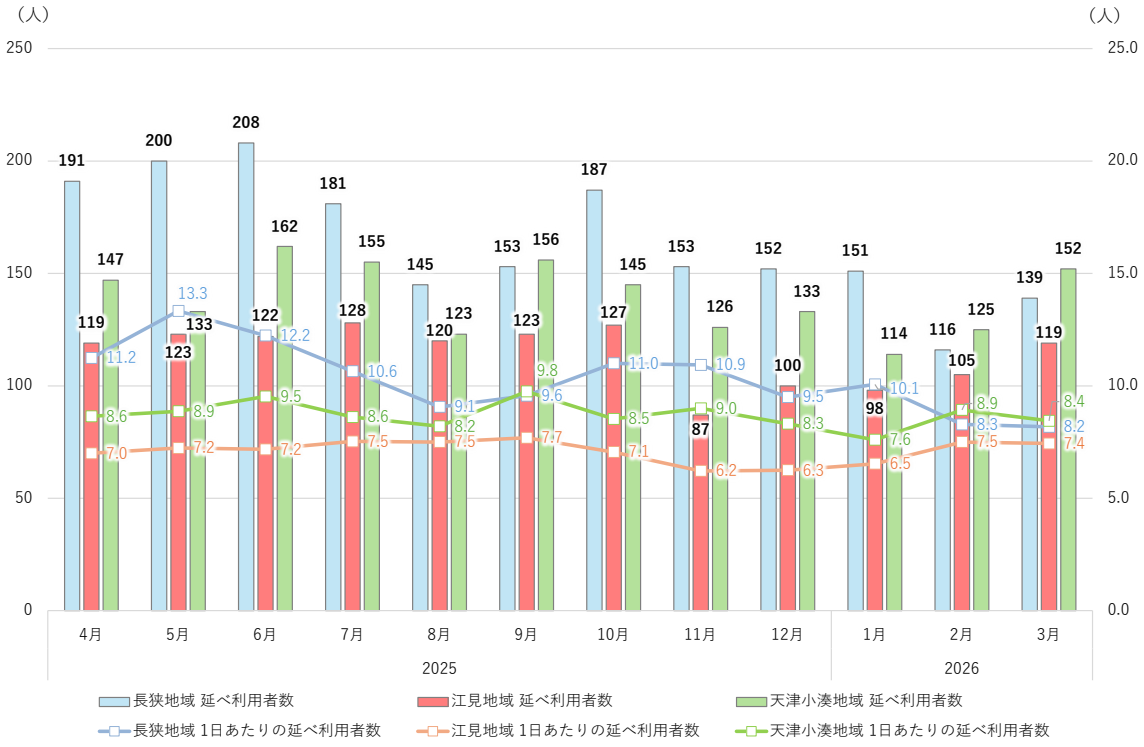


図　利用実績（令和７年度）
【週４日運行】

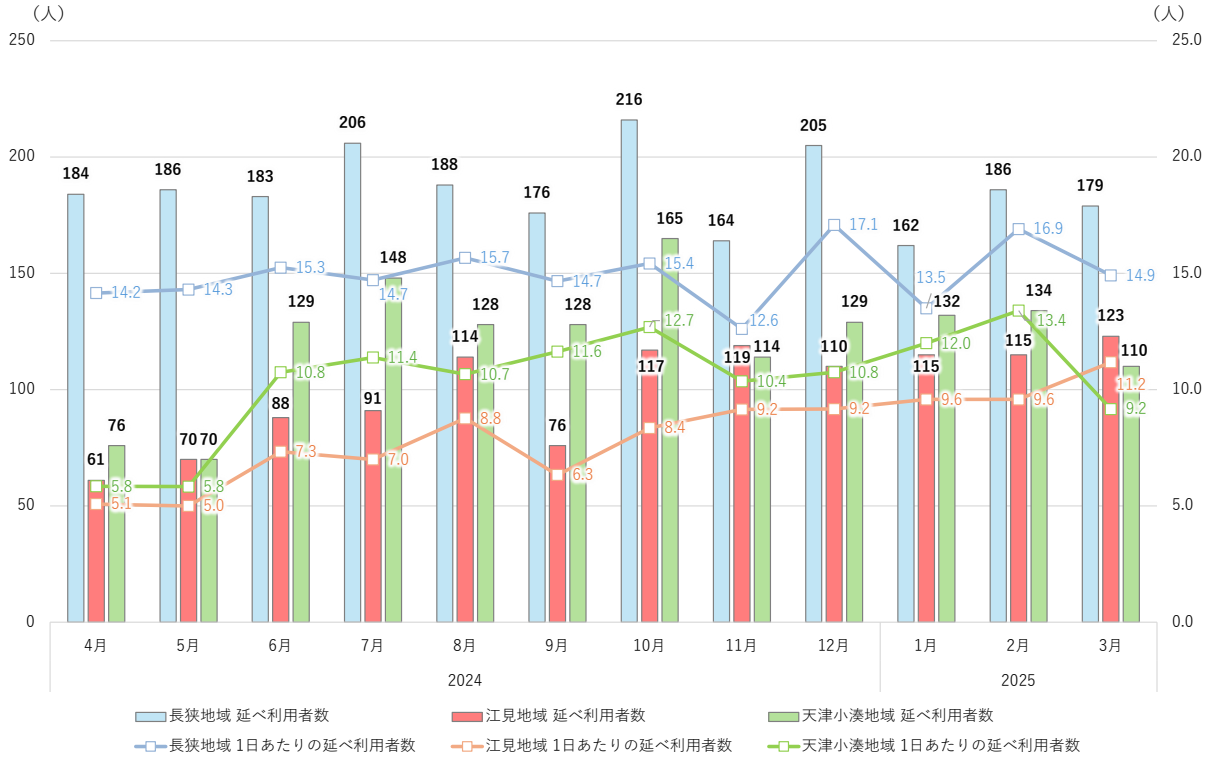


図　利用実績（令和６年度）
【週３日運行】

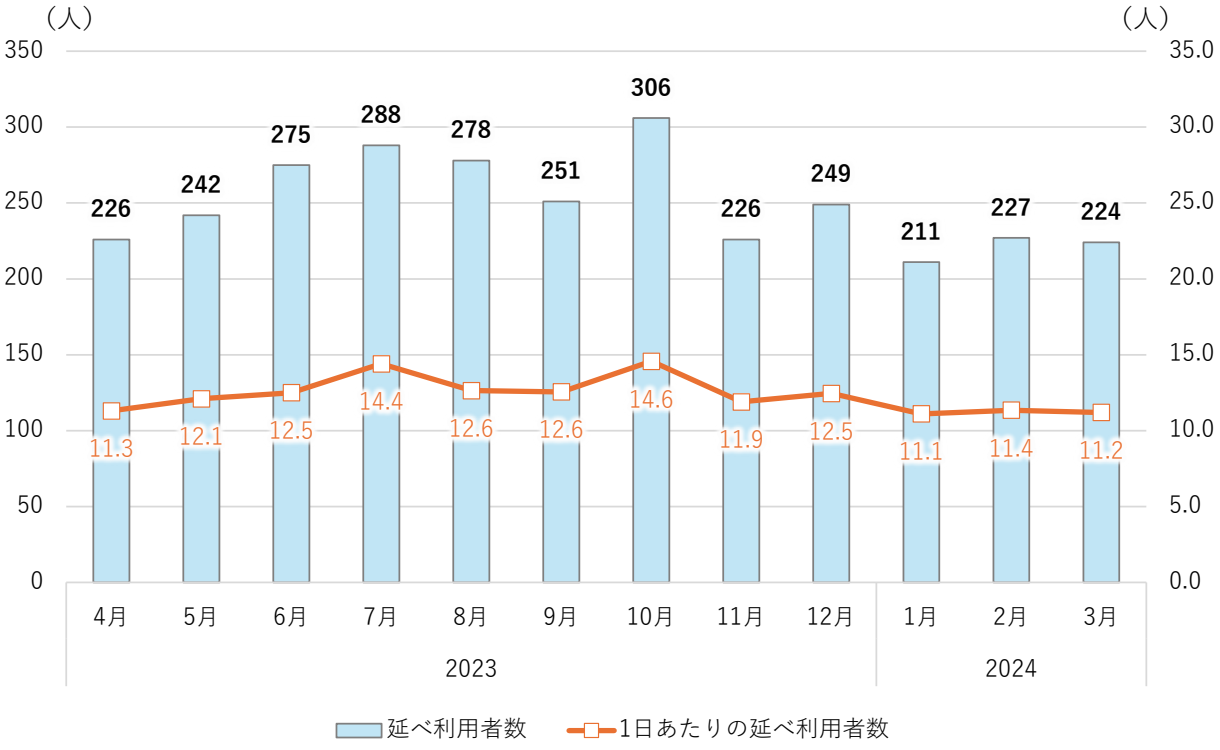


図　利用実績（令和５年度）
【週５日運行】

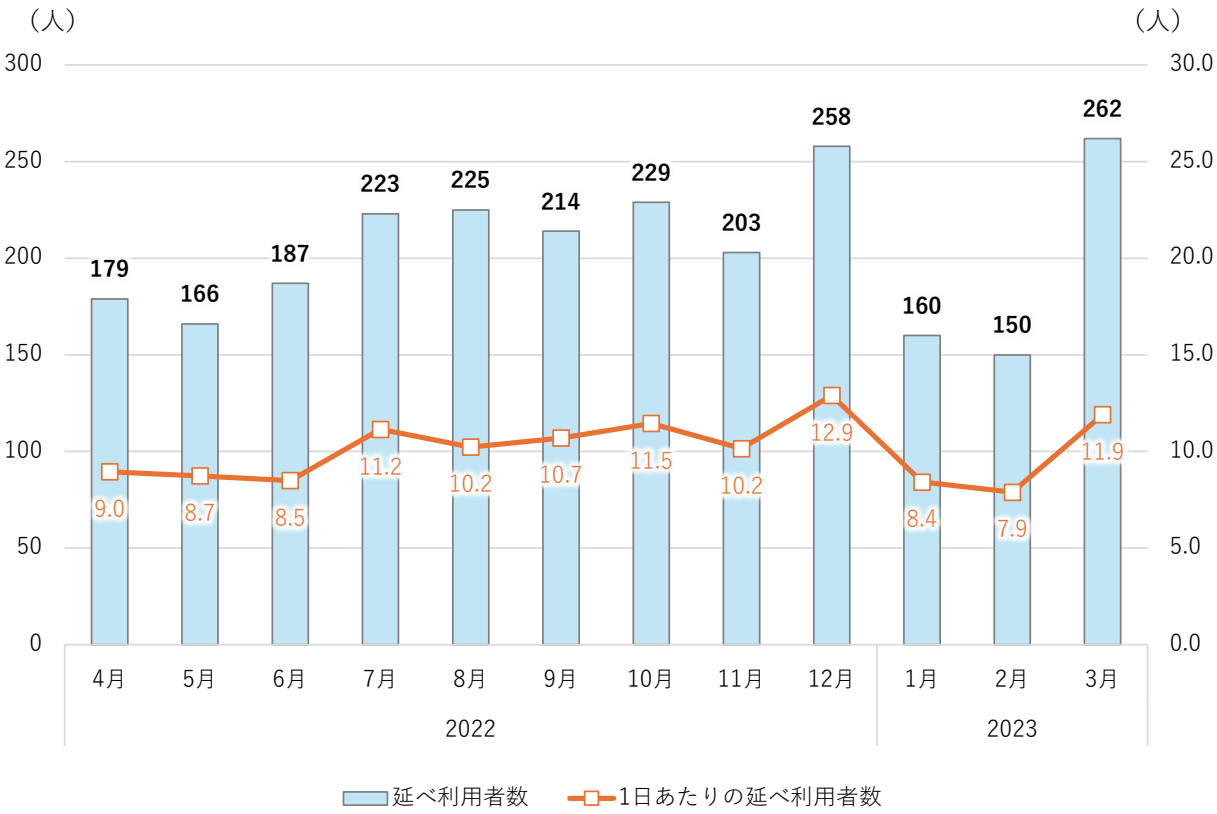


図　利用実績（令和４年度）
【週５日運行】

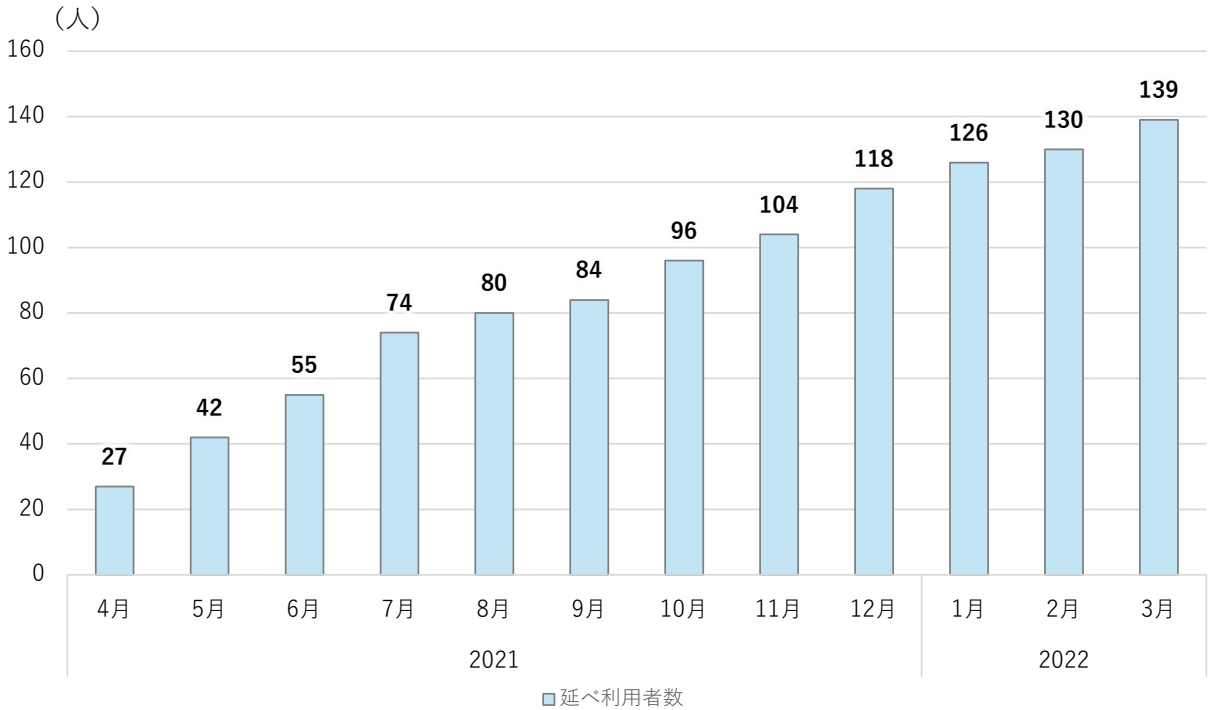
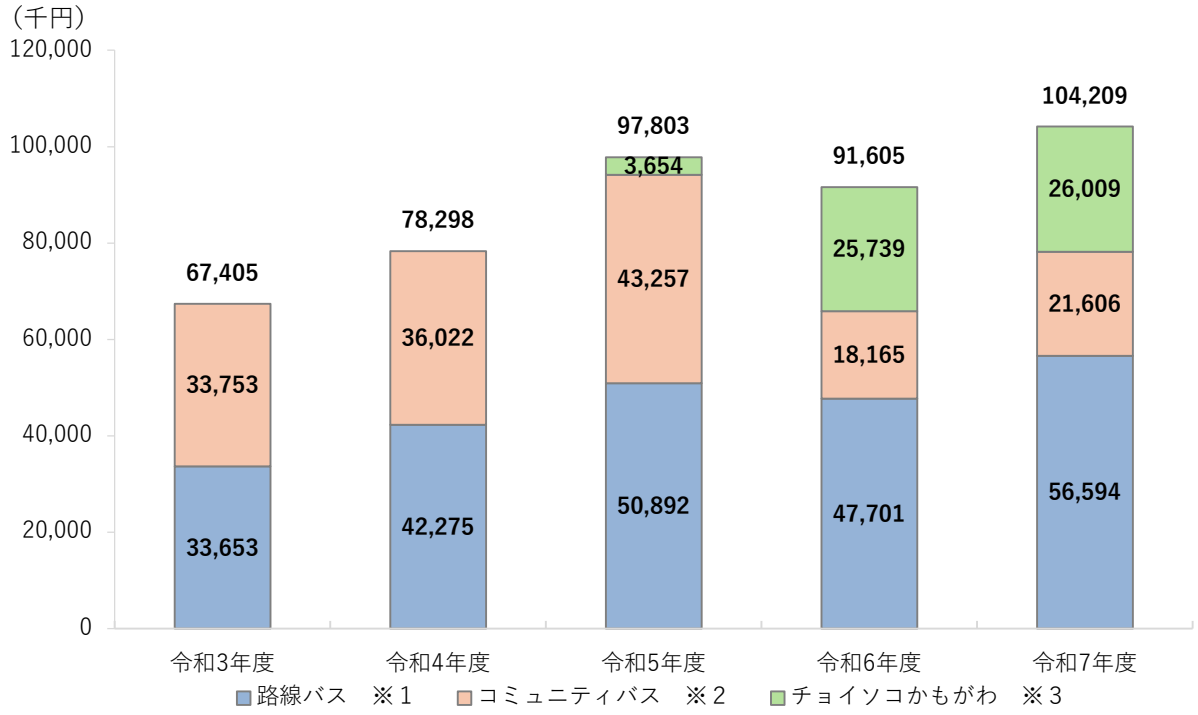


図　利用実績（令和３年度）
【週５日運行】

2-2-7 収支状況

公共交通の維持に係る市負担額の推移を見ると、市の負担額は令和７年度で約 104,000 千円となっており、５年前の令和３年度の約 67,000 千円から約 37,000 千円増加しており、約 1.5 倍となっています。

■公共交通の維持に係る市負担額の推移



資料：鴨川市提供資料

※１　路線バスの維持に係る市補助金の額
※２　コミュニティバスの運行に係る市負担額
※３　チョイソコかもがわの維持に係る市の補助金の額

2-3 各種調査結果の概要

2-3-1 市民アンケート調査

実施後に記載
（26.8 時点）

2-3-2 関係者ヒアリング調査

実施後に記載
（26.8 時点）

2-4 上位・関連計画において公共交通に求められる役割

本市の公共交通に関わる上位計画・関連計画の位置付け、施策・プロジェクトを整理し、政策連携を検討する上での基礎資料としました。参照した上位・関連計画は次のとおりとなります。

表　公共交通に関連する上位・関連計画一覧

計画の名称	策定年度
第３次鴨川市総合計画 「第３次鴨川市基本構想」「鴨川市第５次５か年計画」	令和８年３月
第３次鴨川市総合計画 「第３期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	令和８年３月
鴨川市都市計画マスタープラン	平成 28 年３月
鴨川市過疎地域持続的発展計画	令和８年３月
鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第９期）	令和６年３月
第４次鴨川市健康福祉推進計画	令和８年３月
鴨川市障害者（児）福祉総合計画	令和６年３月
鴨川市教育振興計画（第４期令和 8～12 年度）	令和８年３月
第２次鴨川市環境基本計画	平成 29 年３月

2-4-1 第３次鴨川市総合計画「第３次鴨川市基本構想」「鴨川市第５次５か年計画」

計画概要	想定を上回る人口減少・少子高齢化の加速に加え、気候変動に伴う豪雨災害の頻発・激甚化、地域の担い手不足、近年のデジタル技術の急速な発展など、大きな転機の時期を迎えています。このような厳しい状況だからこそ、本市の地域特性や地域資源を最大限に活用し、市民との協働と、産・官・学・金・労・言・士の連携を基調としたまちづくりの指針として策定しました。
計画期間	【第３次鴨川市基本構想】 令和８(2026)年度～令和 17(2035)年度の 10 年間 【鴨川市第５次５か年計画】 令和８(2026)年度～令和 12(2030)年度の５年間
目指す将来像	健康と観光の融合都市-自然と共に生きるウェルネスシティ鴨川-
基本目標	①　地域の特色を活かした賑わいと活力あるまち ②　魅力あふれる住みやすいまち ③　自然と共生する安心・安全なまち ④　夢と学びのまち ⑤　健やかに暮らせる福祉のまち ⑥　健全で効率的な行財政運営を実現するまち
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**基本方針２　魅力あふれる住みやすいまち** **（1）利便性の高い地域交通網体系の整備** ・地域公共交通計画に基づき、民間事業者や沿線自治体と連携し、地域公共交通網の維持確保と利便性向上を図ります。

2-4-2 第３次鴨川市総合計画「第３期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

<table>
<tr><td>計画概要</td><td>まち・ひと・しごと創生法第 10 条の規定に基づき、国及び千葉県が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等を策定する。
総合戦略の策定により、市民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進する。</td></tr>
<tr><td>計画期間</td><td>令和８(2026)年度～令和 12(2030)年度の５年間</td></tr>
<tr><td>目指す将来像</td><td>健康と観光の融合都市
-自然と共に生きるウェルネスシティ鴨川-</td></tr>
<tr><td>基本目標</td><td>① 安心して暮らせる生活環境の創生
② 付加価値創出型の新しい地域経済の創生
③ 人や企業の集積と産学官の多用なネットワークの形成
④ 新時代のインフラ整備とＡＩ・デジタルなどの新技術の徹底活用
⑤ 広域リージョン連携</td></tr>
<tr><td>公共交通に関する取組み
（鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）</td><td>基本方針１　安心して暮らせる生活環境の創生
住んでいる地域での暮らしの満足度
・人口が減少するなかでも人々の暮らしを取り巻く環境の変化に対応しつつ、豊かに暮らすための生活基盤を適切に整備・維持するとともに、市民活動の促進及び事業者・行政の連携と協働により地域防災力を強化し、安心・安全かつ持続可能な社会の実現を目指します。

■重要業績評価指標（KPI）（一部抜粋）
<table>
<tr><th>指標名</th><th>基準値
（基準年次）</th><th>目標値
（令和12年度）</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>「鉄道の利用しやすさ」に不満を持つ市民の割合</td><td>67.4%
（令和６年度）</td><td>改善</td><td></td></tr>
<tr><td>「路線バスの利用しやすさ」に不満を持つ市民の割合</td><td>71.0%
（令和６年度）</td><td>改善</td><td></td></tr>
<tr><td>「高速バスの利用しやすさ」に不満を持つ市民の割合</td><td>40.0%
（令和６年度）</td><td>改善</td><td></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

2-4-3 鴨川市都市計画マスタープラン

計画概要	市町合併という基本的枠組みの変更を踏まえた都市計画区域の再編をはじめ、人口減少・少子高齢化の進展、秩序ある土地利用誘導による産業・市街地の活性化、都市施設等の効果的・効率的な整備、協働のまちづくりによる持続可能な都市づくりなど、社会経済情勢の変化や本市が抱える都市的課題に対応した、鴨川市都市計画マスタープランの改定を実施しました。
計画期間	平成 28(2016)年度～令和 17(2035)年度の 20 年間
将来都市像	地域が輝く拠点連携型の環境共生都市・鴨川 ～鴨川版コンパクトシティの創出～ （地域の将来像） 都市機能が集まる中心拠点　賑わいと癒しが調和したまち 鴨川
まちづくり方針	①　都市拠点にふさわしい賑わいのあるまちづくり ②　充実した医療・福祉環境を活かした人にやさしいまちづくり ③　スポーツを通じた交流のまちづくり ④　自然環境と調和したまちづくり
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**具現化方策１　将来都市像の実現に向けた施策展開の方向性** **（３）計画的な道路整備の展開** 鴨川版コンパクトシティの形成に向けては、地域や拠点間をつなぐ道路ネットワークの充実によって“移動に係る時間の短縮”を実現していくことが求められます。 そのため、本計画で掲げた交通体系に関する基本方針を踏まえ、関係機関との調整を図りながら、道路整備に向けた計画の具体化及び事業化を促進し、計画的な道路網の形成を進めます。

2-4-4 鴨川市過疎地域持続的発展計画

計画概要	「過疎地域自立促進特別措置法（平成 12 年法律第 15 号）」が令和３年３月末に失効し、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和３年法律第 19 号）」が制定され、令和３年４月１日から施行されました。本市においては、旧天津小湊町の区域が引き続き過疎地域とみなされることから、過疎地域の自立に向けた持続的発展を実現するため、鴨川市過疎地域持続的発展計画を策定しました。
計画期間	令和８(2026)年度～令和 12(2030)年度の５年間
将来展望	人口が減少していくことを前提に、その減少幅を抑制していくことを目指す。
持続的発展施策区分	①　移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 ②　産業の振興 ③　地域における情報化 ④　交通施設の整備、交通手段の確保 ⑤　生活環境の整備 ⑥　子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進 ⑦　医療の確保 ⑧　教育の振興 ⑨　集落の整備 ⑩　地域文化の振興等 ⑪　再生可能エネルギーの利用の推進 ⑫　その他地域の持続的発展に関し必要な事項
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**持続的発展施策区分４　交通施設の整備、交通手段の確保** **イ 公共交通網の充実** **（ア）鉄道** 本市の鉄道は、海岸沿いを一般国道 128 号とほぼ並行してＪＲ外房線・内房線が運行され、市内には５つの駅が設置されている。このうち旧天津小湊町の区域では、外房線の安房小湊駅及び安房天津駅が設置されているが、運行本数は少なく、さらに利用者数の低迷により特急列車の減便、運行区間の短縮、ワンマン運行への切替えがなされるなど、市民のみならず、観光客にとっても利便性に乏しい路線となっている。 このため、沿線自治体や関係団体との連携の下、運行本数の増加を始めとするダイヤ改正や施設整備等に関する要望活動を行い、鉄道の利便性の向上を図る必要がある。 **（イ）バス路線** 本市のバス路線は、民間路線バスとコミュニティバスのほか、東京駅や千葉駅などと安房鴨川駅や安房小湊駅の周辺を結ぶ高速バス、近隣市町との間を結ぶ急行・幹線バスが運行されており、市

	民の身近な足として、また観光客や市民の広域的な移動手段として大きな役割を果たしている。 　旧天津小湊町の区域においても、民間路線バス（市内線）及び高速バス（勝浦東京線）が運行されている。地域に欠かせない生活交通である民間路線バスについては、赤字額の拡大により、市の財政負担なしでは路線を維持できない状況となっており、また、コミュニティバスについても、輸送人員、収支率ともに減少傾向にあったことから、令和６年４月に北ルート及び清澄ルートを含む３ルートを再編し、旧鴨川市内を運行する循環線の運行に変更した。 　このようなことから、引き続き、利用者の利便性向上を図り、利用の促進に取り組むとともに、地域公共交通網の最適化を継続的に検討し、その維持確保に努める必要がある。 **（ウ）予約制乗合タクシー** 　予約制乗合タクシー「チョイソコかもがわ」は、地域公共交通計画に基づき、路線バスやコミュニティバスの既存路線の減便・統合等による効率化や、新たな公共交通システムの導入検討など、持続可能かつ有効な公共交通網への再編の一環として事業主体の支援に取り組んでいる。 　令和６年４月からは、従前の長狭地域に加え、江見地域、天津小湊地域に運行エリアを拡大し、実証運行を継続した。その結果及び利用者の意見等を踏まえ、令和７年度からは、本格運行に移行している。

2-4-5 鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第９期）

計画概要	高齢者の中でも特に後期高齢者や単身高齢者、また高齢夫婦のみの世帯の増加が見込まれ、老老介護や孤独死などの増加が懸念されます。こうした状況に対応するため、引き続き地域包括ケアシステムの深化・推進を図るにあたり、本市の高齢者保健福祉事業や介護保険事業に係る基本的事項を定めるとともに、適切な介護サービスおよび地域支援事業等の提供体制を整備するために策定しました。
計画期間	令和６(2024)年度～令和８(2026)年度の３年間
目指す将来像	一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち ～輝く「元気」のまち～
基本目標	①　いつも元気・健康でいられるまち ②　ふれあい、ささえあいのある生活しやすいまち ③　いつまでも安心して暮らせるまち
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**基本方針２　ふれあい、ささえあいのある生活しやすいまち** **２ 安全で快適な生活の確保** **（１）移動・交通対策の充実** **①公共交通機関の充実** 自動車運転免許証の返納後も円滑な日常生活を確保できるよう、買い物や通院などの日常生活に欠かすことのできない移動手段として、市コミュニティバスを運行するほか、民間の路線バスの運行を支援します。さらに、「鴨川市地域公共交通計画」の評価・推進に取り組み、既存の公共交通の再編や見直し、予約制タクシーの実証運行をはじめとした新たな公共交通システムの導入の検討などを行います。

2-4-6 第４期鴨川市健康福祉推進計画

計画概要	本計画は、本市の最上位計画である第３次鴨川市総合計画の健康福祉分野の目標「一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち」を実現していくための計画です。市民誰もがいつまでも健康で、安心して自立した生活を送ることができる地域づくりを目的に、第３期健康福祉推進計画の成果や近年の社会情勢の変容、そして新たな地域課題等を踏まえ、本市の健康福祉の目指すべき姿を明らかにし、この目標像の実現に向けた健康福祉の一体的な推進を図るための指針として、取り組みの方向性や施策の体系、施策・事業を定めるものです。
計画期間	令和８(2026)年度～令和 12(2030)年度の５年間
目指す将来像	みんなで取り組もう　一人ひとりが輝く「元気」のまち　鴨川
施策の方向	**Ⅰ健康増進計画** ①　ライフステージに応じた健康づくり ②　生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 ③　栄養・食生活による健康増進（食育推進計画） ④　身体活動・運動による健康増進 ⑤　休養・こころの健康づくり（自殺対策計画） ⑥　喫煙・飲酒対策の充実 ⑦　歯と口腔の健康づくり ⑧　地域連携・協働による健康をささえる基盤づくり **Ⅱ地域福祉計画・地域福祉活動計画** ①　ふれあい、ささえあいのある地域づくり ②　地域を支える包括的な仕組みづくり ③　安心して生活できる環境づくり ④　災害時の非常事態に備える体制づくり ⑤　権利と利益を守る体制づくり（成年後見制度利用促進基本計画） ⑥　再犯を防止し、地域で支える体制づくり（再犯防止推進計画）
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**Ⅱ地域福祉計画・地域福祉活動計画** **施策の方向３　安心して生活できる環境づくり** **施策 3-5　移動がしやすくなる** **＜市や新たな公共の担い手＞** ・重度障害者（児）が利用した福祉タクシー料金について一部助成を行います。 ・市民の交通手段の維持確保・利便性の向上を図るため、コミュニティバスを運行するほか、民間路線バスや予約制乗合タクシーの維持確保のため、運行に係る経費の補助を行います。 ・公共交通のサービス水準が向上し、市民がより利用しやすくなるよう、公共交通事業者への要望活動等を行います。

	・持続可能かつ有効な公共交通網への再編を図るため、地域公共交通計画の策定・評価・推進に取り組み、公共交通の利用促進、既存の公共交通の再編や見直し、新たな公共交通システムの導入の検討などを行います。 ・通院等が困難な方に対し、福祉移送サービスや介護タクシーを運行することで 外出支援につなげます。 ・行政、ＮＰＯ、民間事業所、住民が連携し、買い物や移動の困難を抱える地区における実態把握と移動環境の向上に向けた検討を進めます。

2-4-7 鴨川市障害者（児）福祉総合計画

計画概要	本市では、障害福祉サービスの提供をはじめ、保健・医療サービスの提供、相談・情報提供体制の整備、障害者の社会参加の促進を図るため、鴨川市障害者（児）福祉総合計画を策定しました。この計画は、令和６年度から令和 11 年度までを計画期間とする「鴨川市障害者基本計画」と、共に令和６年度から令和８年度を計画期間とする「鴨川市第７期障害福祉計画」と「鴨川市第３期障害児福祉計画」を一体的に策定したものです。
計画期間	令和６(2024)年度～令和 11(2029)年度の５年間
目指す将来像	手をとりあって　ともに暮らし　つながるかもがわ
施策目標	①　相互理解と共感の促進 ②　保健・医療の充実 ③　教育・育成の充実 ④　雇用・就業の充実 ⑤　生活支援の充実 ⑥　生活環境の充実 ⑦　文化・スポーツ・まちづくり活動の促進
公共交通に関する取組み（鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**基本方針５　生活支援の充実** **第１節　在宅生活への支援の充実** 【具体的な施策】 ・福祉タクシー利用助成 重度身体・知的障害者へのタクシー利用券の助成を引き続き実施します。 **基本方針６　生活環境の整備** **第２節　移動手段の確保** 【具体的な施策】 ・公共交通機関の充実促進 公共交通機関については、路線の確保・充実や利便性の向上、バリアフリー化、安全対策の充実などを要請していきます。 ・各種外出支援サービスの充実 外出支援策については、障害者の状況や外出目的などに応じて、自立支援給付の居宅介護における「通院介護」や、地域生活支援事業の「移動支援」、その他の事業を重層的に提供していきます。 ・外出に関する経済的支援制度の活用促進 外出に関する経済的支援制度として、福祉タクシー利用助成や自動車運転免許取得助成、自動車改造助成等を実施するとともに、国や県及び業界団体の制度として、鉄道・バス・タクシーの運賃、有料道路通行料金の割引制度の利用を促進していきます。

2-4-8 鴨川市教育振興計画（第４期　令和８～１２年度）

計画概要	学校教育、生涯学習、スポーツ・レクリエーション推進の指針となるもので、子どもたちみんなが自分の夢を育み、その実現に向けて学校・家庭・地域・行政が「全ては子どもたちのために」の思いをもって、様々な支援を続けることができるまち、市民一人ひとりが生涯を通して「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる、共に学ぶ包括的な教育施策を推進するため、基本的な方向を示す計画として、本計画を策定し推進します。
計画期間	令和８(2026)年度～令和 12(2030)年度の５年間
目指す将来像	夢と学びを育む教育文化のまち ～一人ひとり、みんなが輝く鴨川教育～
施策分野別目標	①　学校教育 ・０歳から 15 歳までの連続した学びや育ちを伸ばす教育の推進 ・学校・家庭・地域の連携・協力による教育力の向上 ②　生涯学習 ・市民一人ひとりの学びを支える生涯学習の振興 ・鴨川ならではの分か・芸術の振興と活用 ・青少年と親が育つ環境づくり ③　スポーツ・レクリエーション ・生涯にわたる市民のスポーツ・レクリエーションの振興
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**基本方針１　学校教育** **1.4 安全安心な学びの場づくり** **⑵安全な教育環境づくり** **①通学の安全対策** 学校統合等により、遠隔地から通園・通学することになった園児・児童生徒には、スクールバスや路線バス等で対応し、バスの運行や通学費の補助により、安心して通園・通学できるよう支援します。 【主な取組】 ・通学･通園バスの運行 ・遠距離通学費補助

2-4-9 第２次鴨川市環境基本計画

計画概要	市域の環境問題や地球環境の課題に対処するとともに、地域環境の保全と活用を通じてまちづくりに寄与し、良好な環境を将来世代に引き継いでいくことを目的として、様々な取組みの方向性を総合的にまとめた基本的な計画です。
計画期間	平成 29(2017)年度～令和 8(2026)年度の 10 年間
望ましい環境像	豊かな自然を守り育て、地球環境の保全に貢献するまち ～未来を担う子どもたちが誇りを持てるまちに～
基本目標	①　【自然環境】 人と自然が共生し、多彩な自然の恵みを将来に受け継ぐまち ②　【快適環境】 様々な地域資源を保全・活用し、人々が地域の魅力を実感できるまち ③　【廃棄物】 無駄にしない、資源循環型のまち ④　【生活環境】 健康で安心、気持ちよく暮らせるまち ⑤　【地球環境】 地球を大切にするまち ⑥　【環境学習】 一人ひとりが将来の世代に責任を持って行動するまち
公共交通に関する取組み （鉄道・バス・タクシー・駅・バス停・自転車・シェアサイクルなど）	**基本方針２　様々な地域資源を保全・活用し、人々が地域の魅力を実感できるまち** **方針５　身近な景観、美観の保全と活用** **④花の植栽の推進** ・安房鴨川駅西口等の美化花壇の植栽と管理を行います。また、市民団体、業界団体等の協力を得ながら、国・県道を中心とした主要道路の花壇等に、年間を通じた花の植栽を行います。

3 鴨川市の地域公共交通が抱える課題（現時点）

地域及び地域公共交通の現状

＜①人口動態＞
- 令和７年４月の人口は約 30,200 人で５年前の令和３年に比べて約 2,000 人が減少しており、令和 27 年には約 23,600 人にまで減少することが見込まれています。
- 一方で 75 歳以上の人口は令和 12 年まで増加していくことが見込まれており、移動手段の確保が必要となる市民は、当面、増加していくことが推測されます。

＜②人の動き＞
- 通勤目的と通学目的は、市内の移動が多いものの、館山市、南房総市、勝浦市、君津市、木更津市などの市外への移動も見られます。
- 市内の買物・通院目的での移動は、各地区から鴨川地域への移動が最も多く見られます。
- 市内だけでなく、市外に移動しやすい交通を検討していくことが求められることに加えて、各地区から鴨川地域への移動を強化していくことが求められます。

＜③人口と主要施設の分布＞
- 人口は、鴨川地域や鉄道沿線に多く居住しているものの、市全体に居住しています。
- 商業施設、医療施設、公共施設、教育施設は、鴨川地域や鉄道沿線に多く立地しており、商業や医療は地域内に施設が立地していない状況も見られ、各地域から鴨川地区周辺へのアクセス確保が求められます。

＜④自動車保有状況、高齢者の自動車運転＞
- 自家用車の保有台数は若干減少傾向にあり、令和７年３月末現在で約 12,700 台となっています。
  1 世帯当たりの自動車保有台数は、約 0.8 台となっている状況です。
- 高齢者の免許保有は約●人で、免許保有率が●%と高い水準にあります。
- 市内で発生した交通事故のうち、高齢者が関係した交通事故割合が●%と高い状況です。

＜⑤観光来訪者＞
- 観光入込客数は、コロナ禍から増加傾向にあり、令和６年時点で年間 270 万人が訪れており、うち約 100 万人は鴨川シーワールドへの来訪者となっています。鉄道駅からの二次交通の確保が求められます。

＜⑥地域公共交通と利用状況＞
- 交通事業者の乗務員不足等の影響により、路線バスが一部減便及び廃止となっています。
- コミュニティバスの一部区間を再編し、チョイソコかもがわの運行エリアが拡大しています。
- 市内と市外をつなぐ広域交通の役割を担う公共交通は鉄道、高速バス、路線バスが運行しています。市内の地域間の移動を支える公共交通は路線バス、コミュニティバスが運行しています。チョイソコかもがわは実証運行を踏まえて本格運行に移行しており、長狭地域、江見地域、天津小湊地域の住民が、区域間の運行サービスを利用しています。
- 路線バスや高速バスの利用状況は、コロナ禍から増加傾向にあります。チョイソコかもがわの利用状況は、実証運行開始から増加傾向が続いており、現在、運行地域により、増加傾向や減少傾向が見られます。
- その他、一般タクシー、移動販売車サービスなどが実施されています。

＜⑦まちづくり＞
- 総合計画や総合戦略では、魅力あふれる住みやすいまちづくりに向けて、利便性の高い地域公共交通網体系の整備を取組内容として位置づけています。
- 都市計画マスタープランでは、鴨川版コンパクトシティの形成に向けて地域や拠点間ネットワークの充実を取組内容として位置づけています。
- 過疎地域持続的発展計画では、人口減少幅の抑制に向けて、鉄道、路線バス、チョイソコかもがわの公共交通網の充実を取組内容として位置づけています。
- 上位・関連計画の多くが令和８年３月に策定しており、方針や取組内容と連携した計画策定が必要です。

＜⑧公共交通に関する市民ニーズや関係者のニーズ＞
- 現在、実施中。

課題１：広域交通及び地域交通の公共交通ネットワークの最適化（①、②、③、⑥、⑧に対応）

- 現計画策定後に、路線バス（金谷線、大学線）の廃止及び休止、路線バス（市内線）の減便、コミュニティバスの再編及び廃止、デマンド交通チョイソコかもがわの実証運行、運行エリアの拡大、本格運行への移行など、本市の公共交通を取り巻く現状は大きく変化しています。
- 鉄道、高速バス、路線バスについては、市内外及び地域内外を接続する広域交通の役割を担っており、市内外及び地域内外の移動を支えていますが、一部系統が廃止になることで、公共交通ネットワークを維持していくことが難しくなるため、交通事業者などのニーズも把握しながら、コミュニティバスやチョイソコかもがわを含めて、再編検討を行う必要があります。
- コミュニティバスでは、循環線の２系統以外は廃止となっていることから、限られた運行台数の中で利用者のニーズを満たす運行方法を検討することが必要となっています。
- チョイソコかもがわは、今後も市内の地域内外を網羅的にカバーしていく役割を担っていく中で、現在の運行内容でニーズに対応しきれていない一部地域や時間帯に対して、どの時間帯のどのエリアからどのエリアへの需要に対して対応していくことが必要なのかを明らかにして、最適解を検討することが必要となります。

課題２：幹線軸の設定と利便性向上策の重点的な展開（①、②、③、⑤、⑥、⑦に対応）

- 生活移動への対応、拠点へのアクセス、まちづくりとの連携を図るうえで重要な路線や区間を「広域幹線軸」「地域内幹線軸」「地域内支線軸」として設定のうえ、各公共交通の階層化と拠点への接続、拠点における環境整備、市街地におけるサービス水準の確保に取り組むなどの利便性向上策について検討することが必要となります。
- 一方で、郊外部は市街地に比べて居住人口が少なく、拠点も少ない状況であるため、個別の移動ニーズに対応する公共交通サービスを確保することが必要となります。チョイソコかもがわを含めて、地域の実情に応じた運行形態や運行方法を検討することが必要となります。
- これらを踏まえて、鉄道、路線バス、コミュニティバス、チョイソコかもがわとの役割分担、その他移動サービスとの連携、他分野連携を行いながら、DX 事業も含めた、各公共交通をつなぐための対応策の検討が必要となります。

課題３：交通弱者の移動手段の利便性向上及び利用促進への対応（①、②、④、⑦に対応）

- チョイソコかもがわは、高齢者の買物や通院を支えており、今後も、高齢化の進展、高齢者の免許保有者の増加、それに伴う高齢者が関係した事故などに対応するため、自動車を保有していなくても、安心して外出して生活できる環境を整備することが必要となります。
- 高校生についても市内外の通学ニーズが見られる中で、ハード・ソフト両面から公共交通の充実が必要となります。

課題４：まちづくりと連携し、まちづくりへ寄与できる連携方策（①、②、⑤、⑦、⑧に対応）

- 関連分野から公共交通に求められる役割が多様化しており、まちづくりとの連携方策について、新たに検討することが必要となっています。総合計画、総合戦略、過疎地域持続的発展計画、健康福祉推進計画、教育振興計画など、直近の令和８年３月に策定している計画が多く、基本理念・基本方針・計画目標・将来ネットワークの連動、施策・事業の連携事業の位置づけ、数値目標（KPI）の連携を図り、相乗効果につなげることが必要となります。

資料4

鴨川市地域公共交通計画策定業務

日常の外出や公共交通に関するアンケート調査実施報告書
（速報版）

令和8年8月

株式会社ケー・シー・エス

［ 目　　次 ］

1 調査の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **1**

2 調査の実施方法等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **1**

2-1 調査対象・実施方法 ……1

2-2 回収結果 ……1

3 調査報告書の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **2**

4 回答者の属性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **3**

5 単純集計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **8**

5-1 普段の買い物に関すること【問 1】～【問 6】 ……8

5-2 普段の通院に関すること【問 7】～【問 11】 ……13

5-3 普段の通勤・通学に関すること【問 12】～【問 16】 ……17

5-4 鉄道の利用に関すること【問 17】～【問 20】 ……25

5-5 路線バスの利用に関すること【問 21】～【問 23】 ……28

5-6 高速バスの利用に関すること【問 24】～【問 26】 ……32

5-7 コミュニティバスの利用に関すること【問 27】～【問 30】 ……36

5-8 タクシーの利用に関すること【問 31】～【問 34】 ……39

5-9 チョイソコかもがわの利用に関すること【問 35】～【問 49】 ……42

5-10 移動における困りごとに関すること【問 50】～【問 52】 ……55

5-11 鴨川市の公共交通に関すること【問 53】～【問 54】 ……59

1　調査の目的

市民の移動実態の把握、現行公共交通に対する市民の意向や見直しの検討などを把握するためアンケート調査を実施する。

2　調査の実施方法等

2-1　調査対象・実施方法

調査対象者	市内在住の 15 歳以上の 3,000 人
対象者数	3,000 人
調査対象地区	鴨川市内全域
調査方法	郵送配布、郵送回収、一部 WEB 回答
調査時期	令和８年７月 29 日（水）～令和８年８月９日（日）

2-2　回収結果

配布枚数	3,000 枚
回収数	975 票　※8 月 10 日回収分まで
無効票	0 票
有効回収数	975 票（うち、紙回収 792 票、WEB 回収 183 票）
有効回収率	32.5%

３ 調査報告書の見方

- 図表中の「n」は設問の有効回答数を示します。
- 図表中の「ＭＡ」は複数回答の設問での有効回答数合計を示します。
- 調査結果のグラフは、各回答の比率（％）で表示しています。
- 各回答の比率（％）は、すべて小数点以下第２位を四捨五入した数値であるため、各回答の比率（％）の合計が 100%にならない場合があります。
- 複数回答は、「非該当」は除いているため、合計値は回答者全体の数と一致しない場合があります。
- 複数回答の場合、回答件数の合計は回答者数（100%）を超える場合があります。
- 自由意見は、調査票に記入された内容をほぼ原文どおりに記載しています（特定の団体や企業、個人が特定できる表現は削除しています）。
- 一つの回答に対して複数回答している等、本人の意思が読み取れない回答については集計上無回答に分類しています。

4 回答者の属性

（1）【問 55-1】性別

・性別では、「女性」が 51.7%（504 人）と最も高く、次いで「男性」が 41.1%（401 人）と続いている。

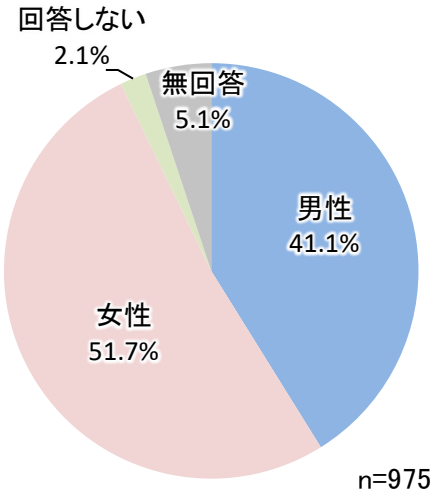


図　性別

表　性別

	回答数	割合
男性	401	41.1%
女性	504	51.7%
回答しない	20	2.1%
無回答	50	5.1%
合計	975	100.0%

（2）【問 55-2】年齢

・年齢では、「80 歳以上」が 17.8%（174 人）と最も高く、次いで「75～79 歳」が 15.9%（155 人）と続いている。

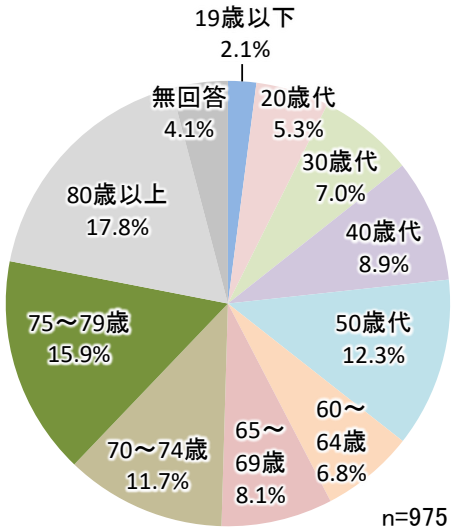


図　年齢

表　年齢

	回答数	割合
19歳以下	20	2.1%
20歳代	52	5.3%
30歳代	68	7.0%
40歳代	87	8.9%
50歳代	120	12.3%
60～64歳	66	6.8%
65～69歳	79	8.1%
70～74歳	114	11.7%
75～79歳	155	15.9%
80歳以上	174	17.8%
無回答	40	4.1%
合計	975	100.0%

（3）【問 55-3-1】居住地

・居住地では、「鴨川地区」が 22.9%（223 人）と最も高く、次いで「東条地区」が 17.2%（168 人）と続いている。

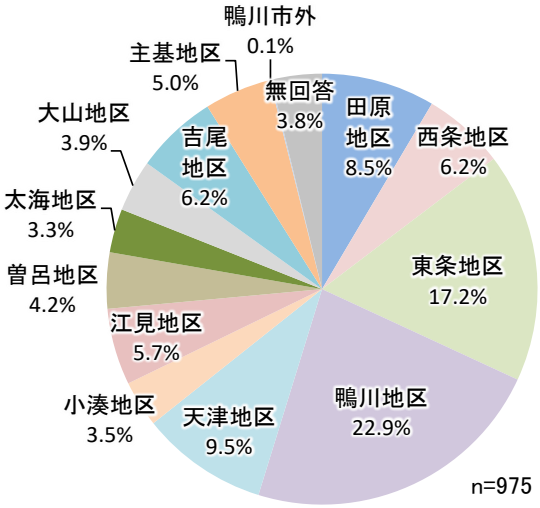


図　居住地

表　居住地

	回答数	割合
田原地区	83	8.5%
西条地区	60	6.2%
東条地区	168	17.2%
鴨川地区	223	22.9%
天津地区	93	9.5%
小湊地区	34	3.5%
江見地区	56	5.7%
曽呂地区	41	4.2%
太海地区	32	3.3%
大山地区	38	3.9%
吉尾地区	60	6.2%
主基地区	49	5.0%
鴨川市外	1	0.1%
千葉県外	0	0.0%
無回答	37	3.8%
合計	975	100.0%

（4）【問 55-3-2】居住地（鴨川市外の場合）※【問 55-3-1】で「鴨川市外」を答えた人のみ

・居住地（鴨川市外の場合）では、「」が人と最も多く、次いで「」が人と続いている。

表　居住地（鴨川市外の場合）

速報版のため未掲載

（5）【問 55-4】職業

・職業では、「無職（年金生活含む）」が 34.9%（340 人）と最も高く、次いで「会社員・公務員」が 27.0%（263 人）と続いている。

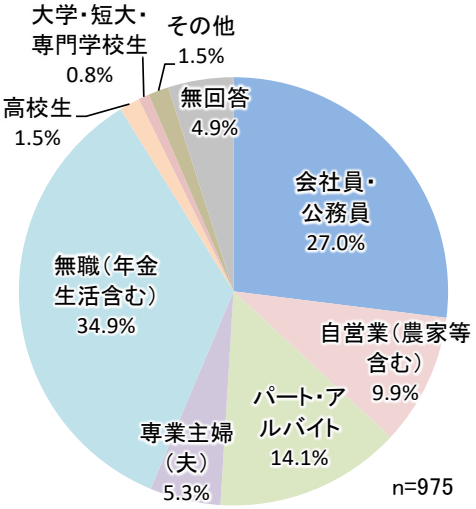


図　職業

表　職業

	回答数	割合
会社員・公務員	263	27.0%
自営業（農家等含む）	97	9.9%
パート・アルバイト	137	14.1%
専業主婦（夫）	52	5.3%
無職（年金生活含む）	340	34.9%
高校生	15	1.5%
大学・短大・専門学校生	8	0.8%
その他	15	1.5%
無回答	48	4.9%
合計	975	100.0%

（6）【問 55-5】運転免許保有状況

・運転免許保有状況では、「持っている」が 78.6%（766 人）と最も高く、次いで「もともと持っていない（失効等を含む）」が 10.4%（101 人）と続いている。

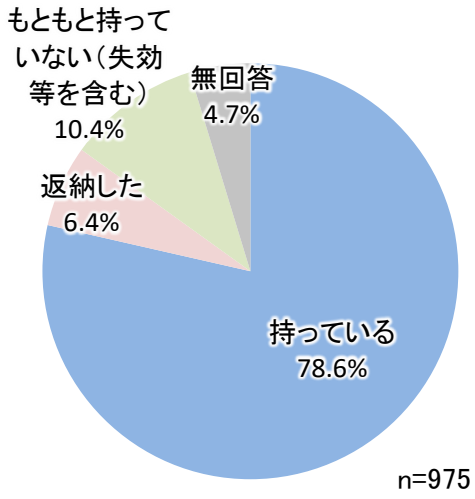


図　運転免許保有状況

表　運転免許保有状況

	回答数	割合
持っている	766	78.6%
返納した	62	6.4%
もともと持っていない（失効等を含む）	101	10.4%
無回答	46	4.7%
合計	975	100.0%

（7）【問 55-6】自動車を運転する頻度※【問 55-5】で「持っている」を答えた人のみ

・自動車を運転する頻度では、「週に５日以上」が 67.8%（519 人）と最も高く、次いで「週に 3~4 日」が 15.7%（120 人）と続いている。

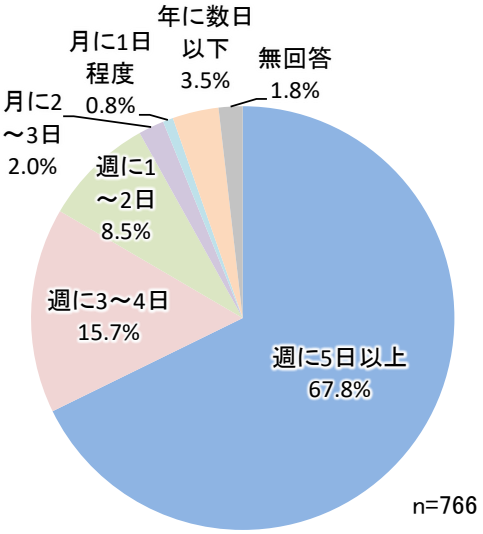


図　自動車を運転する頻度

表　自動車を運転する頻度

	回答数	割合
週に5日以上	519	67.8%
週に3~4日	120	15.7%
週に1~2日	65	8.5%
月に2~3日	15	2.0%
月に1日程度	6	0.8%
年に数日以下	27	3.5%
無回答	14	1.8%
合計	766	100.0%

（8）【問 55-7】運転免許の返納意向※【問 55-5】で「持っている」を答えた人のみ

・運転免許の返納意向では、「不自由なく運転できるため、今のところ返納は考えていない」が 80.9%（620 人）と最も高く、次いで「運転に不安があるが、移動が不便になるため、今のところ返納は考えていない」が 12.9%（99 人）と続いている。

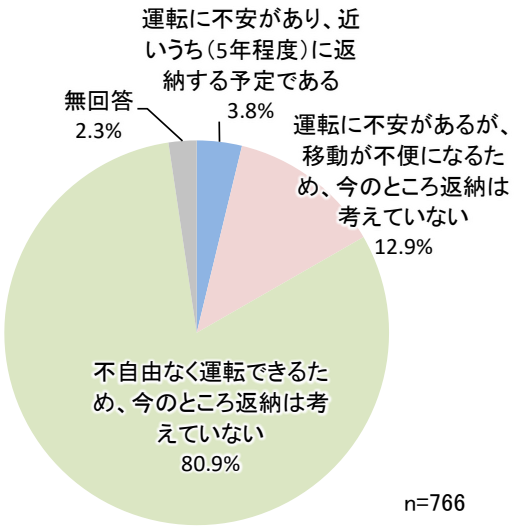


図　運転免許の返納意向

表　運転免許の返納意向

	回答数	割合
運転に不安があり、近いうち(5年程度)に返納する予定である	29	3.8%
運転に不安があるが、移動が不便になるため、今のところ返納は考えていない	99	12.9%
不自由なく運転できるため、今のところ返納は考えていない	620	80.9%
無回答	18	2.3%
合計	766	100.0%

（9）【問 55-8】自由に使える車両

・自由に使える車両では、「自動車（ほぼ自分専用）」が 66.8%（651 人）と最も高く、次いで「自動車（家族と共用）」が 14.3%（139 人）と続いている。

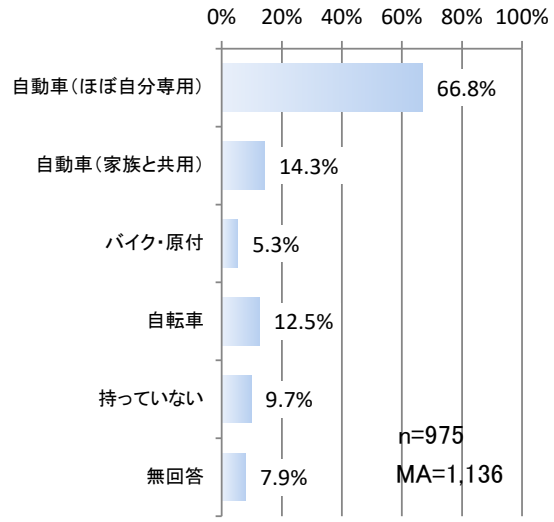


図　自由に使える車両

表　自由に使える車両

	回答数	割合
自動車（ほぼ自分専用）	651	66.8%
自動車（家族と共用）	139	14.3%
バイク・原付	52	5.3%
自転車	122	12.5%
持っていない	95	9.7%
無回答	77	7.9%
合計	1,136	116.5%

（１０）【問 55-9】スマートフォンの利用状況

・スマートフォンの利用状況では、「日常的に利用している」が 74.6%（727 人）と最も高く、次いで「スマートフォンを持っていない」が 12.3%（120 人）と続いている。

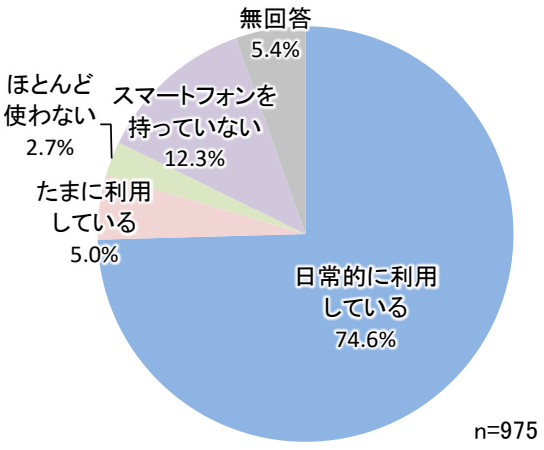


図　スマートフォンの利用状況

表　スマートフォンの利用状況

	回答数	割合
日常的に利用している	727	74.6%
たまに利用している	49	5.0%
ほとんど使わない	26	2.7%
スマートフォンを持っていない	120	12.3%
無回答	53	5.4%
合計	975	100.0%

5 単純集計

5-1 普段の買い物に関すること

（1）【問 1】普段の買い物の場面・手段

・普段の買い物の場面・手段では、「買い物を主な目的として外出する」が 81.0%（790 人）と最も高く、次いで「通院やその他の外出のついで」が 46.1%（449 人）と続いている。

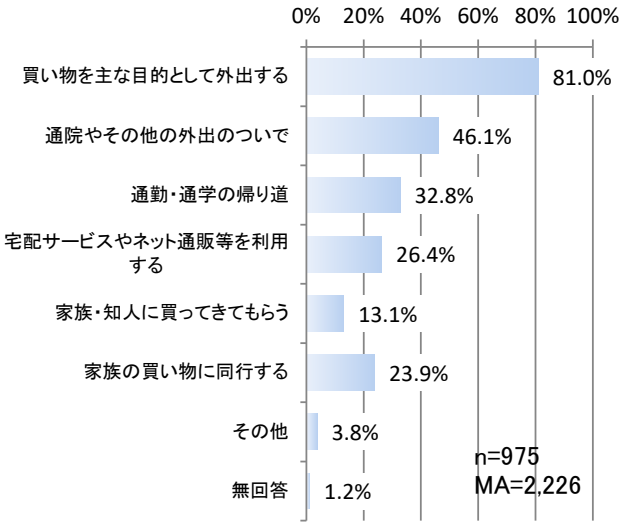


図　普段の買い物の場面・手段

表　普段の買い物の場面・手段

	回答数	割合
買い物を主な目的として外出する	790	81.0%
通院やその他の外出のついで	449	46.1%
通勤・通学の帰り道	320	32.8%
宅配サービスやネット通販等を利用する	257	26.4%
家族・知人に買ってきてもらう	128	13.1%
家族の買い物に同行する	233	23.9%
その他	37	3.8%
無回答	12	1.2%
合計	2,226	228.3%

（2）【問 2】買い物の頻度

・買い物の頻度では、「週に 1～2 日」が 40.0%（390 人）と最も高く、次いで「週に 3～4 日」が 32.0%（312 人）と続いている。

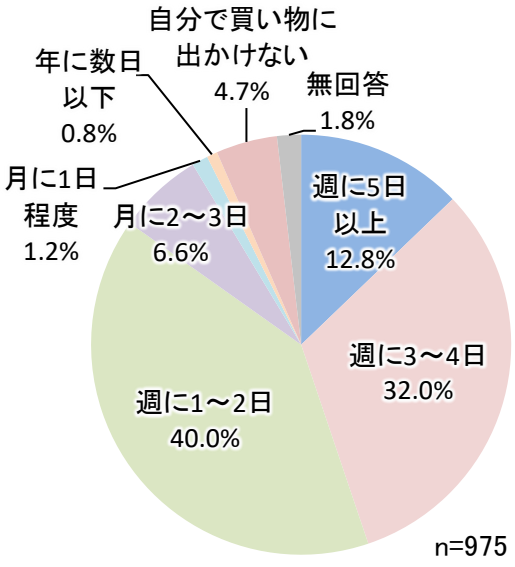


図　買い物の頻度

表　買い物の頻度

	回答数	割合
週に5日以上	125	12.8%
週に3～4日	312	32.0%
週に1～2日	390	40.0%
月に2～3日	64	6.6%
月に1日程度	12	1.2%
年に数日以下	8	0.8%
自分で買い物に出かけない	46	4.7%
無回答	18	1.8%
合計	975	100.0%

（3）【問 3-1】普段の買い物でよく行くエリア※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の買い物でよく行くエリアでは、「鴨川地区」が 70.6%（643 人）と最も高く、次いで「東条地区」が 10.8%（98 人）と続いている。

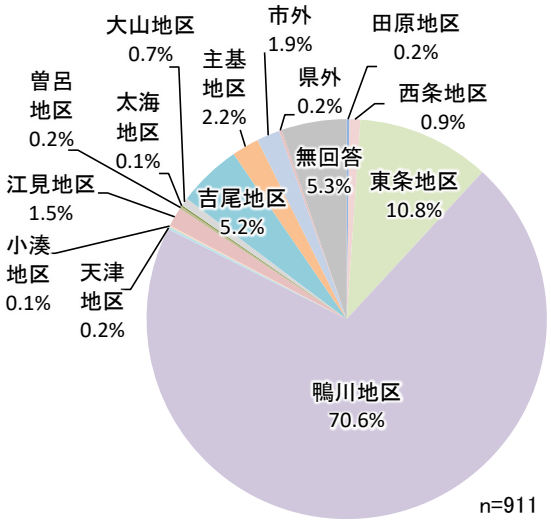


図　普段の買い物でよく行くエリア

表　普段の買い物でよく行くエリア

	回答数	割合
田原地区	2	0.2%
西条地区	8	0.9%
東条地区	98	10.8%
鴨川地区	643	70.6%
天津地区	2	0.2%
小湊地区	1	0.1%
江見地区	14	1.5%
曽呂地区	2	0.2%
太海地区	1	0.1%
大山地区	6	0.7%
吉尾地区	47	5.2%
主基地区	20	2.2%
市外	17	1.9%
県外	2	0.2%
無回答	48	5.3%
合計	911	100.0%

（4）【問 3-2】普段の買い物でよく行く市町村※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の買い物でよく行く市町村では、「館山市」が７人と最も多く、次いで「勝浦市」が２人と続いている。

表　普段の買い物でよく行く市町村

	回答数
館山市	7
勝浦市	2
船橋市	1
君津市	1
木更津	1
いすみ市	1
木更津市、館山市	1
千葉市	1
木更津市	1

（5）【問 3-3】普段の買い物でよく行く都道府県※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の買い物でよく行く都道府県では、「東京都」、「神奈川県」が 1 人ずつとなっている。

表　普段の買い物でよく行く都道府県

	回答数
東京都	1
神奈川県	1

（6）【問 4】普段の買い物で最も利用する店舗※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の買い物で最も利用する店舗では、「ベイシア鴨川店」が 35.6%（324 人）と最も高く、次いで「イオン鴨川店」が 18.6%（169 人）と続いている。

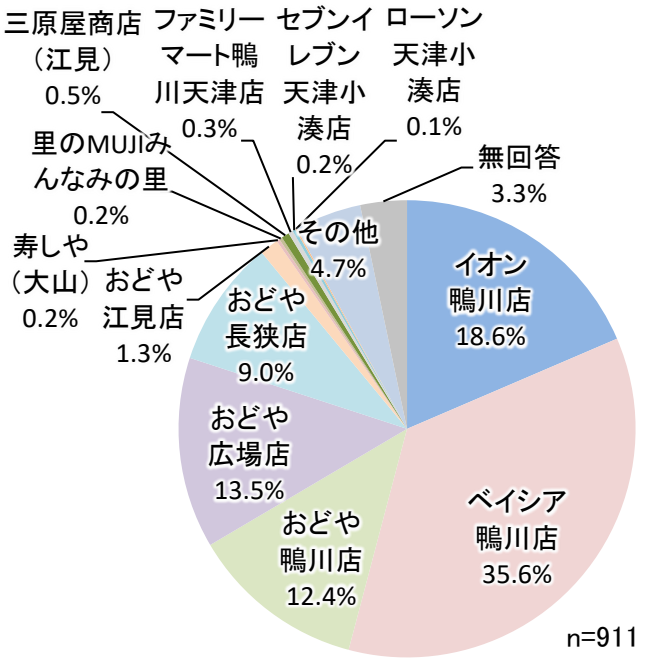


図　普段の買い物で最も利用する店舗

表　普段の買い物で最も利用する店舗

	回答数	割合
イオン鴨川店	169	18.6%
ベイシア鴨川店	324	35.6%
おどや鴨川店	113	12.4%
おどや広場店	123	13.5%
おどや長狭店	82	9.0%
おどや江見店	12	1.3%
寿しや（大山）	2	0.2%
里のMUJIみんなみの里	2	0.2%
三原屋商店（江見）	5	0.5%
ファミリーマート鴨川天津店	3	0.3%
セブンイレブン天津小湊店	2	0.2%
ローソン天津小湊店	1	0.1%
その他	43	4.7%
無回答	30	3.3%
合計	911	100.0%

（7）【問 5-1】普段買い物に出かけるときの行きの時間帯※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段買い物に出かけるときの行きの時間帯では、「10 時台」が 26.9%（245 人）と最も高く、次いで「11 時台」が 10.6%（97 人）と続いている。

表　普段買い物に出かけるときの行きの時間帯

	回答数	割合		回答数	割合
2時台	1	0.1%	15時台	67	7.4%
3時台	2	0.2%	16時台	57	6.3%
4時台	1	0.1%	17時台	74	8.1%
7時台	5	0.5%	18時台	56	6.1%
8時台	10	1.1%	19時台	24	2.6%
9時台	95	10.4%	20時台	11	1.2%
10時台	245	26.9%	21時台	1	0.1%
11時台	97	10.6%	9～10時台	2	0.2%
12時台	25	2.7%	10～11時台	1	0.1%
13時台	46	5.0%	無回答	45	4.9%
14時台	46	5.0%	合計	911	100.0%

（8）【問 5-2】普段買い物に出かけるときの帰りの時間帯※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段買い物に出かけるときの帰りの時間帯では、「11 時台」が 17.6%（160 人）と最も高く、次いで「12 時台」が 12.7%（116 人）と続いている。

表　普段買い物に出かけるときの帰りの時間帯

	回答数	割合		回答数	割合
3時台	1	0.1%	16時台	79	8.7%
4時台	2	0.2%	17時台	76	8.3%
6時台	1	0.1%	18時台	90	9.9%
7時台	1	0.1%	19時台	60	6.6%
8時台	1	0.1%	20時台	25	2.7%
9時台	12	1.3%	21時台	6	0.7%
10時台	50	5.5%	22時台	2	0.2%
11時台	160	17.6%	24時台	1	0.1%
12時台	116	12.7%	15～16時台	2	0.2%
13時台	48	5.3%	無回答	75	8.2%
14時台	42	4.6%	合計	911	100.0%
15時台	61	6.7%			

（9）【問 6】買い物に出かけるときの交通手段※【問 2】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・買い物に出かけるときの交通手段では、「自家用車（自分で運転）」が 77.5%（706 人）と最も高く、次いで「自家用車（家族・知人等による送迎）」が 21.0%（191 人）と続いている。

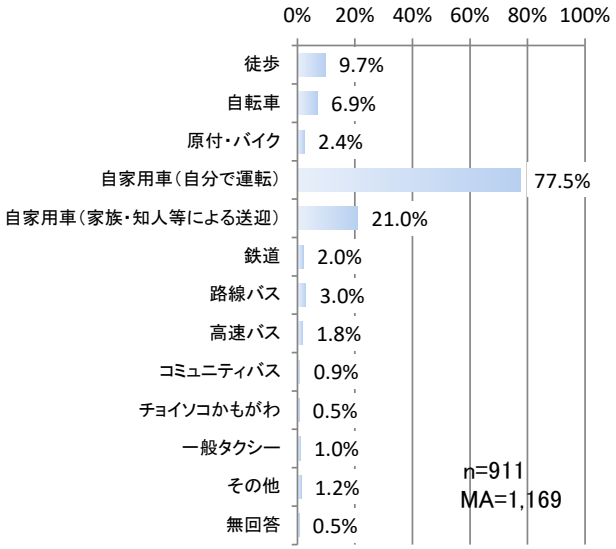


図　買い物に出かけるときの交通手段

表　買い物に出かけるときの交通手段

	回答数	割合
徒歩	88	9.7%
自転車	63	6.9%
原付・バイク	22	2.4%
自家用車（自分で運転）	706	77.5%
自家用車（家族・知人等による送迎）	191	21.0%
鉄道	18	2.0%
路線バス	27	3.0%
高速バス	16	1.8%
コミュニティバス	8	0.9%
チョイソコかもがわ	5	0.5%
一般タクシー	9	1.0%
その他	11	1.2%
無回答	5	0.5%
合計	1,169	128.3%

5-2 普段の通院に関すること

（1）【問 7】通院に出かける頻度

・通院に出かける頻度では、「月に 1 日程度」が 36.1%（352 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 25.9%（253 人）と続いている。

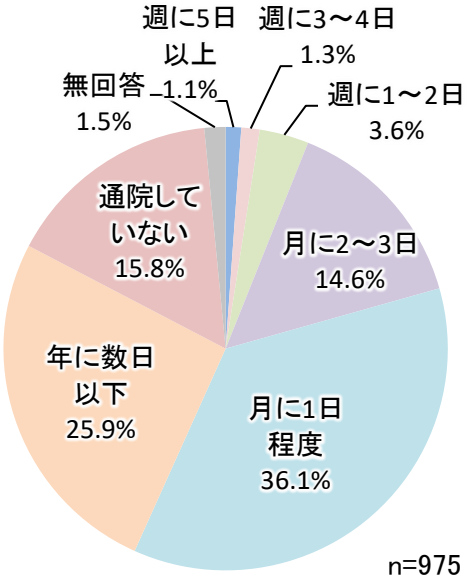


図　通院に出かける頻度

表　通院に出かける頻度

	回答数	割合
週に5日以上	11	1.1%
週に3～4日	13	1.3%
週に1～2日	35	3.6%
月に2～3日	142	14.6%
月に1日程度	352	36.1%
年に数日以下	253	25.9%
通院していない	154	15.8%
無回答	15	1.5%
合計	975	100.0%

（2）【問 8-1】普段の通院でよく行くエリア※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の通院でよく行くエリアでは、「鴨川地区」が 44.2%（356 人）と最も高く、次いで「東条地区」が 35.1%（283 人）と続いている。

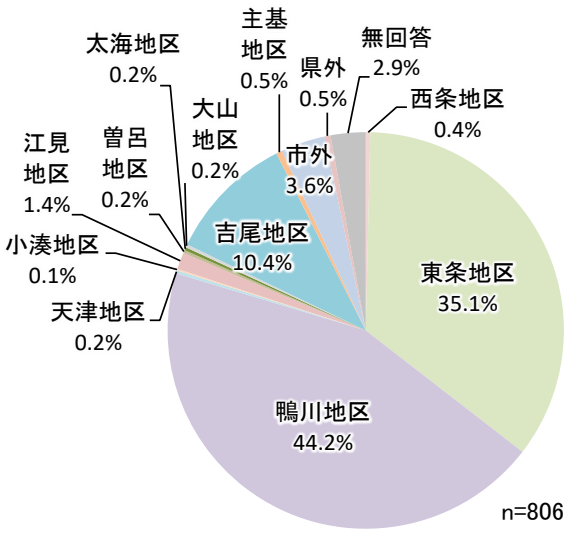


図　普段の通院でよく行くエリア

表　普段の通院でよく行くエリア

	回答数	割合
田原地区	0	0.0%
西条地区	3	0.4%
東条地区	283	35.1%
鴨川地区	356	44.2%
天津地区	2	0.2%
小湊地区	1	0.1%
江見地区	11	1.4%
曽呂地区	2	0.2%
太海地区	2	0.2%
大山地区	2	0.2%
吉尾地区	84	10.4%
主基地区	4	0.5%
市外	29	3.6%
県外	4	0.5%
無回答	23	2.9%
合計	806	100.0%

（3）【問 8-2】普段の通院でよく行く市町村※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の通院でよく行く市町村では、「館山市」が１３人と最も多く、次いで「南房総市」が６人と続いている。

表　普段の通院でよく行く市町村

	回答数
館山市	13
南房総市	6
木更津市	2
君津市	2
勝浦市	2
千葉市	2
船橋市	1
和田町	1

（4）【問 8-3】普段の通院でよく行く都道府県※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の通院でよく行く都道府県では、「東京都」、「神奈川県」が２人ずつとなっている。

表　普段の通院でよく行く都道府県

	回答数
東京都	2
神奈川県	2

（5）【問 9】普段の通院で最も利用する病院※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段の通院で最も利用する病院では、「亀田総合病院・亀田クリニック」が 52.6%（424 人）と最も高く、次いで「鴨川市立国保病院」が 12.3%（99 人）と続いている。

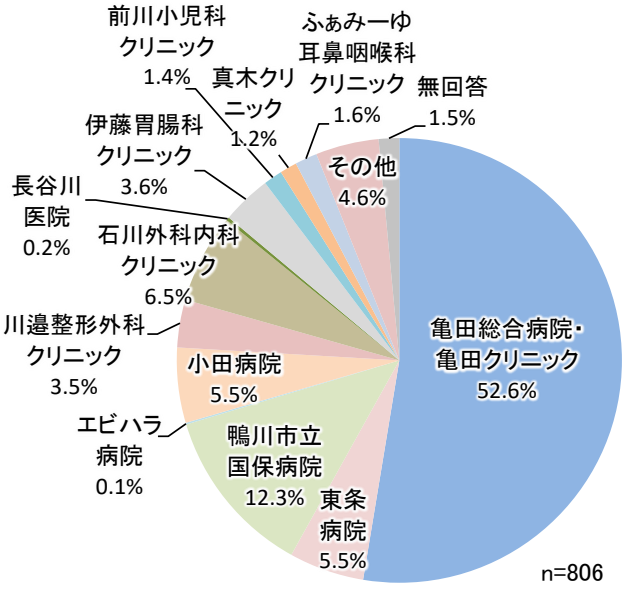


図　普段の通院で最も利用する病院

表　普段の通院で最も利用する病院

	回答数	割合
亀田総合病院・亀田クリニック	424	52.6%
東条病院	44	5.5%
鴨川市立国保病院	99	12.3%
亀田リハビリテーション病院	0	0.0%
エビハラ病院	1	0.1%
小田病院	44	5.5%
川邉整形外科クリニック	28	3.5%
石川外科内科クリニック	52	6.5%
長谷川医院	2	0.2%
伊藤胃腸科クリニック	29	3.6%
前川小児科クリニック	11	1.4%
真木クリニック	10	1.2%
ふぁみーゆ耳鼻咽喉科クリニック	13	1.6%
その他	37	4.6%
無回答	12	1.5%
合計	806	100.0%

（6）【問 10-1】普段通院に出かけるときの行きの時間帯※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段通院に出かけるときの行きの時間帯では、「9 時台」が 34.4%（277 人）と最も高く、次いで「10 時台」が 21.8%（176 人）と続いている。

表　普段通院に出かけるときの行きの時間帯

	回答数	割合
3時台	1	0.1%
5時台	2	0.2%
6時台	2	0.2%
7時台	8	1.0%
8時台	138	17.1%
9時台	277	34.4%
10時台	176	21.8%
11時台	42	5.2%
12時台	13	1.6%
13時台	21	2.6%
14時台	42	5.2%
15時台	29	3.6%
16時台	18	2.2%
17時台	10	1.2%
18時台	1	0.1%
9～10時台	1	0.1%
無回答	25	3.1%
合計	806	100.0%

（7）【問 10-2】普段通院に出かけるときの帰りの時間帯※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・普段通院に出かけるときの帰りの時間帯では、「12 時台」が 23.1%（186 人）と最も高く、次いで「11 時台」が 22.7%（183 人）と続いている。

表　普段通院に出かけるときの帰りの時間帯

	回答数	割合
1時台	1	0.1%
5時台	2	0.2%
9時台	18	2.2%
10時台	94	11.7%
11時台	183	22.7%
12時台	186	23.1%
13時台	53	6.6%
14時台	39	4.8%
15時台	47	5.8%
16時台	50	6.2%
17時台	41	5.1%
18時台	13	1.6%
19時台	2	0.2%
20時台	1	0.1%
10～11時台	1	0.1%
15～17時台	1	0.1%
無回答	74	9.2%
合計	806	100.0%

（8）【問 11】通院に出かけるときの交通手段※【問 7】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・通院に出かけるときの交通手段では、「自家用車（自分で運転）」が 68.5%（552 人）と最も高く、次いで「自家用車（家族・知人等による送迎）」が 23.9%（193 人）と続いている。

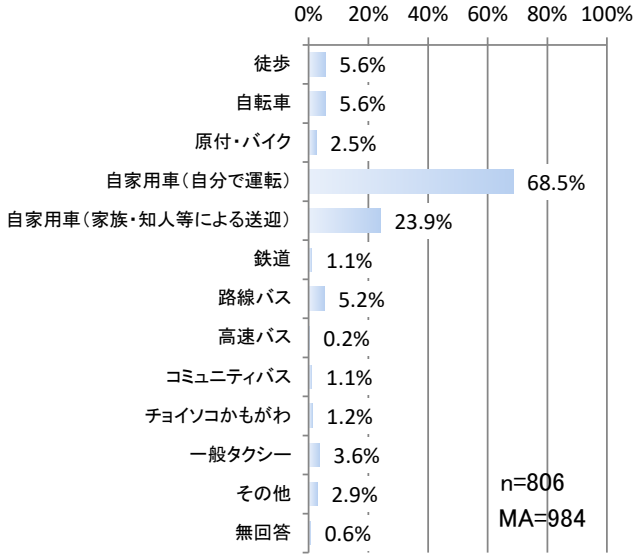


図　通院に出かけるときの交通手段

表　通院に出かけるときの交通手段

	回答数	割合
徒歩	45	5.6%
自転車	45	5.6%
原付・バイク	20	2.5%
自家用車（自分で運転）	552	68.5%
自家用車（家族・知人等による送迎）	193	23.9%
鉄道	9	1.1%
路線バス	42	5.2%
高速バス	2	0.2%
コミュニティバス	9	1.1%
チョイソコかもがわ	10	1.2%
一般タクシー	29	3.6%
その他	23	2.9%
無回答	5	0.6%
合計	984	122.1%

5-3 普段の通勤・通学に関すること

（1）【問 12】通勤・通学の有無

・通勤・通学の有無では、「通勤をしている」が 44.5%（434 人）と最も高く、次いで「通勤・通学していない」が 43.6%（425 人）と続いている。

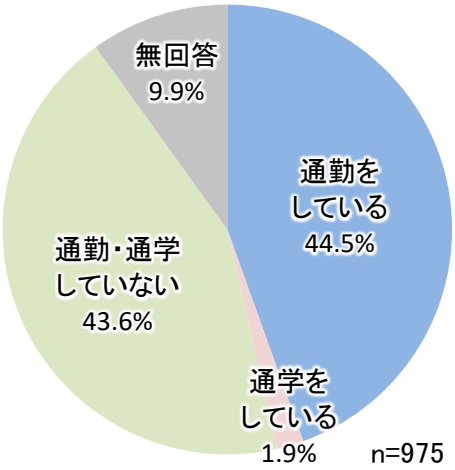


図　通勤・通学の有無

表　通勤・通学の有無

	回答数	割合
通勤をしている	434	44.5%
通学をしている	19	1.9%
通勤・通学していない	425	43.6%
無回答	97	9.9%
合計	975	100.0%

（2）【問 13-1】通勤・通学する頻度※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・通勤・通学する頻度では、「週に 5 日以上」が 74.0%（335 人）と最も高く、次いで「週に 3～4 日」が 21.4%（97 人）と続いている。

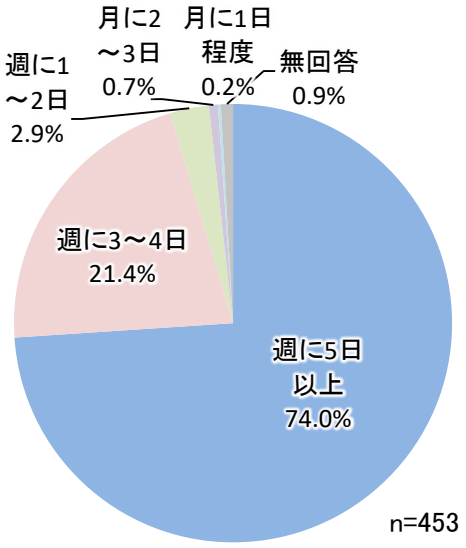


図　通勤・通学する頻度

表　通勤・通学する頻度

	回答数	割合
週に5日以上	335	74.0%
週に3～4日	97	21.4%
週に1～2日	13	2.9%
月に2～3日	3	0.7%
月に1日程度	1	0.2%
年に数日以下	0	0.0%
無回答	4	0.9%
合計	453	100.0%

（3）【問 13-2】通勤・通学する曜日※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・通勤・通学する曜日では、「月曜日」が 77.0%（349 人）と最も高く、次いで「火曜日」、「金曜日」が 75.7%（343 人）と続いている。

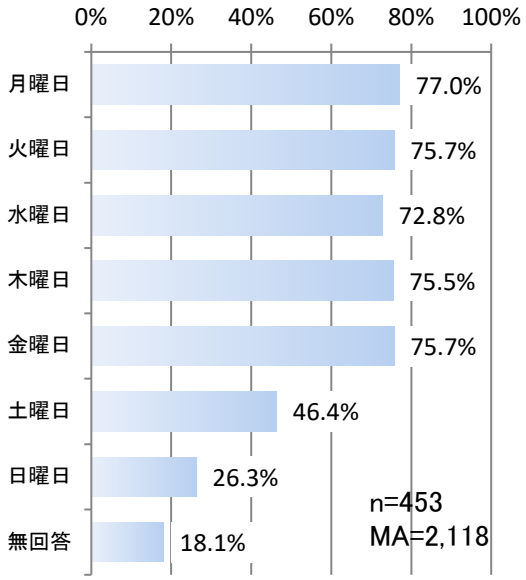


図　通勤・通学する曜日

表　通勤・通学する曜日

	回答数	割合
月曜日	349	77.0%
火曜日	343	75.7%
水曜日	330	72.8%
木曜日	342	75.5%
金曜日	343	75.7%
土曜日	210	46.4%
日曜日	119	26.3%
無回答	82	18.1%
合計	2,118	467.5%

（4）【問 14-1】通勤・通学先のエリア※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・通勤・通学先のエリアでは、「鴨川地区」が 28.9%（131 人）と最も高く、次いで「市外」が 21.4%（97 人）と続いている。

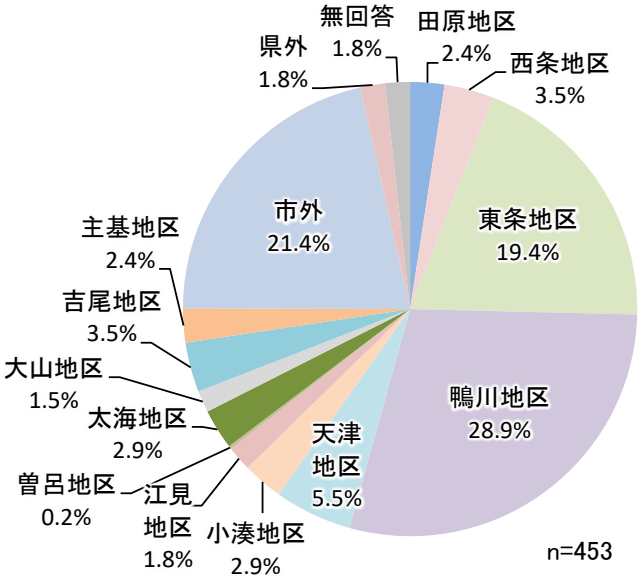


図　通勤・通学先のエリア

表　通勤・通学先のエリア

	回答数	割合
田原地区	11	2.4%
西条地区	16	3.5%
東条地区	88	19.4%
鴨川地区	131	28.9%
天津地区	25	5.5%
小湊地区	13	2.9%
江見地区	8	1.8%
曽呂地区	1	0.2%
太海地区	13	2.9%
大山地区	7	1.5%
吉尾地区	16	3.5%
主基地区	11	2.4%
市外	97	21.4%
県外	8	1.8%
無回答	8	1.8%
合計	453	100.0%

（5）【問 14-2】通勤・通学先の市町村※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・通勤・通学先の市町村では、「館山市」が 22 人と最も多く、次いで「南房総市」が 16 人と続いている。

表　通勤・通学先の市町村

	回答数
館山市	22
南房総市	16
勝浦市	12
君津市	8
千葉市	8
木更津市	6
富津市	3
鋸南町	3
いすみ市	2
富浦町	2
茂原市	2
船橋市	2
コスモクラシッククラブ	1
浦安市	1
鴨川	1
清澄地区	1
大多喜町	1
東金市	1
睦沢町	1

（6）【問 14-3】通勤・通学先の都道府県※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・通勤・通学先の都道府県では、「東京都」が６人と最も多くなっている。

表　通勤・通学先の都道府県

	回答数
東京都	6
神奈川県	1
茨城県	1

（7）【問 15-1-1】普段、通勤・通学先に行くときに自宅を出発する時間※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・普段、通勤・通学先に行くときに自宅を出発する時間では、「7 時 30 分」が 11.7%（53 人）と最も高く、次いで「8 時 00 分」が 10.8%（49 人）と続いている。

表　普段、通勤・通学先に行くときに自宅を出発する時間

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
0時00分	2	0.4%	7時25分	2	0.4%	10時40分	1	0.2%
0時20分	1	0.2%	7時30分	53	11.7%	11時00分	4	0.9%
1時00分	1	0.2%	7時35分	3	0.7%	11時15分	1	0.2%
2時00分	2	0.4%	7時40分	14	3.1%	12時00分	3	0.7%
3時30分	2	0.4%	7時45分	11	2.4%	12時10分	1	0.2%
4時00分	2	0.4%	7時50分	13	2.9%	12時15分	1	0.2%
4時30分	1	0.2%	7時56分	1	0.2%	12時30分	3	0.7%
4時45分	1	0.2%	8時00分	49	10.8%	12時35分	1	0.2%
5時00分	5	1.1%	8時05分	2	0.4%	12時50分	1	0.2%
5時30分	7	1.5%	8時08分	1	0.2%	13時00分	2	0.4%
5時40分	1	0.2%	8時10分	7	1.5%	13時25分	1	0.2%
5時45分	1	0.2%	8時15分	7	1.5%	13時30分	1	0.2%
5時50分	2	0.4%	8時20分	7	1.5%	13時45分	1	0.2%
6時00分	16	3.5%	8時30分	22	4.9%	14時00分	1	0.2%
6時05分	1	0.2%	8時35分	3	0.7%	14時50分	1	0.2%
6時10分	1	0.2%	8時40分	9	2.0%	15時00分	2	0.4%
6時15分	1	0.2%	8時50分	6	1.3%	15時30分	1	0.2%
6時25分	1	0.2%	9時00分	12	2.6%	16時30分	1	0.2%
6時30分	18	4.0%	9時10分	1	0.2%	17時00分	3	0.7%
6時40分	1	0.2%	9時15分	2	0.4%	18時00分	1	0.2%
6時45分	2	0.4%	9時20分	3	0.7%	18時55分	1	0.2%
6時50分	2	0.4%	9時30分	5	1.1%	19時50分	1	0.2%
7時00分	44	9.7%	9時35分	1	0.2%	21時10分	1	0.2%
7時10分	8	1.8%	9時40分	2	0.4%	7時30分、16時20分	1	0.2%
7時12分	1	0.2%	9時50分	1	0.2%	無回答	13	2.9%
7時15分	15	3.3%	10時00分	4	0.9%	合計	453	100.0%
7時20分	24	5.3%	10時30分	1	0.2%			

（8）【問 15-1-2】普段、通勤・通学先に到着する時間※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・普段、通勤・通学先に到着する時間では、「8 時 00 分」が 8.6%（39 人）と最も高く、次いで「7 時 50 分」が 5.7%（26 人）と続いている。

表　普段、通勤・通学先に到着する時間

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
0時05分	1	0.2%	7時49分	1	0.2%	11時10分	1	0.2%
0時30分	1	0.2%	7時50分	26	5.7%	11時15分	1	0.2%
1時10分	1	0.2%	7時55分	6	1.3%	11時30分	1	0.2%
4時00分	2	0.4%	7時57分	1	0.2%	12時00分	2	0.4%
4時10分	1	0.2%	8時00分	39	8.6%	12時10分	1	0.2%
5時15分	2	0.4%	8時03分	1	0.2%	12時15分	1	0.2%
5時30分	2	0.4%	8時05分	3	0.7%	12時20分	1	0.2%
5時40分	2	0.4%	8時10分	11	2.4%	12時30分	1	0.2%
5時45分	1	0.2%	8時15分	25	5.5%	12時35分	1	0.2%
5時55分	1	0.2%	8時20分	21	4.6%	12時40分	1	0.2%
5時58分	1	0.2%	8時25分	11	2.4%	12時45分	2	0.4%
6時00分	1	0.2%	8時30分	8	1.8%	12時50分	1	0.2%
6時10分	1	0.2%	8時31分	1	0.2%	13時00分	2	0.4%
6時15分	3	0.7%	8時35分	3	0.7%	13時30分	1	0.2%
6時20分	2	0.4%	8時36分	1	0.2%	13時40分	1	0.2%
6時25分	1	0.2%	8時40分	9	2.0%	13時45分	1	0.2%
6時30分	4	0.9%	8時45分	11	2.4%	14時00分	1	0.2%
6時35分	2	0.4%	8時50分	5	1.1%	14時15分	1	0.2%
6時40分	3	0.7%	8時55分	4	0.9%	15時00分	1	0.2%
6時45分	4	0.9%	8時57分	1	0.2%	15時30分	2	0.4%
6時50分	2	0.4%	9時00分	18	4.0%	16時00分	1	0.2%
6時55分	1	0.2%	9時07分	1	0.2%	16時30分	1	0.2%
7時00分	7	1.5%	9時10分	3	0.7%	16時50分	1	0.2%
7時05分	1	0.2%	9時15分	3	0.7%	17時00分	2	0.4%
7時10分	10	2.2%	9時20分	2	0.4%	17時30分	1	0.2%
7時14分	1	0.2%	9時30分	5	1.1%	18時00分	1	0.2%
7時15分	4	0.9%	9時35分	1	0.2%	18時20分	1	0.2%
7時16分	1	0.2%	9時40分	4	0.9%	19時30分	1	0.2%
7時20分	15	3.3%	9時45分	3	0.7%	20時00分	1	0.2%
7時25分	5	1.1%	9時50分	3	0.7%	20時10分	1	0.2%
7時30分	18	4.0%	9時55分	2	0.4%	21時50分	1	0.2%
7時35分	17	3.8%	10時00分	2	0.4%	2分	1	0.2%
7時38分	2	0.4%	10時05分	1	0.2%	8時00分、16時50分	1	0.2%
7時40分	19	4.2%	10時20分	1	0.2%	無回答	20	4.4%
7時42分	2	0.4%	10時30分	3	0.7%	合計	453	100.0%
7時45分	11	2.4%	11時00分	3	0.7%			

（9）【問 15-2-1】普段、自宅に帰る際に通勤・通学先を出発する時間※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・普段、自宅に帰る際に通勤・通学先を出発する時間では、「17 時 00 分」、「18 時 00 分」が 11.0%（50 人）と最も高く、次いで「17 時 30 分」が 7.3%（33 人）と続いている。

表　普段、自宅に帰る際に通勤・通学先を出発する時間

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
4時30分	1	0.2%	15時15分	1	0.2%	18時00分	50	11.0%
5時00分	1	0.2%	15時20分	1	0.2%	18時05分	1	0.2%
6時00分	2	0.4%	15時30分	7	1.5%	18時15分	4	0.9%
7時30分	2	0.4%	15時40分	4	0.9%	18時20分	1	0.2%
8時00分	2	0.4%	15時45分	2	0.4%	18時30分	20	4.4%
8時30分	1	0.2%	15時55分	1	0.2%	18時50分	2	0.4%
9時00分	6	1.3%	16時00分	24	5.3%	19時00分	25	5.5%
9時30分	1	0.2%	16時10分	2	0.4%	19時10分	1	0.2%
9時40分	1	0.2%	16時15分	6	1.3%	19時15分	3	0.7%
10時00分	3	0.7%	16時20分	4	0.9%	19時20分	1	0.2%
10時30分	1	0.2%	16時30分	12	2.6%	19時30分	4	0.9%
10時50分	1	0.2%	16時35分	2	0.4%	19時40分	1	0.2%
11時00分	5	1.1%	16時40分	3	0.7%	19時45分	3	0.7%
11時30分	2	0.4%	16時45分	3	0.7%	20時00分	14	3.1%
12時00分	8	1.8%	16時50分	2	0.4%	20時10分	2	0.4%
12時05分	1	0.2%	17時00分	50	11.0%	20時30分	2	0.4%
12時10分	1	0.2%	17時05分	3	0.7%	21時00分	2	0.4%
12時20分	1	0.2%	17時10分	14	3.1%	21時10分	1	0.2%
12時35分	2	0.4%	17時12分	1	0.2%	21時30分	1	0.2%
12時50分	1	0.2%	17時15分	11	2.4%	21時45分	1	0.2%
13時00分	4	0.9%	17時20分	14	3.1%	22時00分	1	0.2%
13時30分	2	0.4%	17時30分	33	7.3%	23時00分	1	0.2%
14時00分	8	1.8%	17時40分	4	0.9%	0時00分	1	0.2%
14時30分	5	1.1%	17時45分	4	0.9%	0時00分	1	0.2%
14時35分	1	0.2%	17時50分	4	0.9%	17時00分、8時15分	1	0.2%
15時00分	11	2.4%	17時55分	1	0.2%	無回答	18	4.0%
15時05分	1	0.2%	17時58分	1	0.2%	合計	453	100.0%
15時10分	2	0.4%						

（１０）【問 15-2-2】普段、自宅に到着する時間※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・普段、自宅に到着する時間では、「18 時 00 分」が 7.5%（34 人）と最も高く、次いで「18 時 30 分」が 4.9%（22 人）と続いている。

表　普段、自宅に到着する時間

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
4時40分	1	0.2%	14時30分	1	0.2%	18時05分	10	2.2%
5時10分	1	0.2%	14時40分	1	0.2%	18時10分	7	1.5%
7時00分	1	0.2%	14時45分	3	0.7%	18時15分	5	1.1%
7時50分	1	0.2%	14時50分	1	0.2%	18時20分	12	2.6%
8時05分	1	0.2%	15時00分	4	0.9%	18時25分	1	0.2%
8時40分	1	0.2%	15時10分	3	0.7%	18時30分	22	4.9%
9時08分	1	0.2%	15時20分	1	0.2%	18時35分	3	0.7%
9時10分	1	0.2%	15時25分	1	0.2%	18時40分	6	1.3%
9時15分	1	0.2%	15時30分	2	0.4%	18時45分	7	1.5%
9時30分	1	0.2%	15時40分	1	0.2%	18時50分	2	0.4%
9時45分	1	0.2%	15時45分	4	0.9%	19時00分	20	4.4%
10時00分	2	0.4%	15時50分	2	0.4%	19時05分	2	0.4%
10時15分	2	0.4%	16時00分	9	2.0%	19時10分	9	2.0%
10時30分	1	0.2%	16時01分	1	0.2%	19時15分	7	1.5%
10時45分	1	0.2%	16時10分	4	0.9%	19時20分	5	1.1%
11時00分	2	0.4%	16時15分	2	0.4%	19時25分	2	0.4%
11時05分	2	0.4%	16時20分	6	1.3%	19時30分	4	0.9%
11時15分	1	0.2%	16時30分	6	1.3%	19時45分	1	0.2%
11時30分	1	0.2%	16時35分	2	0.4%	19時50分	2	0.4%
11時40分	1	0.2%	16時40分	3	0.7%	19時55分	1	0.2%
12時00分	1	0.2%	16時43分	1	0.2%	20時00分	12	2.6%
12時10分	4	0.9%	16時45分	5	1.1%	20時05分	1	0.2%
12時15分	1	0.2%	16時50分	5	1.1%	20時10分	5	1.1%
12時30分	5	1.1%	17時00分	12	2.6%	20時15分	3	0.7%
12時35分	1	0.2%	17時01分	2	0.4%	20時20分	2	0.4%
12時40分	1	0.2%	17時05分	7	1.5%	20時30分	7	1.5%
12時42分	1	0.2%	17時10分	8	1.8%	21時00分	2	0.4%
12時45分	1	0.2%	17時15分	9	2.0%	21時15分	1	0.2%
12時50分	1	0.2%	17時19分	1	0.2%	21時20分	1	0.2%
13時10分	2	0.4%	17時20分	10	2.2%	21時30分	2	0.4%
13時20分	1	0.2%	17時25分	8	1.8%	21時45分	1	0.2%
13時25分	1	0.2%	17時30分	21	4.6%	22時00分	3	0.7%
13時30分	1	0.2%	17時35分	3	0.7%	22時10分	1	0.2%
13時40分	1	0.2%	17時40分	10	2.2%	23時30分	1	0.2%
14時05分	1	0.2%	17時45分	7	1.5%	17時40分、8時45分	1	0.2%
14時10分	1	0.2%	17時50分	9	2.0%	2分	1	0.2%
14時15分	2	0.4%	17時55分	1	0.2%	無回答	20	4.4%
14時20分	1	0.2%	18時00分	34	7.5%	合計	453	100.0%

（１１）【問 16】通勤・通学するときの交通手段※【問 12】で「通勤をしている」,「通学をしている」を答えた人のみ

・通勤・通学するときの交通手段では、「自家用車（自分で運転）」が 78.8%（357 人）と最も高く、次いで「徒歩」が 11.0%（50 人）と続いている。

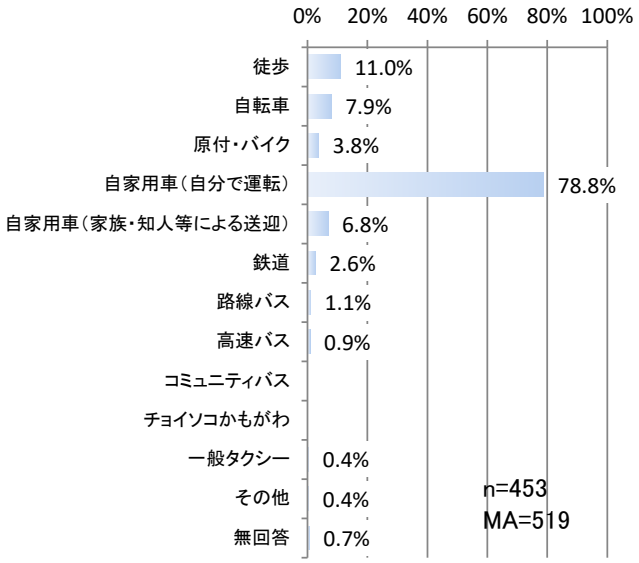


図　通勤・通学するときの交通手段

表　通勤・通学するときの交通手段

	回答数	割合
徒歩	50	11.0%
自転車	36	7.9%
原付・バイク	17	3.8%
自家用車（自分で運転）	357	78.8%
自家用車（家族・知人等による送迎）	31	6.8%
鉄道	12	2.6%
路線バス	5	1.1%
高速バス	4	0.9%
コミュニティバス	0	0.0%
チョイソコかもがわ	0	0.0%
一般タクシー	2	0.4%
その他	2	0.4%
無回答	3	0.7%
合計	519	114.6%

5-4 鉄道の利用に関すること

（1）【問 17】鉄道の利用頻度

・鉄道の利用頻度では、「利用しない」が 61.6%（601 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 22.9%（223 人）と続いている。

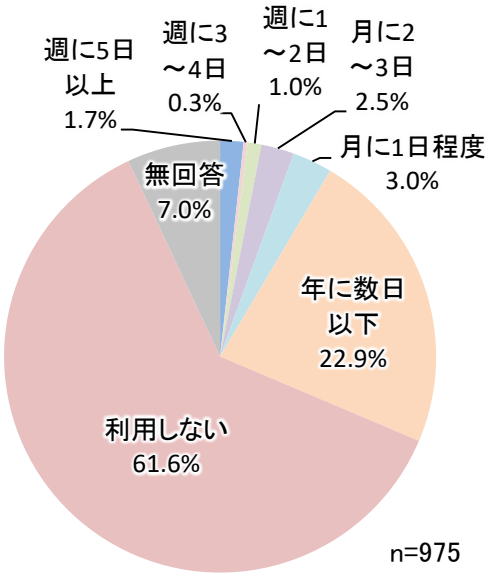


図　鉄道の利用頻度

表　鉄道の利用頻度

	回答数	割合
週に5日以上	17	1.7%
週に3～4日	3	0.3%
週に1～2日	10	1.0%
月に2～3日	24	2.5%
月に1日程度	29	3.0%
年に数日以下	223	22.9%
利用しない	601	61.6%
無回答	68	7.0%
合計	975	100.0%

（2）【問 18-1】自宅から鉄道を利用して移動するときの主な乗車駅※【問 17】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・自宅から鉄道を利用して移動するときの主な乗車駅では、「安房鴨川駅」が 61.4%（188 人）と最も高く、次いで「安房小湊駅」が 10.8%（33 人）と続いている。

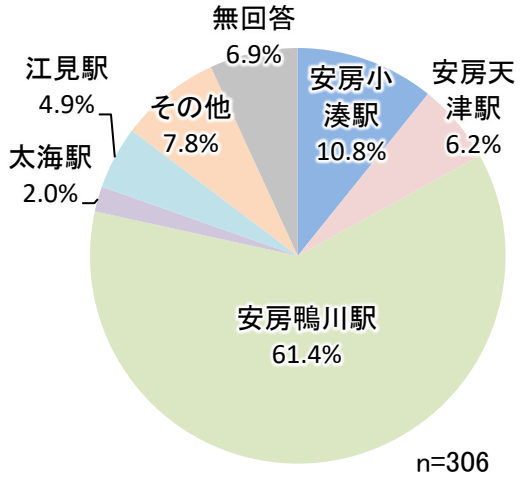


図　自宅から鉄道を利用して移動するときの主な乗車駅

表　自宅から鉄道を利用して移動するときの主な乗車駅

	回答数	割合
安房小湊駅	33	10.8%
安房天津駅	19	6.2%
安房鴨川駅	188	61.4%
太海駅	6	2.0%
江見駅	15	4.9%
その他	24	7.8%
無回答	21	6.9%
合計	306	100.0%

（3）【問 18-2】自宅から鉄道を利用して移動するときの主な降車駅※【問 17】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・自宅から鉄道を利用して移動するときの主な降車駅では、「その他」が 47.4%（145 人）と最も高く、次いで「安房鴨川駅」が 31.7%（97 人）と続いている。

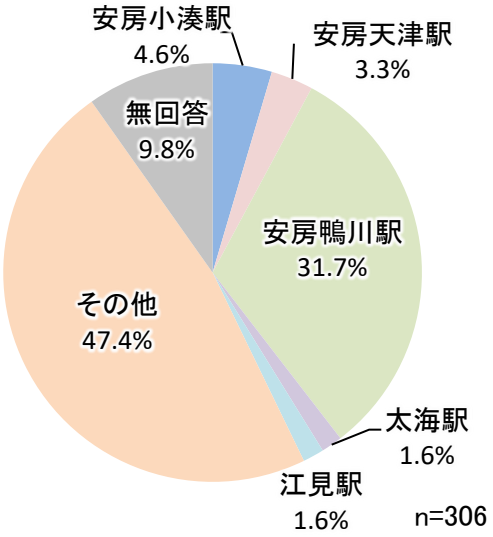


図　自宅から鉄道を利用して移動するときの主な降車駅

表　自宅から鉄道を利用して移動するときの主な降車駅

	回答数	割合
安房小湊駅	14	4.6%
安房天津駅	10	3.3%
安房鴨川駅	97	31.7%
太海駅	5	1.6%
江見駅	5	1.6%
その他	145	47.4%
無回答	30	9.8%
合計	306	100.0%

（4）【問 19-1】自宅から乗車駅までの交通手段※【問 17】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・自宅から乗車駅までの交通手段では、「自家用車（自分で運転）」が 43.8%（134 人）と最も高く、次いで「徒歩」が 33.3%（102 人）と続いている。

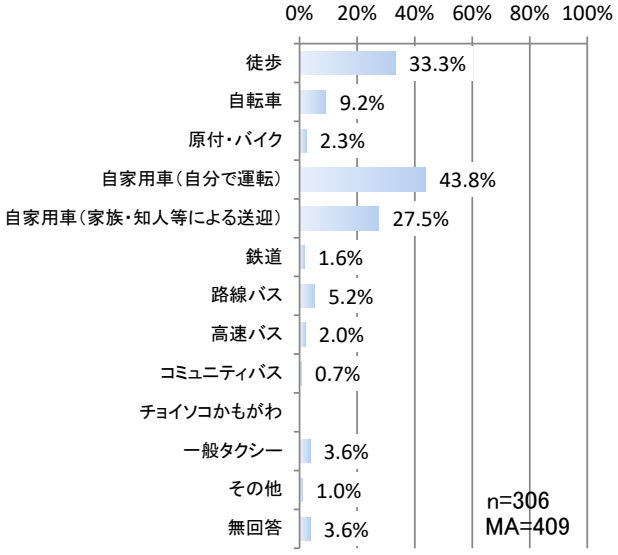


図　自宅から乗車駅までの交通手段

表　自宅から乗車駅までの交通手段

	回答数	割合
徒歩	102	33.3%
自転車	28	9.2%
原付・バイク	7	2.3%
自家用車（自分で運転）	134	43.8%
自家用車（家族・知人等による送迎）	84	27.5%
鉄道	5	1.6%
路線バス	16	5.2%
高速バス	6	2.0%
コミュニティバス	2	0.7%
チョイソコかもがわ	0	0.0%
一般タクシー	11	3.6%
その他	3	1.0%
無回答	11	3.6%
合計	409	133.7%

（5）【問 19-2】降車駅から最終目的地までの交通手段※【問 17】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・降車駅から最終目的地までの交通手段では、「徒歩」が 51.0%（156 人）と最も高く、次いで「鉄道」が 16.7%（51 人）と続いている。

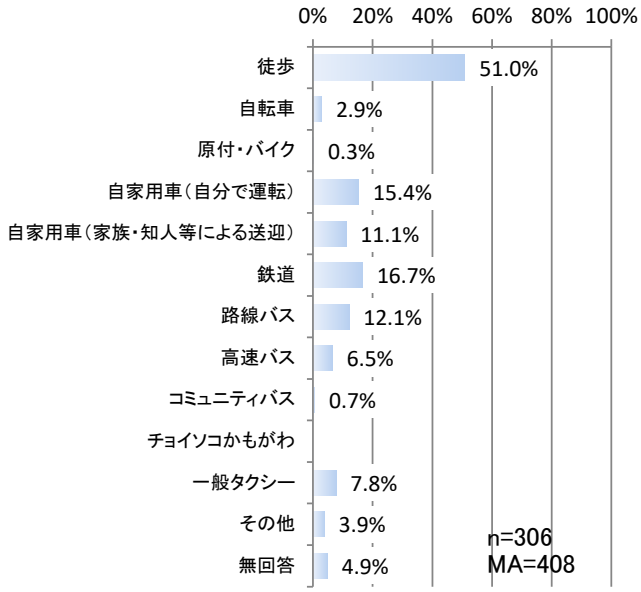


図　降車駅から最終目的地までの交通手段

表　降車駅から最終目的地までの交通手段

	回答数	割合
徒歩	156	51.0%
自転車	9	2.9%
原付・バイク	1	0.3%
自家用車（自分で運転）	47	15.4%
自家用車（家族・知人等による送迎）	34	11.1%
鉄道	51	16.7%
路線バス	37	12.1%
高速バス	20	6.5%
コミュニティバス	2	0.7%
チョイソコかもがわ	0	0.0%
一般タクシー	24	7.8%
その他	12	3.9%
無回答	15	4.9%
合計	408	133.3%

（6）【問 20】鉄道を利用する目的※【問 17】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・鉄道を利用する目的では、「レジャー」が 51.3%（157 人）と最も高く、次いで「その他」が 19.6%（60 人）と続いている。

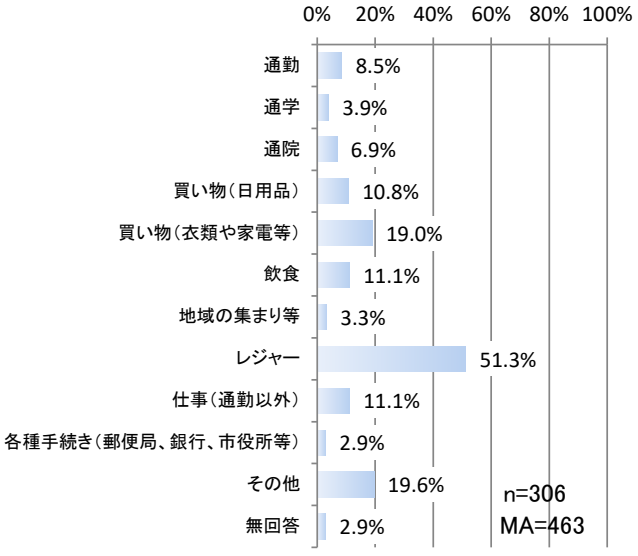


図　鉄道を利用する目的

表　鉄道を利用する目的

	回答数	割合
通勤	26	8.5%
通学	12	3.9%
通院	21	6.9%
買い物（日用品）	33	10.8%
買い物（衣類や家電等）	58	19.0%
飲食	34	11.1%
地域の集まり等	10	3.3%
レジャー	157	51.3%
仕事（通勤以外）	34	11.1%
各種手続き（郵便局、銀行、市役所等）	9	2.9%
その他	60	19.6%
無回答	9	2.9%
合計	463	151.3%

5-5 路線バスの利用に関すること

（1）【問 21】路線バスの利用頻度

・路線バスの利用頻度では、「利用しない」が 80.1%（781 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 8.3%（81 人）と続いている。

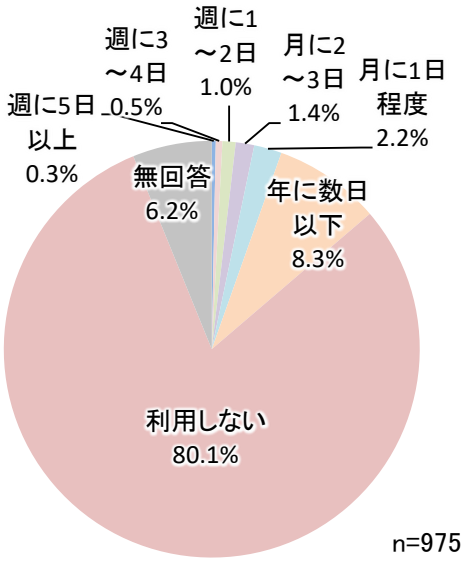


図　路線バスの利用頻度

表　路線バスの利用頻度

	回答数	割合
週に5日以上	3	0.3%
週に3～4日	5	0.5%
週に1～2日	10	1.0%
月に2～3日	14	1.4%
月に1日程度	21	2.2%
年に数日以下	81	8.3%
利用しない	781	80.1%
無回答	60	6.2%
合計	975	100.0%

（2）【問 22-1】路線バスで最もよく利用する路線※【問 21】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・路線バスで最もよく利用する路線では、「鴨川市内線（仁右衛門島入口～鴨川駅～誕生寺入口）」が 46.3%（62 人）と最も高く、次いで「長狭線（亀田病院～鴨川駅～平塚本郷）」が 24.6%（33 人）と続いている。

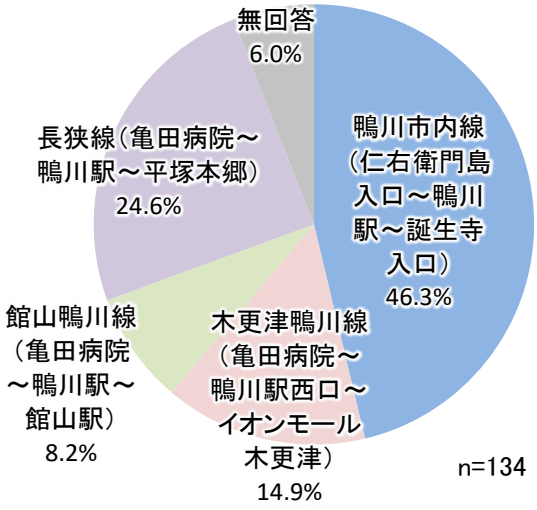


図　路線バスで最もよく利用する路線

表　路線バスで最もよく利用する路線

	回答数	割合
鴨川市内線（仁右衛門島入口～鴨川駅～誕生寺入口）	62	46.3%
木更津鴨川線（亀田病院～鴨川駅西口～イオンモール木更津）	20	14.9%
館山鴨川線（亀田病院～鴨川駅～館山駅）	11	8.2%
長狭線（亀田病院～鴨川駅～平塚本郷）	33	24.6%
無回答	8	6.0%
合計	134	100.0%

（3）【問 22-2-1】路線バスで最もよく利用する区間の乗車バス停名※【問 21】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・路線バスで最もよく利用する区間の乗車バス停名では、「亀田病院」が 19 人と最も多く、次いで「鴨川駅前」が 10 人と続いている。

表　路線バスで最もよく利用する区間の乗車バス停名

	回答数		回答数
亀田病院	19	御園	1
鴨川駅前	10	小湊駅前	1
川口	4	市役所前	1
主基駅	4	長狭公民館	1
太海駅前	4	仲宿	1
貝渚橋	3	日澄寺前	1
誕生寺入口	3	日東交通前	1
二軒家	3	平塚本郷	1
安房鴨川駅	3	ヤエム坂	1
鴨川駅（東口）	3	加茂川橋	1
石見堂下	2	河岸坂上	1
引土	2	吉保	1
江見中原	2	漁港入口	1
鴨川小前	2	広場	1
坂東	2	江見駅入口	1
曽呂入口	2	国保病院前	1
追分	2	坂下	1
天津駅前	2	小湊海水浴場入口	1
野田	2	城崎海岸	1
新谷前	2	仁石衛門島入口	1
大浦	2	西川	1
仲村	2	総合運動場	1
長狭中前	2	大幡	1
福祉センター前	2	長狭局前	1
大山公民館	1	長狭高前	1
鴨川市役所入口	1	房州大橋	1
旧小湊小前	1	薬師堂	1
倉の台	1		

（4）【問 22-2-2】路線バスで最もよく利用する区間の降車バス停名※【問 21】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・路線バスで最もよく利用する区間の降車バス停名では、「亀田病院」が 31 人と最も多く、次いで「鴨川駅前」が 22 人と続いている。

表　路線バスで最もよく利用する区間の降車バス停名

	回答数
亀田病院	31
鴨川駅前	22
鴨川駅（東口）	11
イオンモール木更津	5
木更津駅西口	4
鴨川駅東口	4
国保病院前	3
長狭高前	3
鴨川小前	2
大浦	2
石見堂下	1
引土	1
鴨川シーワールド	1
城崎沿岸	1
日澄寺前	1
漁港入口	1
小湊駅前	1
須賀神社	1
川口	1
太海駅前	1
誕生寺入口	1
安房鴨川駅	1
鴨川市役所入口	1
加茂川橋	1
鴨川警察署前	1
江見駅入口	1
和田浦駅入口	1
鴨川駅、安房医療センター	1
貝渚橋	1
国際病院	1
西川	1
追分	1
市役所前	1
鴨川駅	1

（5）【問 23】路線バスを利用する目的※【問 21】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・路線バスを利用する目的では、「通院」が 50.0%（67 人）と最も高く、次いで「買い物（日用品）」が 24.6%（33 人）と続いている。

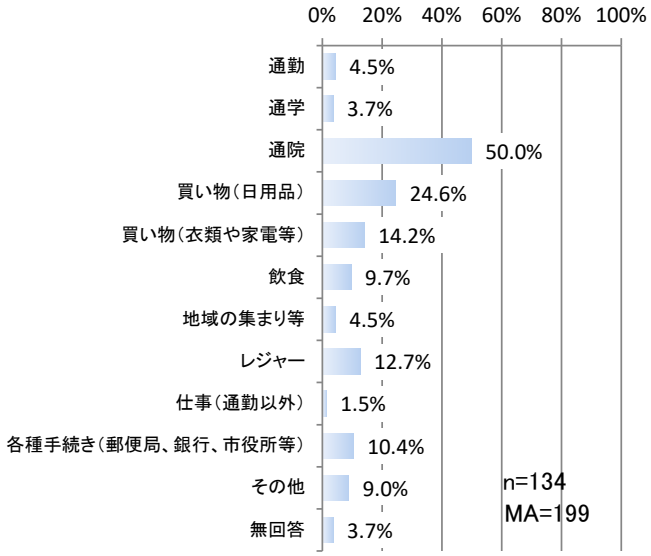


図　路線バスを利用する目的

表　路線バスを利用する目的

	回答数	割合
通勤	6	4.5%
通学	5	3.7%
通院	67	50.0%
買い物（日用品）	33	24.6%
買い物（衣類や家電等）	19	14.2%
飲食	13	9.7%
地域の集まり等	6	4.5%
レジャー	17	12.7%
仕事（通勤以外）	2	1.5%
各種手続き（郵便局、銀行、市役所等）	14	10.4%
その他	12	9.0%
無回答	5	3.7%
合計	199	148.5%

5-6 高速バスの利用に関すること

（1）【問 24】高速バスの利用頻度

・高速バスの利用頻度では、「利用しない」が 47.7%（465 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 34.8%（339 人）と続いている。

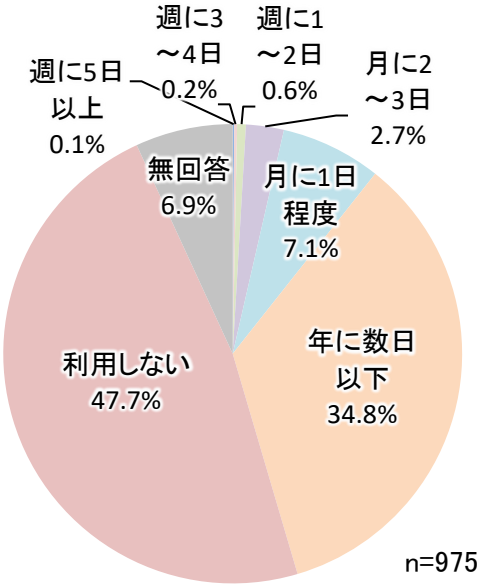


図　高速バスの利用頻度

表　高速バスの利用頻度

	回答数	割合
週に5日以上	1	0.1%
週に3～4日	2	0.2%
週に1～2日	6	0.6%
月に2～3日	26	2.7%
月に1日程度	69	7.1%
年に数日以下	339	34.8%
利用しない	465	47.7%
無回答	67	6.9%
合計	975	100.0%

（2）【問 25-1】高速バスで最もよく利用する路線※【問 24】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・高速バスで最もよく利用する路線では、「鴨川東京線（アクシー号）」が 76.3%（338 人）と最も高く、次いで「鴨川千葉線（カピーナ号）」が 12.4%（55 人）と続いている。

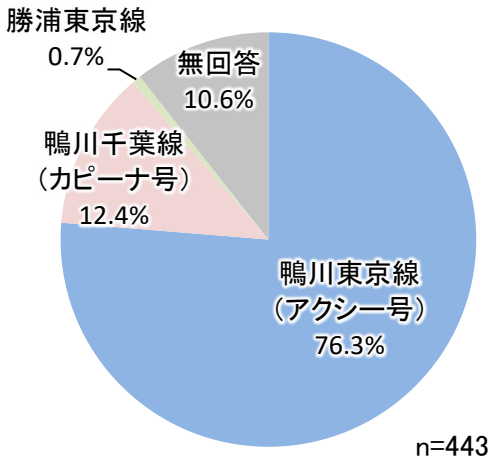


図　高速バスで最もよく利用する路線

表　高速バスで最もよく利用する路線

	回答数	割合
鴨川東京線（アクシー号）	338	76.3%
鴨川千葉線（カピーナ号）	55	12.4%
勝浦東京線	3	0.7%
無回答	47	10.6%
合計	443	100.0%

（3）【問 25-2-1】高速バスで最もよく利用する区間の乗車バス停名※【問 24】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・高速バスで最もよく利用する区間の乗車バス停名では、「安房鴨川駅」が 175 人と最も多く、次いで「亀田病院」が 45 人と続いている。

表　高速バスで最もよく利用する区間の乗車バス停名

	回答数
安房鴨川駅	175
亀田病院	45
福祉センター前	32
鴨川市役所入口	23
木更津金田バスターミナル	14
君津バスターミナル	10
ふれあいセンター前	9
鴨川	7
君津	5
長狭地区公民館	5
鴨川シーワールド	4
みんなみの里	4
金田	4
パークウェルステイト鴨川	3
袖ヶ浦バスターミナル	3
大山千枚田入口	2
鴨川駅	2
東京	2
富楽里	2
金田、君津、袖ヶ浦	1
亀田総合病院～鴨川駅	1
鴨川駅前又は袖ヶ浦バスターミナル	1
木更津	1
千葉	1
ハイウェイオアシス富楽里	1
ふれあいセンター	1
駅	1
君津BT、金田BT	1
君津ふるさと物産館	1
小湊	1
大山	1
大日	1
大目小学校下	1
誕生寺入口	1
長狭学園西門前	1
福祉タクシー前	1

（4）【問 25-2-2】高速バスで最もよく利用する区間の降車バス停名※【問 24】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・高速バスで最もよく利用する区間の降車バス停名では、「バスターミナル東京八重洲」が 222 人と最も多く、次いで「安房鴨川駅」が 37 人と続いている。

表　高速バスで最もよく利用する区間の降車バス停名

	回答数
バスターミナル東京八重洲	222
安房鴨川駅	37
千葉駅	26
福祉センター前	13
鴨川市役所入口	7
亀田病院	6
東京	5
木更津金田バスターミナル	5
千葉	4
東京駅	4
ふれあいセンター前	3
県庁	3
袖ヶ浦バスターミナル	2
横浜	2
鴨川シーワールド	2
蘇我駅	2
長狭地区公民館	2
色々	1
木更津駅	1
新宿	1
バスタ新宿	1
みんなみの里又は福祉センター前	1
横浜、東京	1
羽田空港	1
駅	1
横浜駅	1
鴨川	1
丸ノ内	1
金田	1
君津駅	1
川崎駅	1
袖ヶ浦	1
大山	1
大目小学校下	1
東京or千葉	1
木更津	1

（5）【問 26】高速バスを利用する目的※【問 24】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・高速バスを利用する目的では、「レジャー」が 53.3%（236 人）と最も高く、次いで「買い物（衣類や家電等）」が 23.5%（104 人）と続いている。

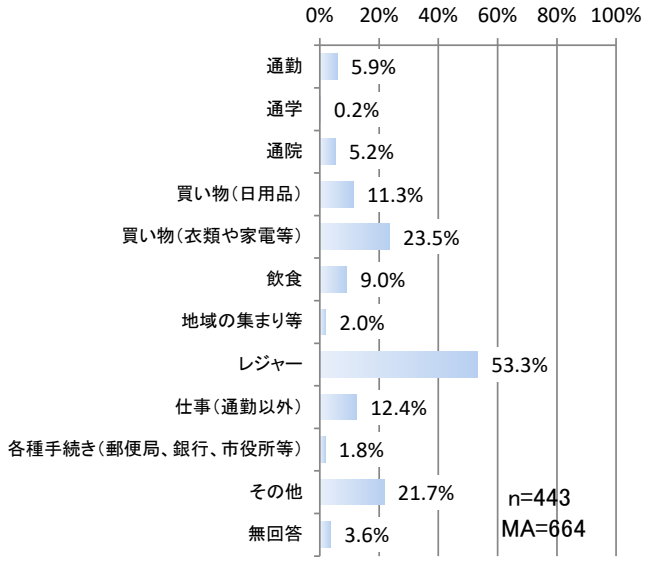


図　高速バスを利用する目的

表　高速バスを利用する目的

	回答数	割合
通勤	26	5.9%
通学	1	0.2%
通院	23	5.2%
買い物（日用品）	50	11.3%
買い物（衣類や家電等）	104	23.5%
飲食	40	9.0%
地域の集まり等	9	2.0%
レジャー	236	53.3%
仕事（通勤以外）	55	12.4%
各種手続き（郵便局、銀行、市役所等）	8	1.8%
その他	96	21.7%
無回答	16	3.6%
合計	664	149.9%

5-7 コミュニティバスの利用に関すること

（1）【問 27】コミュニティバスの利用頻度

・コミュニティバスの利用頻度では、「利用しない」が 90.8%（885 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 1.2%（12 人）と続いている。

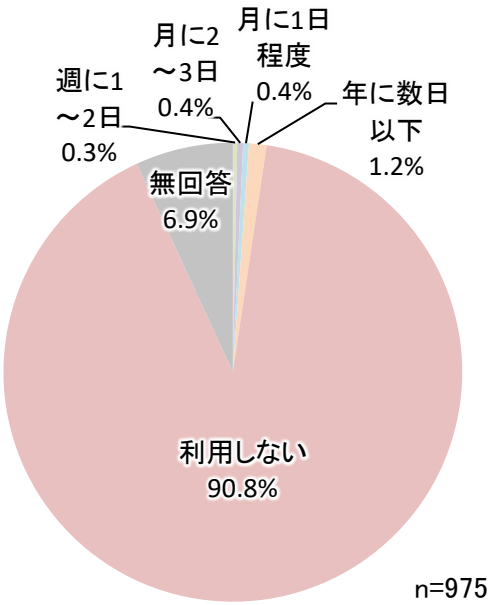


図　コミュニティバスの利用頻度

表　コミュニティバスの利用頻度

	回答数	割合
週に5日以上	0	0.0%
週に3～4日	0	0.0%
週に1～2日	3	0.3%
月に2～3日	4	0.4%
月に1日程度	4	0.4%
年に数日以下	12	1.2%
利用しない	885	90.8%
無回答	67	6.9%
合計	975	100.0%

（2）【問 28-1】コミュニティバスで最もよく利用する区間の乗車バス停名※【問 27】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・コミュニティバスで最もよく利用する区間の乗車バス停名では、「鴨川駅西口」が４人と最も多く、次いで「上人塚」、「福祉センター」が２人と続いている。

表　コミュニティバスで最もよく利用する区間の乗車バス停名

	回答数
鴨川駅西口	4
上人塚	2
福祉センター	2
大山公民館前	1
境	1
パークウェルステイト	1
東町	1
東町分譲地	1
亀田病院	1
鴨川自動車教習所	1
高溝	1
打墨地区内	1

（3）【問 28-2】コミュニティバスで最もよく利用する区間の降車バス停名※【問 27】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・コミュニティバスで最もよく利用する区間の降車バス停名では、「鴨川駅西口」が 11 人と最も多く、次いで「亀田病院」が２人と続いている。

表　コミュニティバスで最もよく利用する区間の降車バス停名

	回答数
鴨川駅西口	11
亀田病院	2
東京	1
東京駅	1
ふれあいセンター	1
貝渚橋	1
長狭高前	1

（4）【問 29-1】目的地に行くときに最もよく利用する乗車時間※【問 27】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・目的地に行くときに最もよく利用する乗車時間では、「9 時 00 分」、「10 時 00 分」が 13.0%（3 人）と最も高くなっている。

表　目的地に行くときに最もよく利用する乗車時間

	回答数	割合
8時26分	1	4.3%
8時36分	1	4.3%
9時00分	3	13.0%
9時02分	1	4.3%
10時00分	3	13.0%
10時34分	1	4.3%
10時44分	1	4.3%
16時32分	1	4.3%
0時00分	1	4.3%
8時	1	4.3%
9時	1	4.3%
14時	1	4.3%
無回答	7	30.4%
合計	23	100.0%

（5）【問 29-2】目的地から帰るときに最もよく利用する乗車時間※【問 27】で「週に 5 日以上」，「週に 3～4 日」，「週に 1～2 日」，「月に 2～3 日」，「月に 1 日程度」，「年に数日以下」を答えた人のみ

・目的地から帰るときに最もよく利用する乗車時間では、「11 時 00 分」、「15 時 00 分」が 8.7%（2 人）と最も高くなっている。

表　目的地から帰るときに最もよく利用する乗車時間

	回答数	割合
11時00分	2	8.7%
12時13分	1	4.3%
13時00分	1	4.3%
13時15分	1	4.3%
15時00分	2	8.7%
16時17分	1	4.3%
16時30分	1	4.3%
17時10分	1	4.3%
21時00分	1	4.3%
0時00分	1	4.3%
15時	1	4.3%
17時	1	4.3%
無回答	9	39.1%
合計	23	100.0%

（6）【問 30】コミュニティバスを利用する目的※【問 27】で「週に 5 日以上」，「週に 3～4 日」，「週に 1～2 日」，「月に 2～3 日」，「月に 1 日程度」，「年に数日以下」を答えた人のみ

・コミュニティバスを利用する目的では、「通院」が 47.8%（11 人）と最も高く、次いで「買い物（日用品）」が 34.8%（8 人）と続いている。

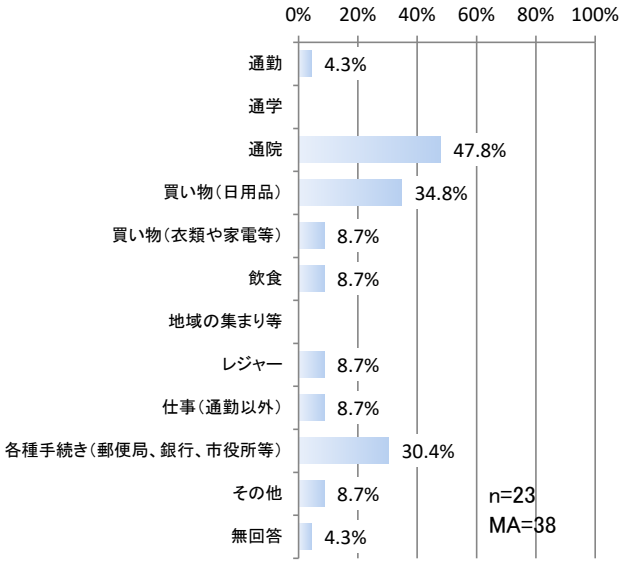


図　コミュニティバスを利用する目的

表　コミュニティバスを利用する目的

	回答数	割合
通勤	1	4.3%
通学	0	0.0%
通院	11	47.8%
買い物（日用品）	8	34.8%
買い物（衣類や家電等）	2	8.7%
飲食	2	8.7%
地域の集まり等	0	0.0%
レジャー	2	8.7%
仕事（通勤以外）	2	8.7%
各種手続き（郵便局、銀行、市役所等）	7	30.4%
その他	2	8.7%
無回答	1	4.3%
合計	38	165.2%

5-8 タクシーの利用に関すること

（1）【問 31】タクシーの利用頻度

・タクシーの利用頻度では、「利用しない」が 75.3%（734 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 12.5%（122 人）と続いている。

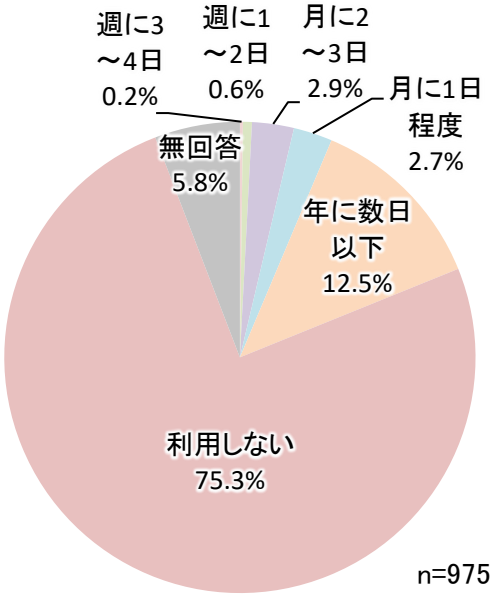


図　タクシーの利用頻度

表　タクシーの利用頻度

	回答数	割合
週に5日以上	0	0.0%
週に3～4日	2	0.2%
週に1～2日	6	0.6%
月に2～3日	28	2.9%
月に1日程度	26	2.7%
年に数日以下	122	12.5%
利用しない	734	75.3%
無回答	57	5.8%
合計	975	100.0%

（2）【問 32-1】タクシーで最もよく利用する区間の乗車場所※【問 31】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・タクシーで最もよく利用する区間の乗車場所では、「自宅」が 82 人と最も多く、次いで「安房鴨川駅」が 43 人と続いている。

表　タクシーで最もよく利用する区間の乗車場所

	回答数		回答数
自宅	82	東条病院	1
安房鴨川駅	43	西口	1
亀田病院	12	横渚	1
飲食店	8	飲食店、自宅	1
イオン鴨川店	5	駅	1
会社	2	居酒屋	1
鴨川市内	2	広場	1
パークウェルステイト鴨川	2	実家	1
鴨川駅周辺	2	小田病院	1
鴨川総合運動場	1	西町、東条小学校の車、自宅	1
自宅、国保病院、買い物	1	無回答	13
スナック次郎長	1	合計	184

（3）【問 32-2】タクシーで最もよく利用する区間の降車場所※【問 31】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・タクシーで最もよく利用する区間の降車場所では、「自宅」が 66 人と最も多く、次いで「亀田病院」が 37 人と続いている。

表　タクシーで最もよく利用する区間の降車場所

	回答数		回答数
自宅	66	パークウェルステイト	1
亀田病院	37	横渚動物病院	1
安房鴨川駅	20	安房天津駅	1
東条病院	4	鴨川	1
病院	4	鴨川消防署	1
鴨川市内	4	鴨川動物病院	1
イオン	2	亀田医療大学	1
居酒屋	2	笹元	1
飲食店	2	市役所	1
祖父母の家	2	自宅、飲食店	1
イオン鴨川・鴨川駅	1	主基	1
小田病院	1	主基駅	1
学校	1	長狭高校	1
鴨川市立国保病院	1	東条・鴨川地区	1
鴨川橋	1	和泉	1
市内勤務地	1	無回答	19
しまむら	1	合計	184

（4）【問 33】タクシーを利用する目的※【問 31】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・タクシーを利用する目的では、「通院」が 41.3%（76 人）と最も高く、次いで「飲食」が 26.6%（49 人）と続いている。

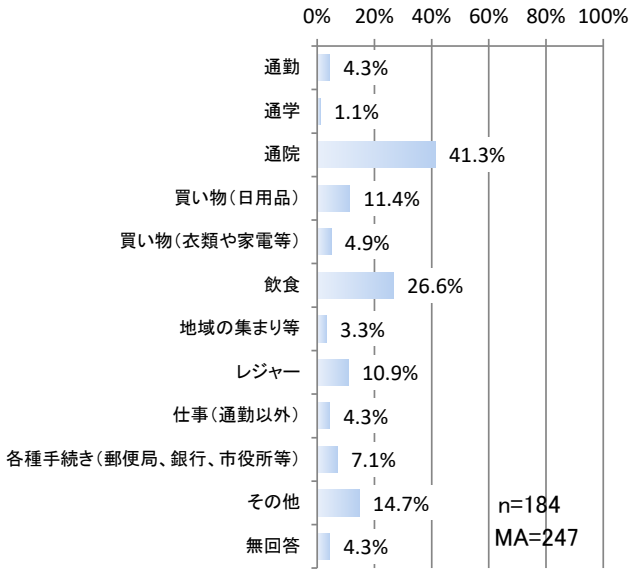


図　タクシーを利用する目的

表　タクシーを利用する目的

	回答数	割合
通勤	8	4.3%
通学	2	1.1%
通院	76	41.3%
買い物（日用品）	21	11.4%
買い物（衣類や家電等）	9	4.9%
飲食	49	26.6%
地域の集まり等	6	3.3%
レジャー	20	10.9%
仕事（通勤以外）	8	4.3%
各種手続き（郵便局、銀行、市役所等）	13	7.1%
その他	27	14.7%
無回答	8	4.3%
合計	247	134.2%

（5）【問 34】タクシーをよく利用する場面※【問 31】で「週に 5 日以上」,「週に 3～4 日」,「週に 1～2 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・タクシーをよく利用する場面では、「飲酒時」が 28.8%（53 人）と最も高く、次いで「その他」が 17.4%（32 人）と続いている。

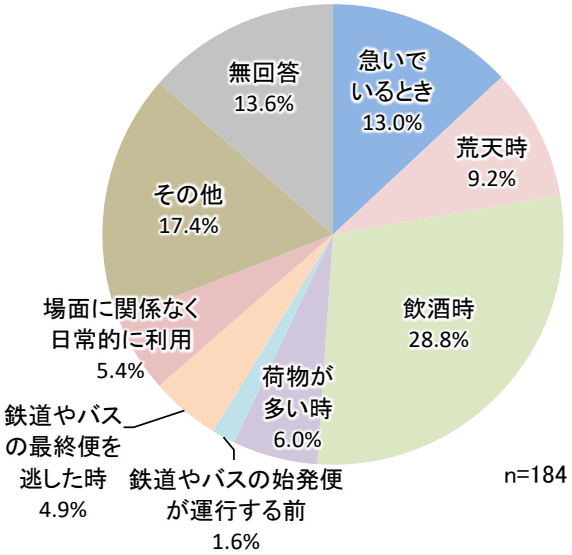


図　タクシーをよく利用する場面

表　タクシーをよく利用する場面

	回答数	割合
急いでいるとき	24	13.0%
荒天時	17	9.2%
飲酒時	53	28.8%
荷物が多い時	11	6.0%
鉄道やバスの始発便が運行する前	3	1.6%
鉄道やバスの最終便を逃した時	9	4.9%
場面に関係なく日常的に利用	10	5.4%
その他	32	17.4%
無回答	25	13.6%
合計	184	100.0%

5-9 チョイソコかもがわの利用に関すること

（1）【問 35】チョイソコかもがわの認知状況

・チョイソコかもがわの認知状況では、「鴨川市で実施しているということは知っている」が 53.9%（526 人）と最も高く、次いで「鴨川市で実施している「チョイソコかもがわ」を知らない」が 29.7%（290 人）と続いている。

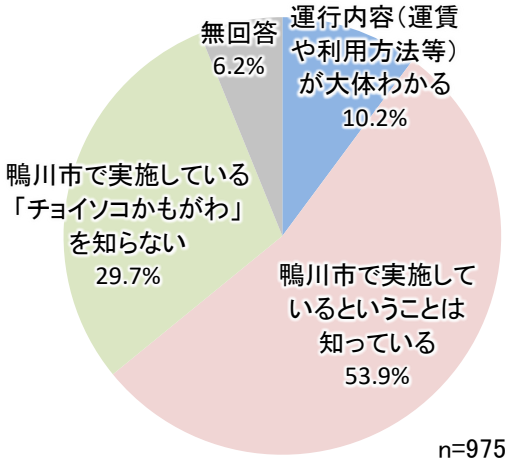


図　チョイソコかもがわの認知状況

表　チョイソコかもがわの認知状況

	回答数	割合
運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる	99	10.2%
鴨川市で実施しているということは知っている	526	53.9%
鴨川市で実施している「チョイソコかもがわ」を知らない	290	29.7%
無回答	60	6.2%
合計	975	100.0%

（2）【問 36】チョイソコかもがわの利用登録状況※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用登録状況では、「利用登録をしていない」が 76.8%（480 人）と最も高く、次いで「利用登録できない（鴨川地域在住のため）」が 10.9%（68 人）と続いている。

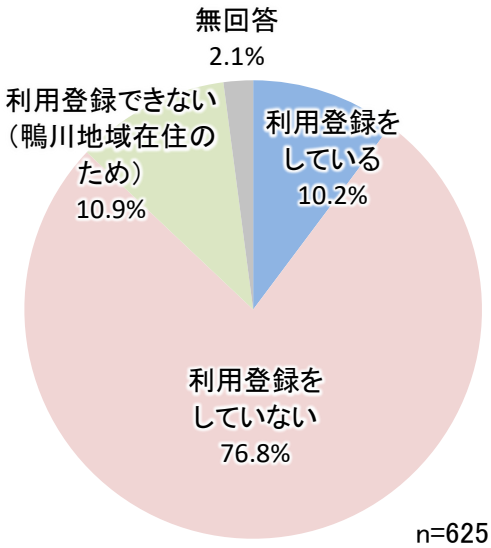


図　チョイソコかもがわの利用登録状況

表　チョイソコかもがわの利用登録状況

	回答数	割合
利用登録をしている	64	10.2%
利用登録をしていない	480	76.8%
利用登録できない（鴨川地域在住のため）	68	10.9%
無回答	13	2.1%
合計	625	100.0%

（3）【問 37】チョイソコかもがわの利用意向※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録できない（鴨川地域在住のため）」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用意向では、「わからない」が 42.6%（29 人）と最も高く、次いで「利用してみたい」が 38.2%（26 人）と続いている。

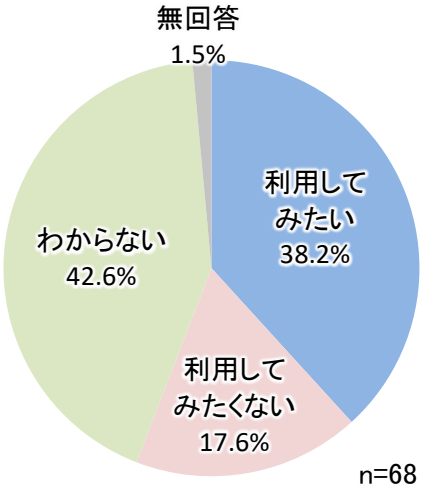


図　チョイソコかもがわの利用意向

表　チョイソコかもがわの利用意向

	回答数	割合
利用してみたい	26	38.2%
利用してみたくない	12	17.6%
わからない	29	42.6%
無回答	1	1.5%
合計	68	100.0%

（4）【問 38】チョイソコかもがわの利用登録をしている地域※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用登録をしている地域では、「長狭地域」が 53.1%（34 人）と最も高く、次いで「江見地域」が 23.4%（15 人）と続いている。

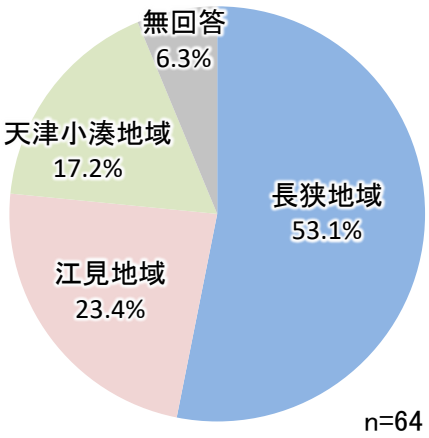


図　チョイソコかもがわの利用登録をしている地域

表　チョイソコかもがわの利用登録をしている地域

	回答数	割合
長狭地域	34	53.1%
江見地域	15	23.4%
天津小湊地域	11	17.2%
無回答	4	6.3%
合計	64	100.0%

（5）【問 39】チョイソコかもがわの利用頻度※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用頻度では、「利用登録はしているが利用していない」が 78.1%（50 人）と最も高く、次いで「年に数日以下」が 10.9%（7 人）と続いている。

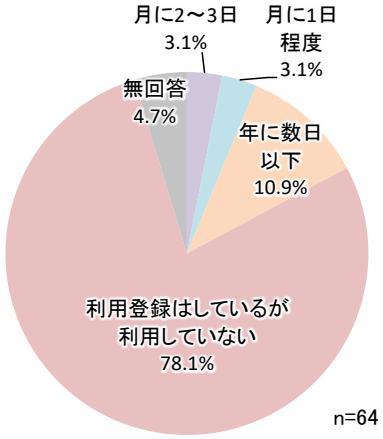


図　チョイソコかもがわの利用頻度

表　チョイソコかもがわの利用頻度

	回答数	割合
週に4日以上	0	0.0%
週に2～3日	0	0.0%
週に1日	0	0.0%
月に2～3日	2	3.1%
月に1日程度	2	3.1%
年に数日以下	7	10.9%
利用登録はしているが利用していない	50	78.1%
無回答	3	4.7%
合計	64	100.0%

（6）【問 40】チョイソコかもがわの利用登録をしているが利用していない理由※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」、【問 39】で「利用登録はしているが利用していない」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用登録をしているが利用していない理由では、「自分で自動車を運転できるため利用する必要がない」が 74.0%（37 人）と最も高く、次いで「いつでも利用できるようにとりあえず利用登録をしている」が 44.0%（22 人）と続いている。

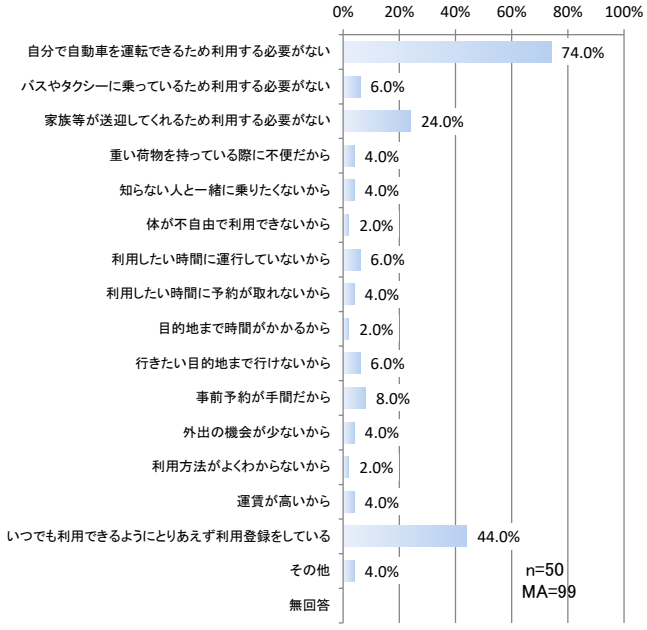


図　チョイソコかもがわの利用登録をしているが利用していない理由

表　チョイソコかもがわの利用登録をしているが利用していない理由

	回答数	割合
自分で自動車を運転できるため利用する必要がない	37	74.0%
バスやタクシーに乗っているため利用する必要がない	3	6.0%
家族等が送迎してくれるため利用する必要がない	12	24.0%
重い荷物を持っている際に不便だから	2	4.0%
知らない人と一緒に乗りたくないから	2	4.0%
体が不自由で利用できないから	1	2.0%
利用したい時間に運行していないから	3	6.0%
利用したい時間に予約が取れないから	2	4.0%
目的地まで時間がかかるから	1	2.0%
行きたい目的地まで行けないから	3	6.0%
事前予約が手間だから	4	8.0%
外出の機会が少ないから	2	4.0%
利用方法がよくわからないから	1	2.0%
運賃が高いから	2	4.0%
いつでも利用できるようにとりあえず利用登録をしている	22	44.0%
その他	2	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	99	198.0%

（7）【問 41-1】最もよく利用する共通乗降場所がある地域※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」、【問 39】で「週に 4 日以上」,「週に 2～3 日」,「週に 1 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・最もよく利用する共通乗降場所がある地域では、「鴨川地域」が 27.3%（3 人）と最も高く、次いで「長狭地域」、「江見地域」が 18.2%（2 人）と続いている。

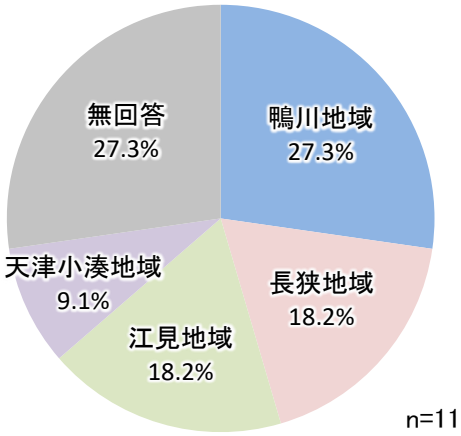


図　最もよく利用する共通乗降場所がある地域

表　最もよく利用する共通乗降場所がある地域

	回答数	割合
鴨川地域	3	27.3%
長狭地域	2	18.2%
江見地域	2	18.2%
天津小湊地域	1	9.1%
無回答	3	27.3%
合計	11	100.0%

（8）【問 41-2】最もよく利用する共通乗降場所名※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」、【問 39】で「週に 4 日以上」,「週に 2～3 日」,「週に 1 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・最もよく利用する共通乗降場所名では、「亀田病院」が 2 人と最も多くなっている。

表　最もよく利用する共通乗降場所名

	回答数
亀田病院	2
ベイシア	1
自宅から	1
清澄寺前～東条病院	1

（9）【問 42】チョイソコかもがわの利用目的※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」、【問 39】で「週に 4 日以上」,「週に 2～3 日」,「週に 1 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用目的では、「通院」が 69.2%（9 人）と最も高くなっている。

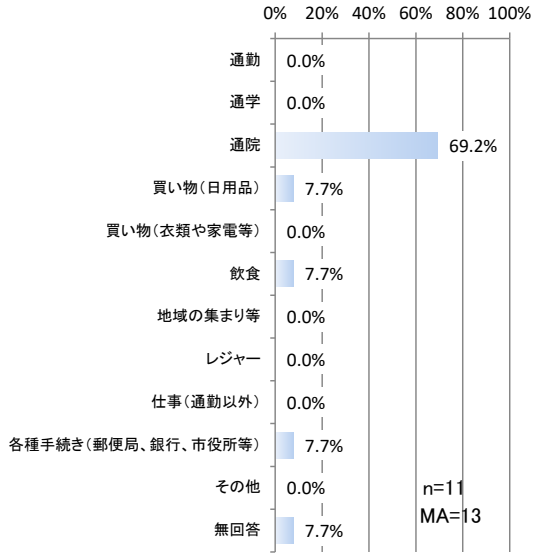


図　チョイソコかもがわの利用目的

表　チョイソコかもがわの利用目的

	回答数	割合
通勤	0	0.0%
通学	0	0.0%
通院	9	69.2%
買い物（日用品）	1	7.7%
買い物（衣類や家電等）	0	0.0%
飲食	1	7.7%
地域の集まり等	0	0.0%
レジャー	0	0.0%
仕事（通勤以外）	0	0.0%
各種手続き（郵便局、銀行、市役所等）	1	7.7%
その他	0	0.0%
無回答	1	7.7%
合計	13	100.0%

（１０）【問 43】チョイソコかもがわの利用開始前の外出手段※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」、【問 39】で「週に 4 日以上」,「週に 2～3 日」,「週に 1 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・チョイソコかもがわの利用開始前の外出手段では、「自家用車（自分で運転）」、「自家用車（家族・知人等による送迎）」、「路線バス」が 21.1%（4 人）と最も高くなっている。

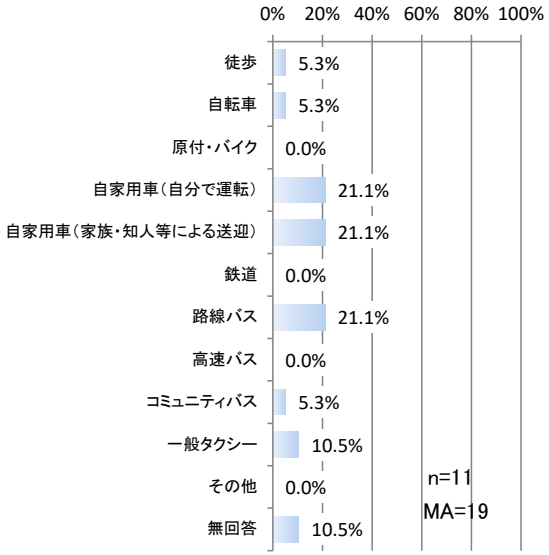


図　チョイソコかもがわの利用開始前の外出手段

表　チョイソコかもがわの利用開始前の外出手段

	回答数	割合
徒歩	1	5.3%
自転車	1	5.3%
原付・バイク	0	0.0%
自家用車（自分で運転）	4	21.1%
自家用車（家族・知人等による送迎）	4	21.1%
鉄道	0	0.0%
路線バス	4	21.1%
高速バス	0	0.0%
コミュニティバス	1	5.3%
一般タクシー	2	10.5%
その他	0	0.0%
無回答	2	10.5%
合計	19	100.0%

（１１）【問 44】利用開始前後での外出機会の変化※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」、【問 36】で「利用登録をしている」、【問 39】で「週に 4 日以上」,「週に 2～3 日」,「週に 1 日」,「月に 2～3 日」,「月に 1 日程度」,「年に数日以下」を答えた人のみ

・利用開始前後での外出機会の変化では、「外出する機会は変わっていない」が 63.6%（7 人）と最も高く、次いで「外出する機会は減った」が 18.2%（2 人）と続いている。

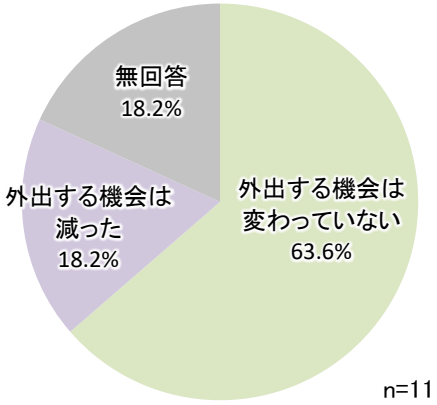


図　利用開始前後での外出機会の変化

表　利用開始前後での外出機会の変化

	回答数	割合
外出する機会が増えた	0	0.0%
これまでは外出手段がなく外出していなかったが、新たに外出するようになった	0	0.0%
外出する機会は変わっていない	7	63.6%
外出する機会は減った	2	18.2%
無回答	2	18.2%
合計	11	100.0%

（１２）【問 45】チョイソコかもがわの利用を開始する前と開始した後の外出頻度※【問 44】で「外出する機会が増えた」,「これまでは外出手段がなく外出していなかったが新たに外出するようになった」を答えた人のみ

【問 45】は該当者がいないため掲載なし

（１３）【問 46】外出頻度が増えた理由、もしくは新たに外出するようになった理由※【問 44】で「外出する機会が増えた」,「これまでは外出手段がなく外出していなかったが新たに外出するようになった」を答えた人のみ

【問 46】は該当者がいないため掲載なし

（１４）【問 47-1】定期券・フリーパスの希望する 1 月あたりの金額※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・定期券・フリーパスの希望する 1 月あたりの金額では、「3,000 円」が 54 人と最も多く、次いで「1,000 円」が 31 人と続いている。

表　定期券・フリーパスの希望する 1 月あたりの金額

	回答数
0円	6
100円	1
200円	2
300円	10
500円	10
1,000円	31
1,500円	6
2,000円	26
2,500円	5
3,000円	54
5,000円	14
6,000円	1
7,000円	1
8,000円	2
10,000円	2
300～5,000円	1
2,000～3,000円	1
5,000～10,000円	1
3割引き	1
無回答	450
合計	625

（１５）【問 47-2】希望する運行台数※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・希望する運行台数では、「5 台」が 60 人と最も多く、次いで「4 台」が 39 人と続いている。

表　希望する運行台数

	回答数
0台	2
2台	10
3台	44
4台	39
5台	60
6台	5
7台	1
8台	1
10台	22
12台	1
20台	2
39台	1
50台	1
3～4台	1
4～5台	1
無回答	434
合計	625

（１６）【問 47-3】希望する運行開始時間※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・希望する運行開始時間では、「７時」が 73 人と最も多く、次いで「８時」が 53 人と続いている。

表　希望する運行開始時間

	回答数
0時	2
5時	7
6時	21
7時	73
8時	53
9時	2
18時	1
5時30分	1
7時30分	6
8時30分	1
無回答	458
合計	625

（１７）【問 47-4】希望する運行終了時間※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・希望する運行終了時間では、「18 時」が 45 人と最も多く、次いで「19 時」が 30 人と続いている。

表　希望する運行終了時間

	回答数
0時	4
16時	11
17時	26
18時	45
19時	30
20時	26
21時	16
22時	13
23時	8
24時	3
無回答	443
合計	625

（１８）【問 47-5】運行拡大してほしい乗降場所※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・運行拡大してほしい乗降場所では、「自宅付近」が１３人と最も多く、次いで「自宅」が９人と続いている。

表　運行拡大してほしい乗降場所

	回答数		回答数
自宅付近	13	各地区の集会所	1
自宅	9	亀田酒蔵前	1
鴨川市内全域	6	金融機関、病院	1
バス停留所と同じ	4	君津バスターミナル	1
鴨川駅	3	江見漁港前	1
コンビニエンスストア	2	江見浄水場	1
田原地区	2	高齢者の多い地域	1
バスの通っていないところ	2	国保病院へ調っ耕（江見地区から）	1
ベイシア	2	最寄りのバス停や空き地	1
亀田病院	2	最寄駅	1
長挟国保病院	2	坂東	1
病院やスーパー	2	事前にLINEなどで位置を指定	1
駅、市役所、病院	1	自宅前や目的地乗降場所	1
大山不動入口	1	商業施設	1
貝渚八幡神社	1	上人塚	1
カインズ、おどや、鴨川郵便局	1	神明神社	1
鴨川地区内	1	清澄寺	1
コンビニやスーパーなど	1	曽呂	1
新田公会堂	1	曽呂交差点	1
新町、本町通りの中に	1	曽呂公民館	1
スーパー	1	曽呂十字路近辺	1
スーパー、商店、送迎がない個人経営のクリニックや接骨院	1	多くの店舗で	1
どこでも	1	長挟地区の日東交通のバス停	1
ファミリーマート和泉店	1	田原	1
ベイシア鴨川店　亀田病院	1	東条地区	1
みんなみの里↔市役所	1	二軒家	1
ヤスダファインテ前	1	日東バス停以外の所も入れるといい	1
飲食店、病院	1	病院、スーパー、駅、学校	1
駅	1	保田駅	1
駅、コンビニ	1	木更津、君津	1
加茂川橋	1	嶺岡中央林道	1
貝渚橋	1	無回答	524
各地区の近く	1	合計	625

（１９）【問 47-6】運行拡大してほしい曜日※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・運行拡大してほしい曜日では、「毎日」が 43 人と最も多く、次いで「日曜日」が 16 人と続いている。

表　運行拡大してほしい曜日

	回答数
毎日	43
日曜日	16
土日	12
平日	12
月～土	6
月、水、金	5
土曜日	4
土日祝	3
金曜日	2
月曜日	1
火曜日	1
水曜日	1
月、火	1
月、火、水	1
月、水	1
月、水、金、日	1
火木土	1
金土日	1
祝日	1
一週間	1
週3,4や隔週で利用日変わるとか5,10,15とかで固定	1
例で1、3週目は月水金、2、4週目は火木	1
無回答	509
合計	625

（２０）【問 47-7】その他に求めるサービス※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・その他に求めるサービスは、以下の通りとなっている。

表　その他に求めるサービス

速報版のため未掲載

（２１）【問 47-8】最も重視するサービス水準※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・最も重視するサービス水準では、「改善してほしいサービスはない」が 24.5%（153 人）と最も高く、次いで「運行台数が多いこと」が 10.4%（65 人）と続いている。

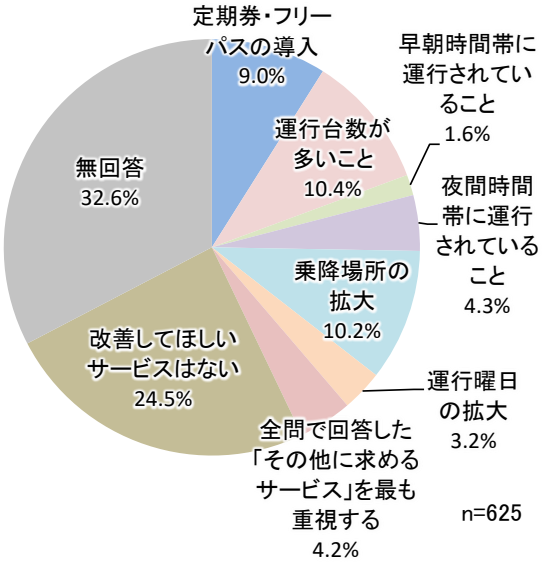


図　最も重視するサービス水準

表　最も重視するサービス水準

	回答数	割合
定期券・フリーパスの導入	56	9.0%
運行台数が多いこと	65	10.4%
早朝時間帯に運行されていること	10	1.6%
夜間時間帯に運行されていること	27	4.3%
乗降場所の拡大	64	10.2%
運行曜日の拡大	20	3.2%
全問で回答した「その他に求めるサービス」を最も重視する	26	4.2%
改善してほしいサービスはない	153	24.5%
無回答	204	32.6%
合計	625	100.0%

（２２）【問 48】【問 47】で回答したサービス水準が改善された場合の利用頻度※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

・【問 47】で回答したサービス水準が改善された場合の利用頻度では、「年に数日以下」が 19.5%（122 人）と最も高く、次いで「週に 1～2 日」が 7.0%（44 人）と続いている。

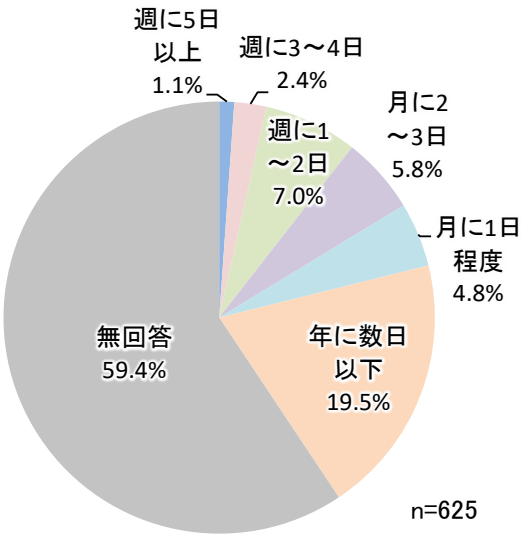


図　【問 47】で回答したサービス水準が改善された場合の利用頻度

表　【問 47】で回答したサービス水準が改善された場合の利用頻度

	回答数	割合
週に5日以上	7	1.1%
週に3～4日	15	2.4%
週に1～2日	44	7.0%
月に2～3日	36	5.8%
月に1日程度	30	4.8%
年に数日以下	122	19.5%
無回答	371	59.4%
合計	625	100.0%

（２３）【問 49】今後の運行についての考え※【問 35】で「運行内容（運賃や利用方法等）が大体わかる」,「鴨川市で実施しているということは知っている」を答えた人のみ

- 今後の運行についての考えでは、「チョイソコかもがわの運行を継続してほしい」が 58.2%（364 人）と最も高く、次いで「チョイソコかもがわではなく、別の公共交通を充実してほしい」が 14.1%（88 人）と続いている。

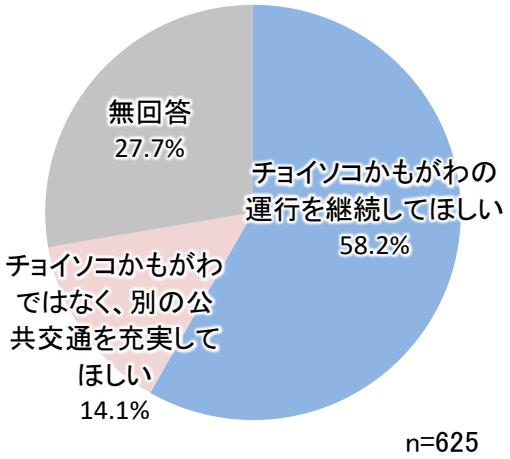


図　今後の運行についての考え

表　今後の運行についての考え

	回答数	割合
チョイソコかもがわの運行を継続してほしい	364	58.2%
チョイソコかもがわではなく、別の公共交通を充実してほしい	88	14.1%
無回答	173	27.7%
合計	625	100.0%

5-１０ 移動における困りごとに関すること

（1）【問 50】日常生活の移動で困っているもの

・日常生活の移動で困っているものでは、「特に困っていない」が 72.1%（703 人）と最も高く、次いで「鴨川市内での移動」が 7.9%（77 人）と続いている。

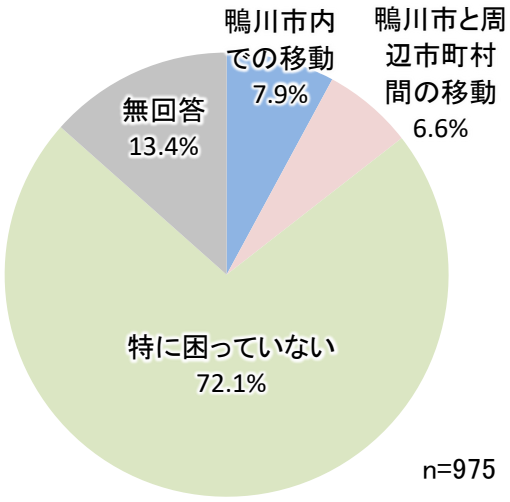


図　日常生活の移動で困っているもの

表　日常生活の移動で困っているもの

	回答数	割合
鴨川市内での移動	77	7.9%
鴨川市と周辺市町村間の移動	64	6.6%
特に困っていない	703	72.1%
無回答	131	13.4%
合計	975	100.0%

（2）【問 51】困りごとが発生する頻度※【問 50】で「鴨川市内での移動」,「鴨川市と周辺市町村間の移動」を答えた人のみ

・困りごとが発生する頻度では、「月に数回程度」が 39.7%（56 人）と最も高く、次いで「月に 1 回未満」が 26.2%（37 人）と続いている。

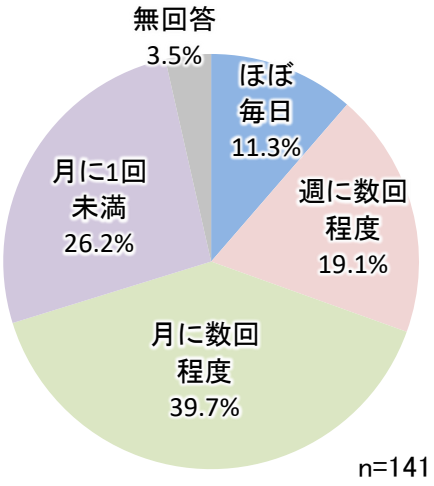


図　困りごとが発生する頻度

表　困りごとが発生する頻度

	回答数	割合
ほぼ毎日	16	11.3%
週に数回程度	27	19.1%
月に数回程度	56	39.7%
月に1回未満	37	26.2%
無回答	5	3.5%
合計	141	100.0%

（3）【問 52-1】特に困っている時間帯※【問 50】で「鴨川市内での移動」,「鴨川市と周辺市町村間の移動」を答えた人のみ

・特に困っている時間帯では、「午前中（9～11 時台）」が 27.7%（39 人）と最も高く、次いで「日中帯（12～16 時台）」が 21.3%（30 人）と続いている。

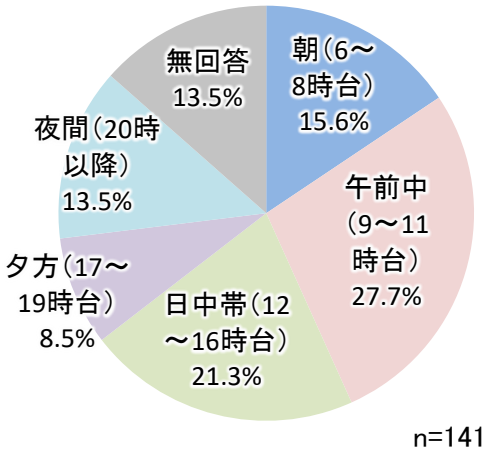


図　特に困っている時間帯

表　特に困っている時間帯

	回答数	割合
朝(6～8時台)	22	15.6%
午前中(9～11時台)	39	27.7%
日中帯(12～16時台)	30	21.3%
夕方(17～19時台)	12	8.5%
夜間(20時以降)	19	13.5%
無回答	19	13.5%
合計	141	100.0%

（4）【問 52-2】困っている行き先※【問 50】で「鴨川市内での移動」,「鴨川市と周辺市町村間の移動」を答えた人のみ

・困っている行き先は、以下の通りとなっている。

表　困っている行き先

速報版のため未掲載

（5）【問 52-3】困っている内容※【問 50】で「鴨川市内での移動」,「鴨川市と周辺市町村間の移動」を答えた人のみ

・困っている内容は以下の通りとなっている。

表　困っている内容

速報版のため未掲載

5-１１　鴨川市の公共交通に関すること

（1）【問 53-1】鉄道の満足度

・鉄道の満足度では、「わからない」が 26.5%（258 人）と最も高く、次いで「ふつう」が 22.7%（221 人）と続いている。

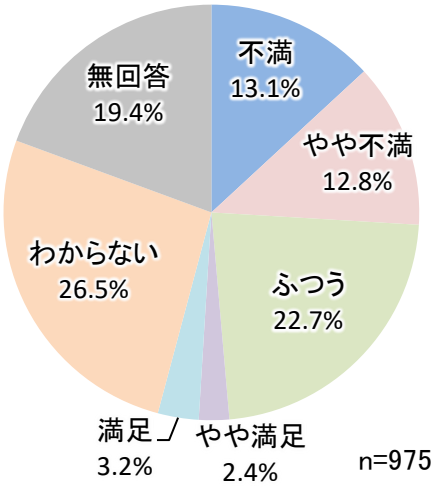


図　鉄道の満足度

表　鉄道の満足度

	回答数	割合
不満	128	13.1%
やや不満	125	12.8%
ふつう	221	22.7%
やや満足	23	2.4%
満足	31	3.2%
わからない	258	26.5%
無回答	189	19.4%
合計	975	100.0%

（2）【問 53-2】路線バスの満足度

・路線バスの満足度では、「わからない」が 34.6%（337 人）と最も高く、次いで「ふつう」が 20.7%（202 人）と続いている。

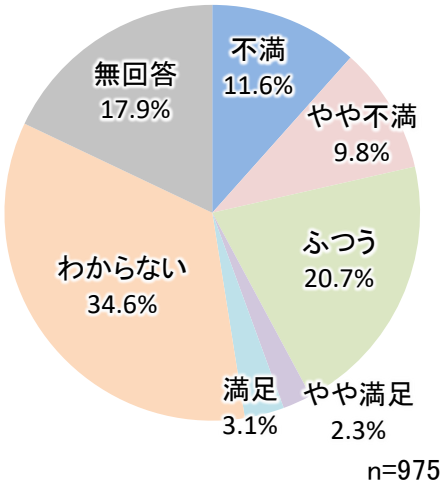


図　路線バスの満足度

表　路線バスの満足度

	回答数	割合
不満	113	11.6%
やや不満	96	9.8%
ふつう	202	20.7%
やや満足	22	2.3%
満足	30	3.1%
わからない	337	34.6%
無回答	175	17.9%
合計	975	100.0%

（3）【問 53-3】高速バスの満足度

・高速バスの満足度では、「ふつう」が 24.9%（243 人）と最も高く、次いで「わからない」が 23.2%（226 人）と続いている。

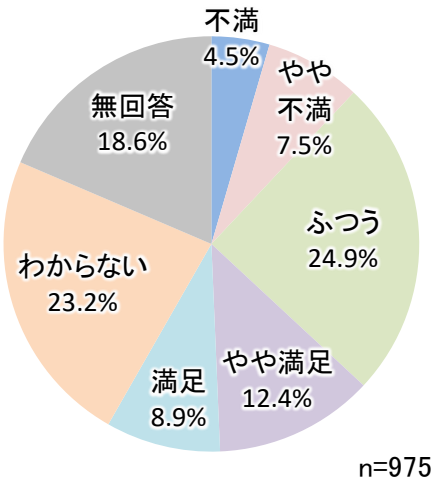


図　高速バスの満足度

表　高速バスの満足度

	回答数	割合
不満	44	4.5%
やや不満	73	7.5%
ふつう	243	24.9%
やや満足	121	12.4%
満足	87	8.9%
わからない	226	23.2%
無回答	181	18.6%
合計	975	100.0%

（4）【問 53-4】コミュニティバスの満足度

・コミュニティバスの満足度では、「わからない」が 51.2%（499 人）と最も高く、次いで「ふつう」が 16.5%（161 人）と続いている。

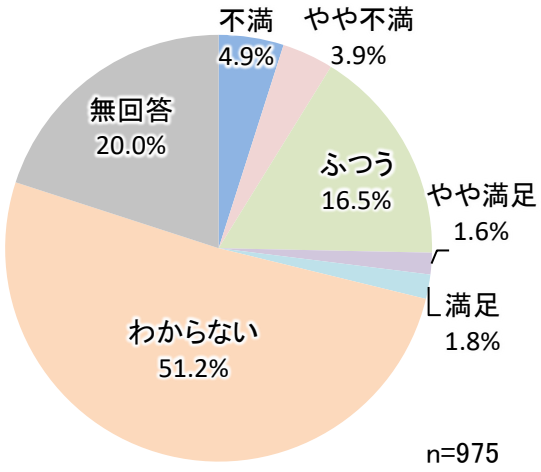


図　コミュニティバスの満足度

表　コミュニティバスの満足度

	回答数	割合
不満	48	4.9%
やや不満	38	3.9%
ふつう	161	16.5%
やや満足	16	1.6%
満足	18	1.8%
わからない	499	51.2%
無回答	195	20.0%
合計	975	100.0%

（5）【問 53-5】タクシーの満足度

・タクシーの満足度では、「わからない」が 39.1%（381 人）と最も高く、次いで「ふつう」が 26.3%（256 人）と続いている。

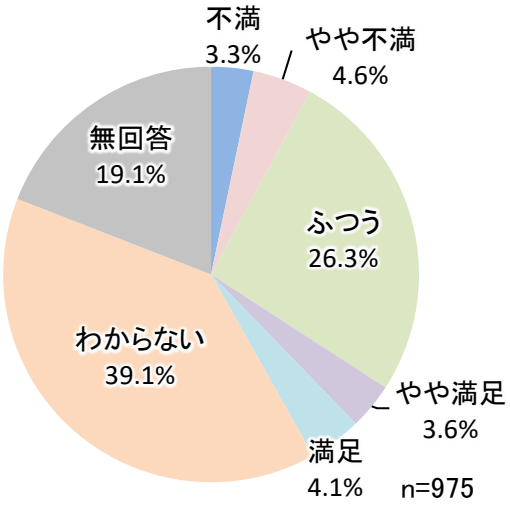


図　タクシーの満足度

表　タクシーの満足度

	回答数	割合
不満	32	3.3%
やや不満	45	4.6%
ふつう	256	26.3%
やや満足	35	3.6%
満足	40	4.1%
わからない	381	39.1%
無回答	186	19.1%
合計	975	100.0%

（6）【問 53-6】チョイソコかもがわの満足度

・チョイソコかもがわの満足度では、「わからない」が 55.0%（536 人）と最も高く、次いで「ふつう」が 14.8%（144 人）と続いている。

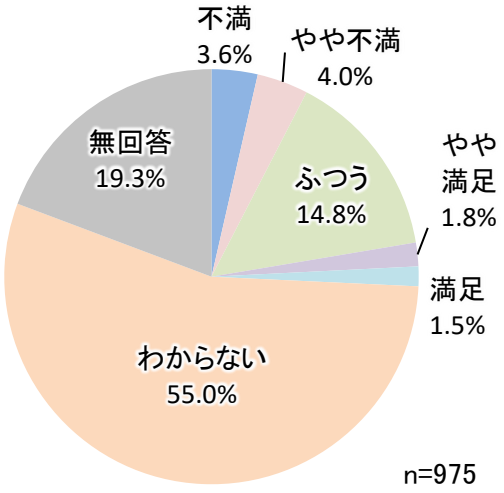


図　チョイソコかもがわの満足度

表　チョイソコかもがわの満足度

	回答数	割合
不満	35	3.6%
やや不満	39	4.0%
ふつう	144	14.8%
やや満足	18	1.8%
満足	15	1.5%
わからない	536	55.0%
無回答	188	19.3%
合計	975	100.0%

（7）【問 54】鴨川市の公共交通を利用しやすくするための意見・要望

・鴨川市の公共交通を利用しやすくするための意見・要望は、以下の通りとなっている。

表　鴨川市の公共交通を利用しやすくするための意見・要望

速報版のため未掲載

参考資料１

主な運行経路一覧

①	東京鴨川線（アクシー号）	（ﾊﾟｰｸｳｪﾙｽﾃｲﾄ鴨川～）亀田病院～鴨川シーワールド～安房鴨川駅西口～鴨川市役所入口～福祉センター前～木更津金田ＢＴ～ＢＴ東京八重洲（～東京タワー）
②	千葉鴨川線（カピーナ号）	亀田病院～鴨川シーワールド～安房鴨川駅西口～鴨川市役所入口～福祉センター前～蘇我駅～県庁～千葉駅
③	東京小湊御宿線	安房小湊駅～誕生寺・鯛の浦～市原鶴舞ＢＴ～木更津金田ＢＴ～ＢＴ東京八重洲
④	木更津鴨川線	亀田病院～安房鴨川駅西口～鴨川市役所入口～福祉センター前～長狭中前～かずさアーク～木更津駅西口～イオンモール木更津
⑤	館山鴨川線	亀田病院～鴨川駅東口～仁右衛門島入口～江見駅入口～南三原駅前～安房地域医療センター～南総文化ホール～館山駅
⑥	長狭線	亀田病院～鴨川駅（東口）～追分～長狭学園正門前～みんなみの里～国保病院前～大山千枚田入口～平塚本郷
⑦	鴨川市内線	仁右衛門島入口～鴨川駅前～鴨川シーワールド～亀田病院～天津駅前～小湊駅前～誕生寺入口 鴨川駅前～鴨川シーワールド～亀田病院～天津駅前～小湊駅前～誕生寺入口
⑧	コミュニティバス循環線	金山ダム～福祉センター～鴨川市役所～鴨川駅西口～亀田総合病院～亀田リハビリテーション病院～東条公民館 ～ふれあいセンター～西条公民館～田原郵便局～長狭高校東～鴨川駅西口～鴨川市役所～福祉センター 金山ダム～福祉センター～鴨川市役所～鴨川駅西口
⑨	チョイソコかもがわ（長狭地域）	
⑩	チョイソコかもがわ（江見地域）	
⑪	チョイソコかもがわ（天津小湊地域）	

凡　例

- 国道
- 県道
- その他道路
- JR（外房線・内房線）
- 河川
- 信号
- 主な公共施設
- 主な大型店舗（スーパー等）
- 主な病院
- 学校
- 主な観光関連施設・名所・名刹
- 郵便局
- 金融機関

鴨川市中心部拡大図

0　0.5　1km

0　1　2　3km

至 君津ＩＣ方面
至 房総スカイライン方面
至 養老渓谷方面
至 富津方面
至 鋸南保田ＩＣ・東京湾フェリー方面
至 鋸南富山ＩＣ方面
至 丸山・千倉方面
至 和田・丸山方面
至 勝浦方面

金山ダム
清水橋
美野口
峰仲
打墨神社
ふれあいセンター
西条公民館
西条小学校
東条公民館
東条病院 東条メンタルホスピタル
亀田総合病院
亀田クリニック
亀田リハビリテーション病院
亀田病院
鴨川シーワールド
鴨川市役所
鴨川駅西口
鴨川駅東口
鴨川中学校
おどや広場店
鴨川自動車教習所前
鴨川館前
鴨川グランドホテル前
千葉興業銀行鴨川支店
鴨川郵便局
鴨川小学校
鴨川前原郵便局
前原・横渚海岸
京葉銀行鴨川支店
館山信用金庫鴨川支店
市民ギャラリー
亀田医療大学
中央公民館
鴨川市役所入口
鴨川消防署
イオン鴨川店
長狭高等高校
おどや鴨川店
房総信用組合鴨川店
ベイシア鴨川店
鴨川小学校
鴨川市総合運動施設
郷土資料館
西条簡易郵便局
カインズ
妙満寺入口
カインズホーム
鴨川警察署
水道局
図書館
鴨川市役所入口
貝渚橋
滑谷
長狭高校東
ODOYA鴨川店
鴨川小前
加茂川橋
川口
漁港入口
大浦
魚見塚一戦場公園（魚見塚展望台）
鴨川青少年自然の家
大海公民館
日本航空学園鴨川キャンパス
早稲田大学鴨川セミナーハウス
大海駅
大海郵便局
仁右衛門島入口
仁右衛門島
大海フラワー磯釣りセンター
旧大海小学校前
天面
天面漁港
江見駅
江見郵便局
江見出張所
江見公民館
おどや江見店
道の駅「鴨川オーシャンパーク」
吉浦
名鳥橋
吸洲大橋
大天崎
曽呂公民館
曽呂郵便局
エビハラ病院
鴨川松島
鴨川松島
大山公民館
大山不動尊
大山千枚田
平塚本郷
平塚
平塚入口
金束駅
金束郵便局
大山千枚田入口
鴨川寺門郵便局
吉尾出張所
吉尾公民館
市立国保病院
国保病院・長狭学園西門前
みんなみの里
里の嶋川
おどや長狭店
主基公民館
長狭学園前
長狭中前
長狭郵便局
長狭学園正門前
長狭高前
吉尾駅
吉尾郵便局
仲ノ口の谷
仲ノ口
八幡
八幡入口
みんなみの里入口
大山不動尊
大山公民館
大山千枚田入口
大山郵便局
金束駅
金束
平塚
平塚入口
平塚青年館
平塚本郷
四方木ふれあい館
四方木不動滝
清澄寺
内浦山県民の森
第二袋倉ダム
第一袋倉ダム
保台ダム
金山ダム
天津駅前
安房天津駅
天津小湊小学校
安房東中学校
天津郵便局
天津小湊支所
天津小湊公民館
天津小湊保健福祉センター
小湊駅前
小湊小前
小湊郵便局
小湊さとうみ学校
小湊海水浴場入口
小湊海岸
神明神社前
越崎海岸
東入
東入口
誕生寺
誕生寺入口
内浦海岸
鯛の浦遊覧船
小湊出張所 コミュニティーセンター小湊
安房小湊駅
奇跡の大井戸・小井戸
峰仲
ふれあいセンター
西条公民館
大日
西条小学校
福祉センター
下八色
境橋
花房
東条小学校
東条公民館
和泉
上人塚
青葉市場前
仲原
東町分譲地
宝生寺
東町
亀田総合病院
亀田クリニック
亀田リハビリテーション病院
坂下
東条病院 東条メンタルホスピタル
鏡忍寺
鴨川自動車教習所前
鴨川館前
亀田病院
鴨川中学校
おどや広場店
鴨川市役所
鴨川警察署
妙満寺入口
カインズホーム
西条簡易郵便局
水道局
図書館
鴨川郵便局
鴨川シーワールド
亀の井ホテル鴨川前
東条海岸
広場
待崎
鴨川自動車教習所
鴨川グランドホテル前
須賀神社
千葉興業銀行鴨川支店
鴨川郵便局
鴨川市役所入口
鴨川消防署
大横渚
イオン鴨川店
鴨川市総合運動施設
郷土資料館
貝渚橋
滑谷
長狭高校東
鴨川令徳高等高校
小田病院
鴨川駅(東口)
安房鴨川駅
館山信用金庫鴨川支店
長狭高等高校
ODOYA鴨川店
房総信用組合鴨川店
ベイシア鴨川店
市民ギャラリー
倉の台
長狭高前
上本町
亀田医療大学
中央公民館
前原・横渚海岸
京葉銀行鴨川支店
前原海岸
鴨川小前
鴨川小学校
加茂川橋
鴨川前原郵便局
川口
漁港入口
大浦
魚見塚一戦場公園（魚見塚展望台）

参考資料2

鴨川市公共交通再編に関する説明会
開催結果報告書

令和８年８月

鴨川市企画政策課

【　目　　次　】

１　開催の趣旨　・・・

１　開催の趣旨

現在、予約制乗合タクシー「チョイソコかもがわ」が長狭地域・江見地域・天津小湊地域の３地域で本格運行を行っており、鴨川地域からも運行を望まれている。チョイソコかもがわの全域化と同時にコミュニティバスのあり方について全地域の住民に対し、再編内容等について説明をし、意見等を伺うもの。

２　開催概要

（１）開　　会
（２）あいさつ
（３）説　　明　　①鴨川市公共交通の再編について
（４）質疑応答
（５）閉　　会

３　開催日程及び出席者数

対象地区	日　時	会　場	出席者数
大山地区	令和８年７月28日（火）午後２時から	長狭地区公民館	６人
主基地区	令和８年７月28日（火）午後６時から	長狭地区公民館 主基分館	９人
天津地区	令和８年７月29日（水）午後２時から	天津小湊地区公民館 （ふるさとシアター）	９人
江見地区	令和８年７月30日（木）午後２時から	江見地区公民館	９人
曽呂地区	令和８年７月30日（木）午後６時から	江見地区公民館 曽呂分館	１２人
鴨川地区	令和８年７月31日（金）午後２時から	鴨川地区公民館	７人
西条地区	令和８年７月31日（火）午後６時から	鴨川地区公民館 西条分館	１１人
東条地区	令和８年８月５日（水）午後２時から	鴨川地区公民館 東条分館	１７人
小湊地区	令和８年８月５日（水）午後６時から	コミュニティ センター小湊	２人
太海地区	令和８年８月12日（水）午後２時から	日本航空学園	５人
田原地区	令和８年８月12日（水）午後６時から	総合運動施設 文化体育館	２人
吉尾地区	令和８年８月14日（金）午後６時から	みんなみの里	１人
合　　計			９０人

［市出席者］鴨川市企画政策課

４　質疑応答

≪大山地区≫

質問等	回答
釜沼地区も数名、チョイソコを使っている。独居老人も使っている。 決定事項ではないが、鴨川地域も運行し、車両を１台増やし、範囲も広がる。また、同時にコミュニティバスを維持するのは難しく、無くしていく方向で、朝夕の通勤分をケアする解釈で合っているか。	その解釈で合っている。説明させていただいた案をたたき台として、説明会を実施してご意見をいただいている。
千葉トヨタが運行事業者で市が補助金約 2,600 万を出しているのか。	赤字補填で市が補助をしている。令和８年度予算は 3,056 万となっている。
利用者から不便な点という事で、親戚の家に行くなどの細かい動きは出来ないと聞いたがどうか。	現在、乗り降りできる場所が病院、スーパー、学校など 93 ヶ所。事業者との競合にならないようタクシーとバスの間のサービスとして制限をさせていただいている。
通院する時に使う事が多い。チョイソコは亀田病院の帰りの時間が読めなく予約が取れない。路線バス長狭線は待つ時間が長くなる（12：40 の次は 16：00）。	すべて解消はできないかもしれないが、３台体制になる事でいくらか解消できると良いと思っている。
運転手の休憩時間で予約が取れるか。	現在は安全のため、現在は運転手の休憩時間をいただいている。全域化で３台体制になれば休憩時間をずらすことは可能かと思っている。
（長狭街道経由のアクシー号について）	
長狭街道のアクシー号の乗り入れは念願だった。釜沼では学校の実習をたくさん受け入れている。年間 1,000 人以上通っている。本数は増える可能性はあるか。	既存のダイヤ改正をして上下４本からスタートをしている。地域の声があることは事業者と相談させていただく。
房日新聞で見たが、鋸南町から亀田病院で降車したいと要望が出た。進展はありそうか。	まだ長狭街道経由の運行が始まったばかりですぐ進展はないとは思うが、事業者に会う機会があったら聞いてみる。
都市住民からの意見で、みんなみの里でご飯や買い物をしても時間が余る。レンタカーやレンタルバイクがあると便利と聞いている。	高速バスが運行して、二次交通があるとさらに便利となるのは承知している。都市住民からの意見としても承る。

≪主基地区≫

質問等	回答
路線バス（金谷線）を縮小したりしてチョイソコの充実が図られていると思うが、鴨川市の財政が苦しい中、料金はかなり安く無理をしていないか。福祉の観点からだと大変ありがたいが将来的にいかがか。	財政状況は厳しい状況だが、高齢化が進んでいる中、本市にあった交通手段に思う。鴨川地域の中でもコミュニティバスが使えるエリアとエリア外で差があり、チョイソコが望まれてきている。鴨川地域の運行も増えるが収入だけで運行はできないが市は全域化を賄う前提。地域の声を聞きながら再編案としていきたい。
長狭地域の登録人が多いのは、地域にとって大事な交通という事で、区長会や地区社協でまず自分たちで登録者を増やす活動をしてきた。しかし、利用者と登録者が比例していなく本当に必要な人に情報が届いてないかもしれない。	地域の皆さま、市、事業者で色々なツールを使って周知したいと思う。皆様方のお力添えとお知恵をお借りして隅々まで情報の提供ができればと思う。
当初からありがたく使っているが、利用者目線から減った理由を考えてみた。病院利用が多い。デマンド型で早い者勝ちに予約がなっていて、行きはそれなりに取れているが、帰りの予約が取れない。１日のうち、何便か定時運行はできないか。	定時運行は、予約者による到着のゴールが時間が読めなくなる可能性がある。定時定路線は路線バスも使っていただきたい部分もある。３台体制で乗合が増えると良いと思っている。今すぐには難しいが検討の材料とさせていただく。
（長狭街道経由のアクシー号について）	
主基地域にバス停がないので主基にもバス停を設置してほしい。地域住民の声もある。	バス停の選定は事業者で決定した経緯はある。事業者と話す機会があると思うのでご要望として承る。

≪天津地区≫

質問等	回答
回数券を 10 回使ったら１回サービスとかどうか。	今は電子決済を導入して回数券がなくなる。サービス券は事業者と相談。
運賃支出のマイナスはどういう意味か。	回数券や無料券の本来いただくべき運賃をマイナス精算したもの。
スポンサーをもっと増やせないか。	みんなに理解していただき支え合えれば理想。事業者とともに相談する。
時刻表はどうなるのか。	チョイソコは予約制で区域内を自由に運行できる。

質問等	回答
収支について、補助金内で済むつもりだったのか。	本来は市からの補助で賄えればよかったが、事業者の持ち出しもいただいた。
今年度予算があがっているが。	人件費や燃料費など物価高騰が影響している。
チョイソコ通信の通信費を郵送費を考えると回数は多いと感じる。	千葉トヨタ自動車からのお知らせ連絡手段でもあり肝いり事業。郵送費の負担は大きいので相談する。
支出などが大きなマイナスだが、そういった部分もチョイソコ通信で発信したらどうか。	公共交通全体にいえるが赤字部分などを理解してもらうことは大事。 チョイソコ通信だけでなく広報でも利用促進をしていく。
プラスになる事が多い印象だが、人に伝える時の注意する事、また、その周知方法は今後あるか。	今はたたき台で意見をいただいている段階。スケジュール的に 10 月末の懇談会には運行概要をお示ししたい。
コミュニティバスがなくなって清澄・四方木の生徒のバスはどうなるか。また、他の地域はどうか。	現在、チョイソコの車両で送迎している。再編の形でも運行は継続予定。 他の地域はスクールバスが走っている。
高校生はチョイソコやスクールバスに乗車できないか。	義務教育の中学生までは市で面倒を見るという考え。意見があったことは伝える。
料金 500 円だと大変ありがたく感じる。	決定事項ではないが平等性や利便性など様々な検証をしていく。

≪江見地区≫

質問等	回答
この内容で決まりなのか。また、実施はいつからか。	今説明した内容はたたき台として各地域でご意見をいただいている。 時期は、できるならば令和９年度からスタートできるか検討している。
免許返納を考えている。何か割引制度はあるか。	チョイソコも日東交通株式会社で実施している「ノーカーサポート」割引を採用させていただいている。

質問等	回答
自宅まで来てくれるのか。	チョイソコは全国的にも運行しているが、チョイソコかもがわの場合、自宅まで来れるサービスとなっている。また、自宅まで車が通れない場合は通りまで出てきてもらうことになる。

≪曽呂地区≫

質問等	回答
コミュニティバスで地域を跨ぐといくらになるのか。	コミュニティバスは鴨川地域のみ運行しており、一律 300 円。
一律料金だと地域内運行では料金が上がる可能性があるが、地域内運行は多いのか。	ほとんどの利用者は鴨川地域へ用事がある場合が多い。
通院で月に５日間利用している。亀田病院が多いが、国保病院にも行けたらよいと思っていた。 自分は乗ったことがないが、コミュニティバスの利用者でチョイソコを使ったことない人からすれば登録することが大変、電話するのが大変とならないか少し心配。 反面、運転できなくなる人も増えてくると思うので上手にお願いしたい。	全域化することで地域の壁をなくし、江見地域も国保病院へ行ける事を考えている。今回の再編はチョイソコの全域化を図りつつ、通勤者のためにコミュニティバスの朝夕運行の維持をできないか検討している。
自分は、チョイソコや路線バスも利用している。チョイソコは運転手も電話も対応が良く、気持ちよく利用している	チョイソコ以外の公共交通もうまく利用していただけると幅が広がると思う。 公共交通全体で時々に応じた再編を進めていく。
自分はチョイソコを使ってないが、割引制度はどの様なものか。	障害者手帳保持者、日東交通のノーカーサポート制度などで割引をしている。
日東交通のノーカーサポート制度で千葉トヨタ自動車のチョイソコで割引をできるのか。	日東交通に市コミュニティバスを業務委託をして、その中でノーカーサポート制度を採用している。チョイソコも市コミュニティバスに倣って同じように割引制度として採用している。

質問等	回答
①チョイソコかもがわ通信に係る経費は収支に入っているか。 ②鴨川地区の利用者が増えると思うがシュミレーションはいかがか。 ③この説明会他地域での意見はどうだったか ④この後のスケジュールはどうか。	①千葉トヨタ自動車で発行している。スポンサーの紹介や周知、お知らせに使用している。補助金の経費に含まれている。 ②曜日設定をなくし、全体で運行することで効率化を望んでいる。事業者と話し合い、今のところ３台でスタートをしていくつもり。４台目以降は経費的な部分を含めまた相談していく。 ③日数も増え、良くなると思っている方が多く、概ね賛成の意見が多い。まだ鴨川地域では説明をしていないので反応があるかもしれない。 ④理想は来年度から始めたい。タイトなスケジュールになるが、案を固めて会議に諮ったり、認可申請をしていく。また説明化を行う。

≪鴨川地区≫

質問等	回答
コミュニティバスの収支について年間赤字になっているが市が負担しているのか。	コミュニティバスは市が運行主体となっている。国の補助金もあるが基本的には市が負担をしている。
自宅までハイエースでは来れず 500m歩いていく。３台目がサイズダウンして狭い場所でも行ける様に望む。	車が通れないと通りに来ていただく必要がある。使用しているシステムで車両によって区分けが出来るか事業者と相談する。
市のコミュニティバスは登録必要か。 チョイソコは必要か。	コミュニティバスは登録いらない。チョイソコは自宅まで行くので必要。
予約はめんどくさい。登録しないで空いていたら乗ることはできないか。	運行制度上、予約は必要となる。お手数をおかけするがご理解をいただきたい。
横渚にいて、免許を返納をした。具体的に申込～予約などはどうやるのか。 また、予約次第では行ったり来たりになるのか。 １か月前から予約した人が基準となり、それで乗合い可能になるのか。	※登録の仕方は省略 予約した人が向かう道中で時間や向かう方向が合えば相乗りとなる。３台全域で運行で乗合が増えることを期待ししている。

質問等	回答
登録は一度すれば大丈夫なのか。	一度で大丈夫。
路線バスを使ったり高速バスを使っている。コミュニティバスは一度だけ使用した。色々手段が選べるのはいいこと。	バス停まで近い人はバスを利用していただくのが良いと思う。バス停まで遠い人はチョイソコが役に立つと思う。自分に合った公共交通手段を選んでいただきたい。
当日の予約利用の方法は。登録の方法は。	電話かスマートフォンで予約が 30 分間まで可能。パンフレッのセットに封筒が入っているのでそのまま投函。
まだ鴨川地域では使えないということだが令和９年度からスタートは決定事項か。	まだ決定事項ではなく、様々な会議や運行許可などのステップを経て運行開始となる。
路線バスとコミュニティバスを乗り継いで市役所に行っている。	現在は乗り継ぎが必要となっているが、チョイソコだと直接市役所へ行ける。
亀田病院に行っている人が多いとのことで、すべての地域で、案のとおり同一料金が良いと考える。また電子決済を導入すると聞いたがいかがか。	交通系 IC など電子決済は導入した。料金はまだ案の段階。事業者や他の交通機関との調整も必要となる。
スポンサーについて、車にラッピングをしていないように思えるが教えて欲しい。	チョイソコの地域をみんなで支えるという運行概念に理解をいただいた皆様からスポンサーごなっていただいている。ラッピングはしていないがチョイソコ通信などで周知をさせていただいている。

≪西条地区≫

質問等	回答
資料の交通空白部分はどこになるか、	ダムや北部道路に近いところや川代の一部など。西条でいうと粟斗あたり。バス停まで行くのが難しい方でも、全域化によりチョイソコなら家まで行けるようになる。
予約は１か月前からということでその方が効率がいいからか。	最初に予約をした人が起点となる。１か月前から予約しないといけないわけではなく、予約が 30 分前までできる。

質問等	回答
帰りの時間が何時になるかわからない部分がある。	用事が済んでから予約しようとすると予約が埋まっている場合もある。３台で全域同時に動くことで予約が取りやすくなると考えている。
鴨川地域の登録はいつごろから、どのようにお知らせが来るか。	令和９年４月から運行が出来る様に進めている。その場合、2 月頃から登録が出来る様にしたい。
予約したときに取れない場合、どういった対応がなされるか。	予約は電話かスマホからできる。電話の場合、その前後で空いている時間を聞いてやり取りできる。スマホの場合、近くの乗れる時間が表示される。
健常者じゃなければ乗れないか。	障害者の方も付き添いの方がいれば大丈夫。
買物をした場合、荷物は大丈夫か。	定員がいっぱいになる事はあまりなく、空いてるスペースで荷物は載せれる。

≪東条地区≫

質問等	回答
資料１の６ページの時刻表で赤で囲った部分はチョイソコで動かすのか。	朝夕の時間帯をチョイソコの車両を使って定時定路線の運行ができないか検討している。
１台増やす車両は軽自動車なのか。	ミニバン型となる。軽自動車ではない。
チョイソコかもがわと市のコミュニティバスの評価は。	コミュニティバスは循環型で２年たった。利用者は１年目より増えていて一定の定着が見られた。 チョイソコは、特に高齢者から無くてはならない交通手段となっている。鴨川地域から望まれており、今回の再編としたい。
田原の山に住んでいる。バス停まで４キロ。コミュバスも使わない。 家の坂が軽自動車じゃないと通れないがどうか。	乗合タクシーが始まりで軽自動車だと車両に２人しか乗れない。車が行けて回せる場所までお越しいただくことにご了承いただきたい。
峰岡林道をチョイソコが通っているが、曽呂の方が使っているか。	道の制限はないので、近いルートを通っている。鴨川地域でお近くを通っているのに使えないという事を全域化で解消したい。

質問等	回答
もしチョイソコに変わったらコミュバスの日中部分はバス停で止まるものではなくなるのか。（無くなるのか）	日中部分はチョイソコとなり、予約制で自宅まで迎えに行き、乗降場所で乗り降りとなる。
使う人が増えると登録が出来なくなるか。	登録はできるが、早い者勝ちで予約が多くなるケースは出てくると思う。地域ごとでなく３台で動くことで無駄がなくなることを期待している。 それでも難しい場合は４台目を考えるなど段階的に検討していく。
以前、東京に住んでた時は便利だった。道の駅などに行きたい。休日にツアーを組んで収入を増やすなどの取組はいかがか。	今回の再編は市民の利便性を高くするものだが、一つの意見として承り、事業者と検討する。
コミュニティバスの運行ルートにいないがチョイソコは迎えに来るか。	コミュニティバスの運行とは関係なく、チョイソコは区域の中ならどこでも行ける。
コミュニティバスの費用はいくらか。	コミュニティバスは日東交通へ委託しており、2,160 万円ほど。
チョイソコの利用料金が高いので参考にしてほしい。区域ごとに 300 円、500 円、700 円はどうか。市民に還元してほしい。	他の交通との兼ね合いもある。最終的には運賃協議会で協議するがご意見として承る。
運行事業者が千葉トヨタとの事だが、補助額をみると市でやっているのではないか。	千葉トヨタ自動車の持ち出しもあり、市民の皆様のために市が補助させていただいて一体となってやっている。
登録して予約するときに、時間と日時を言えばいいか。また〆切はいつか。	電話やスマートフォンで予約が可能。１か月前から 30 分前まで可能。ただし、日にちが近づいていくと予約も埋まっていく。
ミニバンタイプは５人乗りで、５人予約が入ってから運行するのか。	１人でも運行する。また、向かう導線の中で方向や時間が合えば乗合いとなる。AI で判断する。
登録はいつごろから始まるのか。	令和９年４月から運行がきまったら年明け以降に調整する。
コールセンターはどこにつながっているか。	現在は、鴨川タクシーにつながっている。全域化により、電話の数が増えると AI 管理しているシステム会社につながる可能性がある。
一部、拍手で閉会。終わった後、全域化賛成者から助かるとの声。	

≪小湊地区≫

質問等	回答
色々考えられた案だと思う。 財政が厳しい中で、公共交通は経費が大分かかっているが、市民のことを考えていただいてる。	地域の足を守るため、公費を投じている。全域化して交通弱者をなくしていきたい。
全体が一本になって国保病院へ行ける様になるのはありがたい。	
予約が取れない事はあったか。	病院の帰りなど時間が読めなく、予約が取れないとの声が多い。
自分は目が悪くなって免許更新できなくなったら自転車で動こうと思っている。 公共交通を使えることは恵まれていると思う。色々大変な課題だと思うが、急に要望を全部かなえる必要はないと考える。	全部はかなえられないとは思うが、創意工夫によってかなえられる部分があれば良いと思っている。
都市でさえバスがなくなってきている。徐々に変えていければいいかと思う。がんばってください。	色々な意見を聞いて引き続き、検討をしていく。

≪太海地区≫

質問等	回答
２地域 1,400 円という案は、江見から天津小湊へ直接行けるようになるか。	金額はあくまで今の運賃ベースでの案の一つになるが、直接行けるようにと考えている。
チョイソコの歴史を教えて欲しい。また、路線バス、タクシー、チョイソコなど交通の分類を教えて欲しい。再編は民業圧迫の観点からはどうか。	路線ばすや高速バスなどは幹線、コミュニティバス、チョイソコなどは支線にあたる。鴨川市内を運行している公共交通はすべて赤字であり市で補助などをして維持している。 チョイソコは令和３年度から長狭地域で始まり、令和６年度から現在の３地域となっている。 民業圧迫の観点からというご意見は、赤字前提での交通機関へ公費を投じさせていただいている。
江見地域から、直接長狭地域へいくのと鴨川地域から行くので差はあるのか。	運行ルートは、AI で早い方法を選択している。運賃はルートによって差は発生しない。

質問等	回答
現行の 300 円と 700 円はどの様に決まったか。	路線バスやタクシーの料金を参考に、いろいろ事業者に意見を聞きながら
区域で料金を区切るのは大胆に感じる。距離で料金の設定をすることはあるか。	乗合いタクシーということで区域で運賃を設定している。
乗合いの中でプライバシーの侵害はなかったか。	今のところ問い合わせや事業者などからそういった話はない。
市内線、館山線の一部を国道へ運行するルートはないか。	市内路線バスの再編については事業者との相談となる。

≪田原地区≫

質問等	回答
免許証を昨年返納した。木更津線とたまにコミュニティバスを使っている。バス停まで歩いて 15 分。まだチョイソコを使わなくても生活できるが、運行すれば大分歩く距離が減ると思う。 行き先はイオンが多い。	路線バスを使っていただくこともありがたい。予約する必要があるが大きな荷物があるときは家か家の付近まで運行してくれる。
市の持ち出し（負担額）が多いと思う。	市民の足を守るため公共交通を維持している。チョイソコ全域化と同時にコミュニティバスを見直し、最適化を図る。
路線バスの利用人数が少なく大変に思うが、ノーカーサポートで安く使え、ありがたく思う。今のところチョイソコを使わなくても大丈夫だが、この先お世話になるかもしれない。	市は路線バスの維持についても補助をさせていただいている。路線バスを使っていただいてありがたい。

≪吉尾地区≫

質問等	回答
今までは全ての地域へいけなかったが、天津小湊地域の方が国保病院へ行ける様になるのは良い事と思う。	今までも地域間移動を望む声があった。全域での運行を目指している。
今までの説明会での意見はどのような声が多かったか。	利用者からは病院の帰りの予約が取りずらいと意見が多かった。全域３台体制で運行することで少し解消することを望んでいる。